【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
目次			

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
第Ⅰ編 総 則				
第１章 総 則	県	P. 1	Ⅰ-1-①-1	Ⅰ
① 適用範囲等	県	P. 1	Ⅰ-1-①-1	Ⅰ
② 請負工事の工事費構成	県	P. 2	Ⅰ-1-②-1	Ⅰ
第２章 工事費の積算	県	P. 5	Ⅰ-2-①-1	Ⅰ
① 直接工事費	県	P. 5	Ⅰ-2-①-1	Ⅰ
② 間接工事費	県	P. 9	Ⅰ-2-②-1	Ⅰ
③ 現場発生品及び支給品運搬	県	P. 40	Ⅰ-2-③-1	Ⅰ
第３章 一般管理費等及び消費税相当額	県	P. 44	Ⅰ-3-①-1	Ⅰ
① 一般管理費等	県	P. 44	Ⅰ-3-①-1	Ⅰ
② 消費税相当額	県	P. 47	Ⅰ-3-②-1	Ⅰ
第４章 設計積算上の注意	県	P. 48	－	Ⅰ
① 潮待作業における仮締切方法別による歩増	県	P. 48	－	Ⅰ
② 設計変更の取り扱い	県	P. 50	－	Ⅰ
③ 資材単価にかかわる愛知県ブロック細分図	県	P. 53	－	Ⅰ
第５章 随意契約方式により工事を発注する場合等の共通仮設費、現場管理費、及び一般管理費等の調整について	県	P. 54	Ⅰ-4-①-1	Ⅰ
① 随意契約方式により工事を発注する場合等の共通仮設費、現場管理費、及び一般管理費等の調整について	県	P. 54	Ⅰ-4-①-1	Ⅰ
② 旧基準で積算した工事に改正基準で積算した工事を追加する場合等の共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等の調整について	県	P. 58	Ⅰ-4-②-1	Ⅰ
第６章 数値基準等	県	P. 59	Ⅰ-5-①-1	Ⅰ
① 数値基準等	県	P. 59	Ⅰ-5-①-1	Ⅰ
第７章 建設機械運転労務等	県	P. 80	Ⅰ-6-①-1	Ⅰ
① 建設機械運転労務	県	P. 80	Ⅰ-6-①-1	Ⅰ
② 原動機燃料消費量	県	P. 80	Ⅰ-6-②-1	Ⅰ
③ 機械運転単価表	県	P. 81	Ⅰ-6-③-1	Ⅰ
④ 一般事項	県	P. 81	Ⅰ-6-④-1	Ⅰ
第８章 土木請負工事の特許使用料の積算	県	P. 86	Ⅰ-7-①-1	Ⅰ
① 土木請負工事の特許使用料の積算について	県	P. 86	Ⅰ-7-①-1	Ⅰ
第９章 時間的制約を受ける公共土木工事の積算	県	P. 87	Ⅰ-8-①-1	Ⅰ
① 時間的制約を受ける公共土木工事の積算について	県	P. 87	Ⅰ-8-①-1	Ⅰ
第１０章 土木請負工事における現場環境改善費の積算	県	P. 89	Ⅰ-9-①-1	Ⅰ
① 土木請負工事における現場環境改善費の積算	県	P. 89	Ⅰ-9-①-1	Ⅰ
② 熱中症対策・防寒対策における積算	県	P. 90	Ⅰ-9-①-1	Ⅰ

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
第Ⅰ編 総 則				
第１章 総 則	県	P. 1	Ⅰ-1-①-1	Ⅰ
① 適用範囲等	県	P. 1	Ⅰ-1-①-1	Ⅰ
② 請負工事の工事費構成	県	P. 2	Ⅰ-1-②-1	Ⅰ
第２章 工事費の積算	県	P. 5	Ⅰ-2-①-1	Ⅰ
① 直接工事費	県	P. 5	Ⅰ-2-①-1	Ⅰ
② 間接工事費	県	P. 9	Ⅰ-2-②-1	Ⅰ
③ 現場発生品及び支給品運搬	県	P. 40	Ⅰ-2-③-1	Ⅰ
第３章 一般管理費等及び消費税相当額	県	P. 44	Ⅰ-3-①-1	Ⅰ
① 一般管理費等	県	P. 44	Ⅰ-3-①-1	Ⅰ
② 消費税相当額	県	P. 47	Ⅰ-3-②-1	Ⅰ
第４章 設計積算上の注意	県	P. 48	－	Ⅰ
① 潮待作業における仮締切方法別による歩増	県	P. 48	－	Ⅰ
② 設計変更の取り扱い	県	P. 50	－	Ⅰ
③ 資材単価にかかわる愛知県ブロック細分図	県	P. 53	－	Ⅰ
第５章 随意契約方式により工事を発注する場合等の共通仮設費、現場管理費、及び一般管理費等の調整について	県	P. 54	Ⅰ-4-①-1	Ⅰ
① 随意契約方式により工事を発注する場合等の共通仮設費、現場管理費、及び一般管理費等の調整について	県	P. 54	Ⅰ-4-①-1	Ⅰ
② 旧基準で積算した工事に改正基準で積算した工事を追加する場合等の共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等の調整について	県	P. 58	Ⅰ-4-②-1	Ⅰ
第６章 数値基準等	県	P. 59	Ⅰ-5-①-1	Ⅰ
① 数値基準等	県	P. 59	Ⅰ-5-①-1	Ⅰ
第７章 建設機械運転労務等	県	P. 80	Ⅰ-6-①-1	Ⅰ
① 建設機械運転労務	県	P. 80	Ⅰ-6-①-1	Ⅰ
② 原動機燃料消費量	県	P. 80	Ⅰ-6-②-1	Ⅰ
③ 機械運転単価表	県	P. 81	Ⅰ-6-③-1	Ⅰ
④ 一般事項	県	P. 81	Ⅰ-6-④-1	Ⅰ
第８章 土木請負工事の特許使用料の積算	県	P. 86	Ⅰ-7-①-1	Ⅰ
① 土木請負工事の特許使用料の積算について	県	P. 86	Ⅰ-7-①-1	Ⅰ
第９章 時間的制約を受ける公共土木工事の積算	県	P. 87	Ⅰ-8-①-1	Ⅰ
① 時間的制約を受ける公共土木工事の積算について	県	P. 87	Ⅰ-8-①-1	Ⅰ
第１０章 土木請負工事における現場環境改善費の積算	県	P. 89	Ⅰ-9-①-1	Ⅰ
① 土木請負工事における現場環境改善費の積算	県	P. 89	Ⅰ-9-①-1	Ⅰ
② 熱中症対策・防寒対策における積算	県	P. 90	－	Ⅰ

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
目次			

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
第１１章 工事における工期の延長等に伴う増加費用等の積算	県	P. 92	Ⅰ-10-①-1	Ⅰ
① 工事における工期の延長等に伴う増加費用等の積算	県	P. 92	Ⅰ-10-①-1	Ⅰ
第１２章 施工箇所が点在する工事の積算	県	P. 99	Ⅰ-11-①-1	Ⅰ
① 施工箇所が点在する工事の積算について	県	P. 99	Ⅰ-11-①-1	Ⅰ
第１３章 １日未満で完了する作業の積算	県	P. 101	Ⅰ-12-①-1	Ⅰ
① １日未満で完了する作業の積算	県	P. 101	Ⅰ-12-①-1	Ⅰ
第１４章 その他	県	P. 108	Ⅰ-14-①-1	Ⅰ
① 作業日当り標準作業量	県	P. 108	Ⅰ-14-④-1	Ⅰ
② 市場単価の１日当り標準施工量	県	P. 244	Ⅰ-14-⑤-1	Ⅰ
第Ⅱ編 共通工				
第１章 土 工			Ⅱ-1-①-1	Ⅰ
① 土量変化率等	国		Ⅱ-1-①-1	Ⅰ
積算上の土質の区分	補	P. 263	－	Ⅰ
積算上の床掘り勾配及び余裕幅(数量算出要領)	補	P. 264	－	Ⅰ
建設副産物の取扱	補	P. 265	－	Ⅰ
② 土工	国	－	Ⅱ-1-②-1	
②-1 土工	国	－	Ⅱ-1-②-1	Ⅰ
②-2 土工（ICT）	国	－	Ⅱ-1-②-38	Ⅰ
③ 作業土工	国	－	Ⅱ-1-③-1	
③-1 床掘工	国	－	Ⅱ-1-③-1	Ⅰ
③-2 床掘工（ICT）	国	－	Ⅱ-1-③-10	Ⅰ
③-3 埋戻工	国	－	Ⅱ-1-③-13	Ⅰ
④ 人力運搬工	国	－	Ⅱ-1-④-1	Ⅰ
⑤ 運搬処理工	国	－	Ⅱ-1-⑤-1	
⑤-1 安定処理工	国	－	Ⅱ-1-⑤-1	Ⅰ
⑤-2 安定処理工（自走式土質改良工）	国	－	Ⅱ-1-⑤-5	Ⅰ
⑥ 土砂運搬工（不整地運搬車による運搬）	国	－	Ⅱ-1-⑥-1	Ⅰ
○ 伐採工（参考歩掛）	県	P. 267	－	Ⅰ
第２章 共通工			Ⅱ-2-①-1	Ⅰ
① 法面工	国	－	Ⅱ-2-①-1	
①-1 法面整形工	国	－	Ⅱ-2-①-1	Ⅰ
①-2 法面整形工（ICT）	国	－	Ⅱ-2-①-7	Ⅰ
①-3 芝付工	国	－	Ⅱ-2-①-11	Ⅰ
①-4 コンクリート法枠工	国	－	Ⅱ-2-①-13	Ⅰ
①-5 吹付法面とりこわし工	国	－	Ⅱ-2-①-28	D
①-6 プレキャストコンクリート板設置工	国	－	Ⅱ-2-①-33	D

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
第１１章 工事における工期の延長等に伴う増加費用等の積算	県	P. 91	Ⅰ-10-①-1	Ⅰ
① 工事における工期の延長等に伴う増加費用等の積算	県	P. 91	Ⅰ-10-①-1	Ⅰ
第１２章 施工箇所が点在する工事の積算	県	P. 98	Ⅰ-11-①-1	Ⅰ
① 施工箇所が点在する工事の積算について	県	P. 98	Ⅰ-11-①-1	Ⅰ
第１３章 １日未満で完了する作業の積算	県	P. 100	Ⅰ-12-①-1	Ⅰ
① １日未満で完了する作業の積算	県	P. 100	Ⅰ-12-①-1	Ⅰ
第１４章 その他	県	P. 107	Ⅰ-14-①-1	Ⅰ
① 作業日当り標準作業量	県	P. 107	Ⅰ-14-④-1	Ⅰ
② 市場単価の１日当り標準施工量	県	P. 242	Ⅰ-14-⑤-1	Ⅰ
第Ⅱ編 共通工				
第１章 土 工			Ⅱ-1-①-1	Ⅰ
① 土量変化率等	国		Ⅱ-1-①-1	Ⅰ
積算上の土質の区分	補	P. 262	－	Ⅰ
積算上の床掘り勾配及び余裕幅(数量算出要領)	補	P. 263	－	Ⅰ
建設副産物の取扱	補	P. 264	－	Ⅰ
② 土工	国	－	Ⅱ-1-②-1	Ⅰ
②-1 土工	国	－	Ⅱ-1-②-1	Ⅰ
②-2 土工（ICT）	国	－	Ⅱ-1-②-39	Ⅰ
③ 作業土工	国	－	Ⅱ-1-③-1	Ⅰ
③-1 床掘工	国	－	Ⅱ-1-③-1	Ⅰ
③-2 床掘工（ICT）	国	－	Ⅱ-1-③-10	Ⅰ
③-3 埋戻工	国	－	Ⅱ-1-③-14	Ⅰ
④ 人力運搬工	国	－	Ⅱ-1-④-1	Ⅰ
⑤ 安定処理工	国	－	Ⅱ-1-⑤-1	Ⅰ
⑤-1 安定処理工	国	－	Ⅱ-1-⑤-1	Ⅰ
⑤-2 安定処理工（自走式土質改良工）	国	－	Ⅱ-1-⑤-5	Ⅰ
⑥ 土砂運搬工（不整地運搬車による運搬）	国	－	Ⅱ-1-⑥-1	Ⅰ
○ 伐採工（参考歩掛）	県	P. 266	－	Ⅰ
第２章 共通工			Ⅱ-2-①-1	Ⅰ
① 法面工	国	－	Ⅱ-2-①-1	
①-1 法面整形工	国	－	Ⅱ-2-①-1	Ⅰ
①-2 法面整形工（ICT）	国	－	Ⅱ-2-①-7	Ⅰ
①-3 芝付工	国	－	Ⅱ-2-①-11	Ⅰ
①-4 コンクリート法枠工	国	－	Ⅱ-2-①-13	Ⅰ
①-5 吹付法面とりこわし工	国	－	Ⅱ-2-①-28	D
①-6 プレキャストコンクリート板設置工	国	－	Ⅱ-2-①-33	D

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
目次			

現行

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
①-7 人工張芝工	国	－	Ⅱ-2-①-38	I
② 基礎・裏込砕石工	国	－	Ⅱ-2-②-1	F
③ コンクリートブロック積（張）工	国	－	Ⅱ-2-③-1	F
④ 石積（張）工	国	－	Ⅱ-2-④-1	
④-1 石積（張）工	国	－	Ⅱ-2-④-1	F
④-2 平石張工	国	－	Ⅱ-2-④-14	K
⑤ 場所打擁壁工	国	－	Ⅱ-2-⑤-1	
⑤-1 場所打擁壁工（1）	国	－	Ⅱ-2-⑤-1	I
⑤-2 場所打擁壁工（2）	国	－	Ⅱ-2-⑤-22	I
⑥ プレキャスト擁壁工	国	－	Ⅱ-2-⑥-1	E
⑦ 補強土壁工	国	－	Ⅱ-2-⑦-1	E
⑧ 補強盛土工	国	－	Ⅱ-2-⑧-1	E
⑨ 構造物補修工	国	－	Ⅱ-2-⑨-1	
⑨-1 構造物補修工（ひび割れ補修工(充てん工法)）	国	－	Ⅱ-2-⑨-1	D
⑨-2 構造物補修工（ひび割れ補修工(低圧注入工法)）	国	－	Ⅱ-2-⑨-4	D
⑨-3 構造物補修工（断面修復工(左官工法)）	国	－	Ⅱ-2-⑨-8	D
⑩ 排水構造物工	国	－	Ⅱ-2-⑩-1	
⑩-1 排水構造物工	国	－	Ⅱ-2-⑩-1	I,B,C
⑩-2 排水構造物工 現場打ち水路（本体）	国	－	Ⅱ-2-⑩-35	B
⑩-3 排水構造物工(現場打ち集水枡･街渠枡(本体))	国	－	Ⅱ-2-⑩-42	B
⑪ 軟弱地盤処理工	国	－	Ⅱ-2-⑪-1	
⑪-1 サンドマット工	国	－	Ⅱ-2-⑪-1	B
⑪-2 粉体噴射撹拌工（DJM工法）	国	－	Ⅱ-2-⑪-4	B
⑪-3 スラリー撹拌工	国	－	Ⅱ-2-⑪-11	B
⑪-4 高圧噴射撹拌工	国	－	Ⅱ-2-⑪-23	B
⑪-5 ＰＶＤ工（ﾌﾟﾚﾌｧﾌﾞﾘｹｲﾃｨｯﾄﾞ ﾊﾞｰﾁｶﾙﾄﾞﾚｰﾝ工）	国	－	Ⅱ-2-⑪-41	I
⑪-6 中層混合処理工	国	－	Ⅱ-2-⑪-45	I
⑫ 薬液注入工	国	－	Ⅱ-2-⑫-1	B
⑬ アンカー工（ロータリーパーカッション式）	国	－	Ⅱ-2-⑬-1	H
⑭ 構造物とりこわし工	国	－	Ⅱ-2-⑭-1	I
⑮ コンクリート削孔工	国	－	Ⅱ-2-⑮-1	D
⑯ ガス切断工	国	－	Ⅱ-2-⑯-1	E
⑰ 吸出し防止材設置工	国	－	Ⅱ-2-⑰-1	I
⑱ 目地・止水板設置工	国	－	Ⅱ-2-⑱-1	I
⑲ 旧橋撤去工	国	－	Ⅱ-2-⑲-1	E
⑳ かご工	国	－	Ⅱ-2-⑳-1	F

改定

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
①-7 人工張芝工	国	－	Ⅱ-2-①-38	I
② 基礎・裏込砕石工	国	－	Ⅱ-2-②-1	F
③ コンクリートブロック積（張）工	国	－	Ⅱ-2-③-1	F
④ 石積（張）工	国	－	Ⅱ-2-④-1	
④-1 石積（張）工	国	－	Ⅱ-2-④-1	F
④-2 平石張工	国	－	Ⅱ-2-④-14	K
⑤ 場所打擁壁工	国	－	Ⅱ-2-⑤-1	I
⑤-1 場所打擁壁工（1）	国	－	Ⅱ-2-⑤-1	I
⑤-2 場所打擁壁工（2）	国	－	Ⅱ-2-⑤-22	I
⑥ プレキャスト擁壁工	国	－	Ⅱ-2-⑥-1	E
⑦ 補強土壁工（帯鋼補強土壁，アンカー補強土壁，ジオテキスタイル補強土壁）	国	－	Ⅱ-2-⑦-1	E
⑧ 補強盛土工	国	－	Ⅱ-2-⑧-1	E
⑨ 構造物補修工	国	－	Ⅱ-2-⑨-1	D
⑨-1 構造物補修工（ひび割れ補修工(充てん工法)）	国	－	Ⅱ-2-⑨-1	D
⑨-2 構造物補修工（ひび割れ補修工(低圧注入工法)）	国	－	Ⅱ-2-⑨-4	D
⑨-3 構造物補修工（断面修復工(左官工法)）	国	－	Ⅱ-2-⑨-8	D
⑩ 排水構造物工	国	－	Ⅱ-2-⑩-1	
⑩-1 排水構造物工	国	－	Ⅱ-2-⑩-1	I,B,C
⑩-2 排水構造物工 現場打ち水路（本体）	国	－	Ⅱ-2-⑩-35	B
⑩-3 排水構造物工(現場打ち集水枡･街渠枡(本体))	国	－	Ⅱ-2-⑩-42	B
⑪ 軟弱地盤処理工	国	－	Ⅱ-2-⑪-1	
⑪-1 サンドマット工	国	－	Ⅱ-2-⑪-1	B
⑪-2 スラリー撹拌工	国	－	Ⅱ-2-⑪-4	B
⑪-3 高圧噴射撹拌工	国	－	Ⅱ-2-⑪-16	B
⑪-4 ＰＶＤ工（ﾌﾟﾚﾌｧﾌﾞﾘｹｲﾃｨｯﾄﾞ ﾊﾞｰﾁｶﾙﾄﾞﾚｰﾝ工）	国	－	Ⅱ-2-⑪-35	I
⑪-5 中層混合処理工	国	－	Ⅱ-2-⑪-39	I
⑪-6 中層混合処理工（ICT）	国	－	Ⅱ-2-⑪-46	I
⑫ 薬液注入工	国	－	Ⅱ-2-⑫-1	B
⑬ アンカー工（ロータリーパーカッション式）	国	－	Ⅱ-2-⑬-1	H
⑭ 構造物とりこわし工	国	－	Ⅱ-2-⑭-1	I
⑮ コンクリート削孔工	国	－	Ⅱ-2-⑮-1	D
⑯ ガス切断工	国	－	Ⅱ-2-⑯-1	E
⑰ 吸出し防止材設置工	国	－	Ⅱ-2-⑰-1	I
⑱ 目地・止水板設置工	国	－	Ⅱ-2-⑱-1	I
⑲ 旧橋撤去工	国	－	Ⅱ-2-⑲-1	E

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
目次			

現　行

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
㉑ 発泡スチロールを用いた超軽量盛土工	国	－	Ⅱ-2-㉑-1	E
㉒ 現場取卸工	国	－	Ⅱ-2-㉒-1	I
㉓ 骨材再生工（自走式）	国	－	Ⅱ-2-㉓-1	I
㉔ 函渠工	国	－	Ⅱ-2-㉔-1	
㉔-1 函渠工（1）	国	－	Ⅱ-2-㉔-1	I
㉔-2 函渠工（2）	国	－	Ⅱ-2-㉔-8	I
㉔-3 函渠工（3）大型ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ工	国	－	Ⅱ-2-㉔-12	I
㉕ 殻運搬	国	－	Ⅱ-2-㉕-1	I
㉖ 排水材設置工	国	－	Ⅱ-2-㉖-1	I
第３章 基礎工			Ⅱ-3-①-1	
① 鋼管・既製コンクリート杭打工	国	－	Ⅱ-3-①-1	
①-1 パイルハンマ工	国	－	Ⅱ-3-①-1	E
①-2 中掘工	国	－	Ⅱ-3-①-10	E
①-3 鋼管ソイルセメント杭工	国	－	Ⅱ-3-①-19	E
①-4 回転杭工	国	－	Ⅱ-3-①-30	E
①-5 杭頭処理工	国	－	Ⅱ-3-①-37	E
② 場所打杭工	国	－	Ⅱ-3-②-1	
②-1 全回転式オールケーシング工	国	－	Ⅱ-3-②-1	E
②-2 アースオーガ工･硬質地盤用アースオーガ工	国	－	Ⅱ-3-②-9	E
②-3 大口径ボーリングマシン工	国	－	Ⅱ-3-②-18	E
②-4 ダウンザホールハンマ工	国	－	Ⅱ-3-②-29	E
③ 深礎工	国	－	Ⅱ-3-③-1	
③-1 深礎工	国	－	Ⅱ-3-③-1	E
③-2 コンクリート工（深礎工）	国	－	Ⅱ-3-③-10	E
④ ニューマチックケーソン工	国	－	Ⅱ-3-④-1	E
⑤ 基礎工（鋼管矢板基礎工）	国	－	Ⅱ-3-⑤-1	
⑤-1 打撃工法	国	－	Ⅱ-3-⑤-1	E
⑤-2 中掘工法	国	－	Ⅱ-3-⑤-23	E
⑥ 泥水運搬工	国	－	Ⅱ-3-⑥-1	E
第４章 コンクリート工			Ⅱ-4-①-1	
① コンクリート工	国		Ⅱ-4-①-1	I
レディーミクストコンクリート	補	P.270	－	I
② 型枠工	国	－	Ⅱ-4-②-1	
②-1 型枠工	国	－	Ⅱ-4-②-1	I
②-2 型枠工（省力化構造）	国	－	Ⅱ-4-②-6	I
③ 張りコンクリート工	国	－	Ⅱ-4-③-1	I

改　定

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
⑳ かご工	国	－	Ⅱ-2-⑳-1	F
㉑ 発泡スチロールを用いた超軽量盛土工	国	－	Ⅱ-2-㉑-1	E
㉒ 現場取卸工	国	－	Ⅱ-2-㉒-1	I
㉓ 骨材再生工（自走式）	国	－	Ⅱ-2-㉓-1	I
㉔ 函渠工	国	－	Ⅱ-2-㉔-1	I
㉔-1 函渠工（1）	国	－	Ⅱ-2-㉔-1	I
㉔-2 函渠工（2）	国	－	Ⅱ-2-㉔-8	I
㉔-3 函渠工（3）大型ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ工	国	－	Ⅱ-2-㉔-12	I
㉕ 殻運搬	国	－	Ⅱ-2-㉕-1	I
㉖ 排水材設置工	国	－	Ⅱ-2-㉖-1	I
第３章 基礎工			Ⅱ-3-①-1	
① 鋼管・既製コンクリート杭打工	国	－	Ⅱ-3-①-1	E
①-1 パイルハンマ工	国	－	Ⅱ-3-①-1	E
①-2 中掘工	国	－	Ⅱ-3-①-10	E
①-3 鋼管ソイルセメント杭工	国	－	Ⅱ-3-①-19	E
①-4 回転杭工	国	－	Ⅱ-3-①-32	E
①-5 杭頭処理工	国	－	Ⅱ-3-①-39	E
② 場所打杭工	国	－	Ⅱ-3-②-1	E
②-1 全回転式オールケーシング工	国	－	Ⅱ-3-②-1	E
②-2 大口径ボーリングマシン工	国	－	Ⅱ-3-②-10	E
②-3 ダウンザホールハンマ工	国	－	Ⅱ-3-②-21	E
③ 深礎工	国	－	Ⅱ-3-③-1	E
③-1 深礎工	国	－	Ⅱ-3-③-1	E
③-2 コンクリート工（深礎工）	国	－	Ⅱ-3-③-10	E
④ ニューマチックケーソン工	国	－	Ⅱ-3-④-1	E
⑤ 基礎工（鋼管矢板基礎工）	国	－	Ⅱ-3-⑤-1	E
⑤-1 打撃工法	国	－	Ⅱ-3-⑤-1	E
⑤-2 中掘工法	国	－	Ⅱ-3-⑤-23	E
⑥ 泥水運搬工	国	－	Ⅱ-3-⑥-1	E
第４章 コンクリート工			Ⅱ-4-①-1	
① コンクリート工	国		Ⅱ-4-①-1	I
レディーミクストコンクリート	補	P.269	－	I
② 型枠工	国	－	Ⅱ-4-②-1	I
②-1 型枠工	国	－	Ⅱ-4-②-1	I
②-2 型枠工（省力化構造）	国	－	Ⅱ-4-②-6	I
③ 張りコンクリート工	国	－	Ⅱ-4-③-1	I

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
目次			

現　行

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
第５章 仮設工			Ⅱ-5-①-1	
① 仮設工	県	P. 273	Ⅱ-5-①-1	Ⅰ
(1)仮設工項目	県	P. 273	Ⅱ-5-①-1	Ⅰ
(2)仮設工の積算	県	P. 273	Ⅱ-5-①-1	Ⅰ
3)仮設工事の取扱について	県	P. 274	－	Ⅰ
4)設計図書の作成	県	P. 275	－	Ⅰ
5)注意事項	県	P. 275	－	Ⅰ
6)指定仮設の例	県	P. 276	－	Ⅰ
(3)仮設材の損料率	県	P. 277	Ⅱ-5-①-2	Ⅰ
(4)鋼矢板の賃料期間の算定	県	P. 277	Ⅱ-5-①-2	Ⅰ
(5)適用区分による賃料の補正について	県	P. 278	Ⅱ-5-①-2	Ⅰ
（参考）賃料の補正の考え方	県	P. 278	－	Ⅰ
(6)工事用仮設材(鋼矢板、H形鋼等)の計上	県	P. 279	Ⅱ-5-①-3	Ⅰ
(7)仮設材賃料に係る修理費及び損耗費の取扱い	県	P. 282	Ⅱ-5-①-5	Ⅰ
(8)賃料の補正	県	P. 282	－	Ⅰ
(9)矢板打込・引抜	県	P. 283	－	Ⅰ
(10)その他	県	P. 283	－	Ⅰ
(11)仮設道路	県	P. 284	－	Ⅰ
(12)電力施設の積算基準	県	P. 287	－	C
(13)階段擦付の考え方	県	P. 292	－	Ⅰ
② 鋼矢板（H形鋼）工	国	－	Ⅱ-5-②-1	
②-1 バイブロハンマ工	国	－	Ⅱ-5-②-1	Ⅰ
②-2 バイブロハンマ工（軽量鋼矢板打込引抜工）	国	－	Ⅱ-5-②-32	Ⅰ
②-3 油圧圧入引抜工	国	－	Ⅱ-5-②-38	Ⅰ
②-4 プレボーリング	国	－	Ⅱ-5-②-60	Ⅰ
③ 鋼矢板工（アースオーガ併用圧入工）	国	－	Ⅱ-5-③-1	Ⅰ
④ 鋼矢板（H形鋼）工（クレーン引抜工）	国	－	Ⅱ-5-④-1	Ⅰ
⑤ 鋼矢板施工法選定（参考）	国	－	Ⅱ-5-⑤-1	
⑤-1 鋼矢板打込み施工法選定表（参考）	国	－	Ⅱ-5-⑤-1	Ⅰ
⑤-2 鋼矢板･H形鋼引抜き施工法選定フロー（参考）	国	－	Ⅱ-5-⑤-5	Ⅰ
⑥ 仮設材設置・撤去	国	－	Ⅱ-5-⑥-1	Ⅰ,C
⑦ 足場支保工	国	－	Ⅱ-5-⑦-1	
参考（計算例）	補	P. 293	－	Ⅰ
⑦-1 足場工	国	－	Ⅱ-5-⑦-1	Ⅰ
⑦-2 支保工	国	－	Ⅱ-5-⑦-5	Ⅰ
⑧ 締切排水工	国	－	Ⅱ-5-⑧-1	Ⅰ

改　定

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
第５章 仮設工			Ⅱ-5-①-1	
① 仮設工	県	P. 272	Ⅱ-5-①-1	Ⅰ
(1)仮設工項目	県	P. 272	Ⅱ-5-①-1	Ⅰ
(2)仮設工の積算	県	P. 272	Ⅱ-5-①-1	Ⅰ
3)仮設工事の取扱について	県	P. 273	－	Ⅰ
4)設計図書の作成	県	P. 274	－	Ⅰ
5)注意事項	県	P. 274	－	Ⅰ
6)指定仮設の例	県	P. 275	－	Ⅰ
(3)仮設材の損料率	県	P. 276	Ⅱ-5-①-2	Ⅰ
(4)鋼矢板の賃料期間の算定	県	P. 276	Ⅱ-5-①-2	Ⅰ
(5)適用区分による賃料の補正について	県	P. 277	Ⅱ-5-①-2	Ⅰ
（参考）賃料の補正の考え方	県	P. 277	－	Ⅰ
(6)工事用仮設材(鋼矢板、H形鋼等)の計上	県	P. 278	Ⅱ-5-①-3	Ⅰ
(7)仮設材賃料に係る修理費及び損耗費の取扱い	県	P. 281	Ⅱ-5-①-5	Ⅰ
(8)賃料の補正	県	P. 281	－	Ⅰ
(9)矢板打込・引抜	県	P. 282	－	Ⅰ
(10)その他	県	P. 282	－	Ⅰ
(11)仮設道路	県	P. 283	－	Ⅰ
(12)電力施設の積算基準	県	P. 286	－	C
(13)階段擦付の考え方	県	P. 291	－	Ⅰ
② 鋼矢板（H形鋼）工	国	－	Ⅱ-5-②-1	Ⅰ
②-1 バイブロハンマ工	国	－	Ⅱ-5-②-1	Ⅰ
②-2 バイブロハンマ工（軽量鋼矢板打込引抜工）	国	－	Ⅱ-5-②-33	Ⅰ
②-3 油圧圧入引抜工	国	－	Ⅱ-5-②-39	Ⅰ
②-4 プレボーリング	国	－	Ⅱ-5-②-63	Ⅰ
③ 鋼矢板工（アースオーガ併用圧入工）	国	－	Ⅱ-5-③-1	Ⅰ
④ 鋼矢板施工法選定（参考）	国	－	Ⅱ-5-④-1	Ⅰ
④-1 鋼矢板打込み施工法選定表（参考）	国	－	Ⅱ-5-④-1	Ⅰ
④-2 鋼矢板･H形鋼引抜き施工法選定フロー（参考）	国	－	Ⅱ-5-④-5	Ⅰ
⑤ 仮設材設置・撤去	国	－	Ⅱ-5-⑤-1	Ⅰ,C
⑥ 足場支保工	国	－	Ⅱ-5-⑥-1	Ⅰ
参考（計算例）	補	P. 292	－	Ⅰ
⑥-1 足場工	国	－	Ⅱ-5-⑥-1	Ⅰ
⑥-2 支保工	国	－	Ⅱ-5-⑥-5	Ⅰ
⑦ 締切排水工	国	－	Ⅱ-5-⑦-1	Ⅰ

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
目次			

現　行

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
⑨ ウエルポイント工	国	－	Ⅱ-5-⑨-1	C
⑩ 土のう工	国	－	Ⅱ-5-⑩-1	
⑩-1 土のう工	国	－	Ⅱ-5-⑩-1	F
⑩-2 大型土のう工	国	－	Ⅱ-5-⑩-3	F
⑪ 仮橋・仮桟橋工	国	－	Ⅱ-5-⑪-1	E
⑫ 汚濁防止フェンス工	国	－	Ⅱ-5-⑫-1	I
⑬ 仮囲い設置・撤去工	国	－	Ⅱ-5-⑬-1	
⑬-1 仮囲い設置・撤去工	国	－	Ⅱ-5-⑬-1	E
⑬-2 雪寒仮囲い工	国	－	Ⅱ-5-⑬-3	E
⑭ 仮設防護柵工（切土及び発破防護柵工）	国	－	Ⅱ-5-⑭-1	E
⑮ 濁水処理工（一般土木工事）	国	－	Ⅱ-5-⑮-1	I
⑯ 敷鉄板設置・撤去工	国	－	Ⅱ-5-⑯-1	I
⑰ 防塵処理工	国	－	Ⅱ-5-⑰-1	I
⑱ 仮設電力設備工	国	－	Ⅱ-5-⑱-1	I
⑲ グラフによる標準的な仮設電力設備の積算	国	－	Ⅱ-5-⑲-1	I
⑳ 法面工（仮設用モルタル吹付工）	国	－	Ⅱ-5-⑳-1	E
㉑ 交通誘導警備員	国	－	Ⅱ-5-㉑-1	I
第Ⅲ編 河 川				
第１章 河川海岸			Ⅲ-1-①-1	
① 消波根固めブロック工	国	－	Ⅲ-1-①-1	
①-1 消波根固めブロック工	国	－	Ⅲ-1-①-1	F
①-2 消波根固めブロック工（ブロック撤去工）	国	－	Ⅲ-1-①-23	F
② 捨石工	国	－	Ⅲ-1-②-1	F
③ 消波工	国	－	Ⅲ-1-③-1	F
④ 浚渫工	国	－	Ⅲ-1-④-1	
④-1 バックホウ浚渫船	国	－	Ⅲ-1-④-1	F
④-2 バックホウ浚渫船（ICT）	国	－	Ⅲ-1-④-8	F
⑤ 軟弱地盤上における柔構造樋門・樋管工	国	－	Ⅲ-1-⑤-1	F
第２章 河川維持工			Ⅲ-2-①-1	
① 堤防除草工	国	－	Ⅲ-2-①-1	F
② 堤防芝養生工	国	－	Ⅲ-2-②-1	F
③ 伐木除根工	国	－	Ⅲ-2-③-1	F
④ 塵芥処理工	国	－	Ⅲ-2-④-1	F
⑤ ボーリンググラウト工	国	－	Ⅲ-2-⑤-1	F
⑥ 粗朶沈床工	国	－	Ⅲ-2-⑥-1	F

改　定

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
⑧ ウエルポイント工	国	－	Ⅱ-5-⑧-1	C
⑨ 土のう工	国	－	Ⅱ-5-⑨-1	F
⑨-1 土のう工	国	－	Ⅱ-5-⑨-1	F
⑨-2 大型土のう工	国	－	Ⅱ-5-⑨-5	F
⑩ 仮橋・仮桟橋工	国	－	Ⅱ-5-⑩-1	E
⑪ 汚濁防止フェンス工	国	－	Ⅱ-5-⑪-1	I
⑫ 仮囲い設置・撤去工	国	－	Ⅱ-5-⑫-1	E
⑫-1 仮囲い設置・撤去工	国	－	Ⅱ-5-⑫-1	E
⑫-2 雪寒仮囲い工	国	－	Ⅱ-5-⑫-4	E
⑬ 仮設防護柵工（切土及び発破防護柵工）	国	－	Ⅱ-5-⑬-1	E
⑭ 濁水処理工（一般土木工事）	国	－	Ⅱ-5-⑭-1	I
⑮ 敷鉄板設置・撤去工	国	－	Ⅱ-5-⑮-1	I
⑯ 防塵処理工	国	－	Ⅱ-5-⑯-1	I
⑰ 仮設電力設備工	国	－	Ⅱ-5-⑰-1	I
⑱ グラフによる標準的な仮設電力設備の積算	国	－	Ⅱ-5-⑱-1	I
⑲ 法面工（仮設用モルタル吹付工）	国	－	Ⅱ-5-⑲-1	E
⑳ 交通誘導警備員	国	－	Ⅱ-5-⑳-1	I
第Ⅲ編 河 川				
第１章 河川海岸			Ⅲ-1-①-1	
① 消波根固めブロック工	国	－	Ⅲ-1-①-1	F
①-1 消波根固めブロック工	国	－	Ⅲ-1-①-1	F
①-2 消波根固めブロック工（ブロック撤去工）	国	－	Ⅲ-1-①-24	F
② 捨石工	国	－	Ⅲ-1-②-1	F
③ 消波工	国	－	Ⅲ-1-③-1	F
④ 浚渫工	国	－	Ⅲ-1-④-1	F
④-1 バックホウ浚渫船	国	－	Ⅲ-1-④-1	F
④-2 バックホウ浚渫船（ICT）	国	－	Ⅲ-1-④-8	F
⑤ 軟弱地盤上における柔構造樋門・樋管工	国	－	Ⅲ-1-⑤-1	F
第２章 河川維持工			Ⅲ-2-①-1	
① 堤防除草工	国	－	Ⅲ-2-①-1	F
② 堤防芝養生工	国	－	Ⅲ-2-②-1	F
③ 伐木除根工	国	－	Ⅲ-2-③-1	F
④ 塵芥処理工	国	－	Ⅲ-2-④-1	F
⑤ 粗朶沈床工	国	－	Ⅲ-2-⑤-1	F

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考

目次

現　行

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
⑦ 機械土工（河床等掘削）	国	－	Ⅲ-2-⑦-1	
⑦-1 機械土工（河床等掘削）	国	－	Ⅲ-2-⑦-1	F
⑦-2 機械土工（河床等掘削）（ICT）	国	－	Ⅲ-2-⑦-5	F
⑧ 多自然護岸工	国	－	Ⅲ-2-⑧-1	
⑧-1 巨石積（張）工	国	－	Ⅲ-2-⑧-1	F
⑧-2 木杭打工	国	－	Ⅲ-2-⑧-12	F
⑧-3 巨石据付工	国	－	Ⅲ-2-⑧-14	F
⑨ 護岸基礎ブロック工	国	－	Ⅲ-2-⑨-1	F
⑩ かごマット工	国	－	Ⅲ-2-⑩-1	
⑩-1 かごマット工（スロープ型）	国	－	Ⅲ-2-⑩-1	F
⑩-2 かごマット工（多段積型）	国	－	Ⅲ-2-⑩-4	F
⑪ ブロックマット工	国	－	Ⅲ-2-⑪-1	F
⑫ 袋詰玉石工	国	－	Ⅲ-2-⑫-1	F
⑬ 笠コンクリートブロック据付工	国	－	Ⅲ-2-⑬-1	F
⑭ グラウトホール工	国	－	Ⅲ-2-⑭-1	F
⑮ 連節ブロックの水中吊落し工	国	－	Ⅲ-2-⑮-1	F
⑯ 光ケーブル配管工	国	－	Ⅲ-2-⑯-1	F
第３章 砂防工			Ⅲ-3-①-1	
① 土工	国	－	Ⅲ-3-①-1	
①-1 土工	国	－	Ⅲ-3-①-1	H
①-2 土工（ICT）	国	－	Ⅲ-3-①-12	H
② コンクリート工	国	－	Ⅲ-3-②-1	
②-1 コンクリート工	国	－	Ⅲ-3-②-1	H
②-2 コンクリート工（ケーブルクレーン打設）	国	－	Ⅲ-3-②-14	H
②-3 残存型枠工	国	－	Ⅲ-3-②-22	H
③ 養生工（練炭）	国	－	Ⅲ-3-③-1	H
④ 仮締切工	国	－	Ⅲ-3-④-1	
④-1 砂防土砂仮締切・砂防土砂土のう仮締切	国	－	Ⅲ-3-④-1	H
④-2 砂防コンクリート仮締切	国	－	Ⅲ-3-④-8	H
⑤ 鋼製砂防工	国	－	Ⅲ-3-⑤-1	H
⑥ 砂防ソイルセメント工	国	－	Ⅲ-3-⑥-1	H
第４章 地すべり防止工			Ⅲ-4-①-1	
① 地すべり防止工	国	－	Ⅲ-4-①-1	
①-1 集水井工（ライナープレート土留工法）	国	－	Ⅲ-4-①-1	H
①-2 地すべり防止工（集排水ボーリング工）	国	－	Ⅲ-4-①-10	H
①-3 地すべり防止工（山腹水路工）	国	－	Ⅲ-4-①-18	H

改　定

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
⑥ 機械土工（河床等掘削）	国	－	Ⅲ-2-⑥-1	F
⑥-1 機械土工（河床等掘削）	国	－	Ⅲ-2-⑥-1	F
⑥-2 機械土工（河床等掘削）（ICT）	国	－	Ⅲ-2-⑥-5	F
⑦ 多自然護岸工	国	－	Ⅲ-2-⑦-1	F
⑦-1 巨石積（張）工	国	－	Ⅲ-2-⑦-1	F
⑦-2 木杭打工	国	－	Ⅲ-2-⑦-12	F
⑦-3 巨石据付工	国	－	Ⅲ-2-⑦-14	F
⑧ 護岸基礎ブロック工	国	－	Ⅲ-2-⑧-1	F
⑨ かごマット工	国	－	Ⅲ-2-⑨-1	F
⑨-1 かごマット工（スロープ型）	国	－	Ⅲ-2-⑨-1	F
⑨-2 かごマット工（多段積型）	国	－	Ⅲ-2-⑨-4	F
⑩ ブロックマット工	国	－	Ⅲ-2-⑩-1	F
⑪ 袋詰玉石工	国	－	Ⅲ-2-⑪-1	F
⑫ 笠コンクリートブロック据付工	国	－	Ⅲ-2-⑫-1	F
⑬ グラウトホール工	国	－	Ⅲ-2-⑬-1	F
⑭ 光ケーブル配管工	国	－	Ⅲ-2-⑭-1	F
第３章 砂防工			Ⅲ-3-①-1	
① 土工	国	－	Ⅲ-3-①-1	H
①-1 土工	国	－	Ⅲ-3-①-1	H
①-2 土工（ICT）	国	－	Ⅲ-3-①-12	H
② コンクリート工	国	－	Ⅲ-3-②-1	H
②-1 コンクリート工	国	－	Ⅲ-3-②-1	H
②-2 コンクリート工（ケーブルクレーン打設）	国	－	Ⅲ-3-②-13	H
②-3 残存型枠工	国	－	Ⅲ-3-②-21	H
③ 養生工（練炭）	国	－	Ⅲ-3-③-1	H
④ 仮締切工	国	－	Ⅲ-3-④-1	H
④-1 砂防土砂仮締切・砂防土砂土のう仮締切	国	－	Ⅲ-3-④-1	H
④-2 砂防コンクリート仮締切	国	－	Ⅲ-3-④-8	H
⑤ 鋼製砂防工	国	－	Ⅲ-3-⑤-1	H
⑥ 砂防ソイルセメント工	国	－	Ⅲ-3-⑥-1	H
第４章 地すべり防止工			Ⅲ-4-①-1	
① 地すべり防止工	国	－	Ⅲ-4-①-1	H
①-1 集水井工（ライナープレート土留工法）	国	－	Ⅲ-4-①-1	H
①-2 地すべり防止工（集排水ボーリング工）	国	－	Ⅲ-4-①-10	H
①-3 地すべり防止工（山腹水路工）	国	－	Ⅲ-4-①-18	H

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
目次			

現　　行

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
①-4 地すべり防止工（ふとんかご工）	国	－	Ⅲ-4-①-35	H
①-5 地すべり防止工（じゃかご）	国	－	Ⅲ-4-①-38	H
①-6 集排水ボーリング孔洗浄工	国	－	Ⅲ-4-①-42	H
第Ⅳ編 道 路				
第１章 舗装工			Ⅳ-1-①-1	
① 路盤工	国	－	Ⅳ-1-①-1	
①-1 路盤工	国	－	Ⅳ-1-①-1	D,E
鉄鋼スラグ路盤	補	P.300	－	D,E
①-2 路盤工（ICT）	国	－	Ⅳ-1-①-17	D,E
② アスファルト舗装工	国	－	Ⅳ-1-②-1	
②-1 アスファルト舗装工	国	－	Ⅳ-1-②-1	D,E
アスカーブの形状	補	P.301	－	D,E
②-2 半たわみ性（コンポジット）舗装工	国	－	Ⅳ-1-②-16	E
③ 排水性舗装工	国	－	Ⅳ-1-③-1	
③-1 排水性アスファルト舗装工	国	－	Ⅳ-1-③-1	E
③-2 透水性アスファルト舗装工	国	－	Ⅳ-1-③-5	E
④ グースアスファルト舗装工	国	－	Ⅳ-1-④-1	E
⑤ コンクリート舗装工	国	－	Ⅳ-1-⑤-1	
⑤-1 コンクリート舗装工	国	－	Ⅳ-1-⑤-1	B
⑤-2 連続鉄筋コンクリート舗装工	国	－	Ⅳ-1-⑤-9	D
⑥ 踏掛版設置工	国	－	Ⅳ-1-⑥-1	B
○ 夜間施工	県	P.302	－	D
第２章 付属施設			Ⅳ-2-①-1	
① 防護柵設置工	国	－	Ⅳ-2-①-1	
①-1 ガードケーブル設置工	国	－	Ⅳ-2-①-1	D
①-2 ワイヤロープ設置工	国	－	Ⅳ-2-①-9	D
①-3 立入り防止柵工	国	－	Ⅳ-2-①-17	D
①-4 車止めポスト設置工	国	－	Ⅳ-2-①-28	D
①-5 防雪柵設置及び撤去工	国	－	Ⅳ-2-①-30	D
①-6 防雪柵現地張出し・収納工	国	－	Ⅳ-2-①-35	D
①-7 雪崩予防柵設置工	国	－	Ⅳ-2-①-38	D
①-8 落下物等防止柵設置工	国	－	Ⅳ-2-①-45	D
② しゃ音壁設置工	国	－	Ⅳ-2-②-1	D
③ 路側工	国	－	Ⅳ-2-③-1	
③-1 路側工（据付け）	国	－	Ⅳ-2-③-1	B
③-2 路側工（取外し）	国	－	Ⅳ-2-③-8	B

改　　定

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
①-4 地すべり防止工（ふとんかご工）	国	－	Ⅲ-4-①-35	H
①-5 集排水ボーリング孔洗浄工	国	－	Ⅲ-4-①-40	H
第Ⅳ編 道 路				
第１章 舗装工			Ⅳ-1-①-1	
① 路盤工	国	－	Ⅳ-1-①-1	
①-1 路盤工	国	－	Ⅳ-1-①-1	D,E
鉄鋼スラグ路盤	補	P.299	－	D,E
①-2 路盤工（ICT）	国	－	Ⅳ-1-①-17	D,E
② アスファルト舗装工	国	－	Ⅳ-1-②-1	
②-1 アスファルト舗装工	国	－	Ⅳ-1-②-1	D,E
アスカーブの形状	補	P.300	－	D,E
②-2 半たわみ性（コンポジット）舗装工	国	－	Ⅳ-1-②-16	E
③ 排水性舗装工	国	－	Ⅳ-1-③-1	E
③-1 排水性アスファルト舗装工	国	－	Ⅳ-1-③-1	E
③-2 透水性アスファルト舗装工	国	－	Ⅳ-1-③-5	E
④ グースアスファルト舗装工	国	－	Ⅳ-1-④-1	E
⑤ コンクリート舗装工	国	－	Ⅳ-1-⑤-1	
⑤-1 コンクリート舗装工	国	－	Ⅳ-1-⑤-1	B
⑤-2 連続鉄筋コンクリート舗装工	国	－	Ⅳ-1-⑤-9	D
⑥ 踏掛版設置工	国	－	Ⅳ-1-⑥-1	B
○ 夜間施工	県	P.301	－	D
第２章 付属施設			Ⅳ-2-①-1	
① 防護柵設置工	国	－	Ⅳ-2-①-1	D
①-1 ガードケーブル設置工	国	－	Ⅳ-2-①-1	D
①-2 ワイヤロープ設置工	国	－	Ⅳ-2-①-9	D
①-3 立入り防止柵工	国	－	Ⅳ-2-①-17	D
①-4 車止めポスト設置工	国	－	Ⅳ-2-①-28	D
①-5 防雪柵設置及び撤去工	国	－	Ⅳ-2-①-30	D
①-6 防雪柵現地張出し・収納工	国	－	Ⅳ-2-①-35	D
①-7 雪崩予防柵設置工	国	－	Ⅳ-2-①-38	D
①-8 落下物等防止柵設置工	国	－	Ⅳ-2-①-45	D
② しゃ音壁設置工	国	－	Ⅳ-2-②-1	D
③ 路側工	国	－	Ⅳ-2-③-1	B
③-1 路側工（据付け）	国	－	Ⅳ-2-③-1	B
③-2 路側工（取外し）	国	－	Ⅳ-2-③-8	B

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
目次			

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
④ 特殊ブロック設置工	国	－	Ⅳ-2-④-1	D
⑤ 組立歩道工	国	－	Ⅳ-2-⑤-1	D
⑥ 橋梁付属施設設置工	国	－	Ⅳ-2-⑥-1	D
⑦ 道路付属物設置工	国	－	Ⅳ-2-⑦-1	E
⑧ スノーポール設置・撤去工	国	－	Ⅳ-2-⑧-1	I
○ 道路照明設備設置工	県	P. 303	－	D
○ 照明灯基礎設置工	県	P. 306	－	D
○ 照明灯プレキャスト基礎設置工	県	P. 308	－	D
第３章 道路維持修繕工			Ⅳ-3-①-1	
① 路面切削工	国	－	Ⅳ-3-①-1	
①-1 路面切削工	国	－	Ⅳ-3-①-1	D
①-2 切削オーバーレイ工	国	－	Ⅳ-3-①-7	D
② 舗装版破砕工	国	－	Ⅳ-3-②-1	D
③ 舗装版切断工	国	－	Ⅳ-3-③-1	D
濁水処理	県	P. 309	－	I
④ 道路打換え工	国	－	Ⅳ-3-④-1	D
舗装面の亀裂充填工	県	P. 310	－	D
路面補修工	県	P. 311	－	D
⑤ 路上路盤再生工	国	－	Ⅳ-3-⑤-1	D
⑥ アスファルト注入工	国	－	Ⅳ-3-⑥-1	D
⑦ 舗装板クラック補修工	国	－	Ⅳ-3-⑦-1	D
⑧ 道路付属構造物塗替工	国	－	Ⅳ-3-⑧-1	D
⑨ 張紙防止塗装工	国	－	Ⅳ-3-⑨-1	D
⑩ 床版補強工	国	－	Ⅳ-3-⑩-1	D
⑪ 橋梁補強工	国	－	Ⅳ-3-⑪-1	
⑪-1 橋梁補強工（鋼板巻立て）（1）	国	－	Ⅳ-3-⑪-1	D
⑪-2 橋梁補強工（鋼板巻立て）（2）	国	－	Ⅳ-3-⑪-15	D
⑪-3 橋梁補強工（コンクリート巻立て）（1）	国	－	Ⅳ-3-⑪-19	D
⑪-4 橋梁補強工（コンクリート巻立て）（2）	国	－	Ⅳ-3-⑪-28	D
⑫ 橋梁補修工	国	－	Ⅳ-3-⑫-1	
⑫-1 橋梁地覆補修工	国	－	Ⅳ-3-⑫-1	D
⑫-2 橋梁補修工（支承取替工）	国	－	Ⅳ-3-⑫-9	D
⑫-3 橋梁補修工（現場溶接鋼桁補強工）	国	－	Ⅳ-3-⑫-20	D
⑫-4 橋梁補修工（表面被覆工（塗装工法））	国	－	Ⅳ-3-⑫-22	D
⑬ 落橋防止装置工	国	－	Ⅳ-3-⑬-1	D
⑭ 道路除草工	国	－	Ⅳ-3-⑭-1	D

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
④ 特殊ブロック設置工	国	－	Ⅳ-2-④-1	D
⑤ 橋梁付属施設設置工	国	－	Ⅳ-2-⑤-1	D
⑥ 道路付属物設置工	国	－	Ⅳ-2-⑥-1	E
⑦ スノーポール設置・撤去工	国	－	Ⅳ-2-⑦-1	I
○ 道路照明設備設置工	県	P. 302	－	D
○ 照明灯基礎設置工	県	P. 305	－	D
○ 照明灯プレキャスト基礎設置工	県	P. 307	－	D
第３章 道路維持修繕工			Ⅳ-3-①-1	
① 路面切削工	国	－	Ⅳ-3-①-1	D
①-1 路面切削工	国	－	Ⅳ-3-①-1	D
①-2 切削オーバーレイ工	国	－	Ⅳ-3-①-7	D
①-3 切削オーバーレイ工（ICT）	国	－	Ⅳ-3-①-13	D
② 舗装版破砕工	国	－	Ⅳ-3-②-1	D
③ 舗装版切断工	国	－	Ⅳ-3-③-1	D
濁水処理	県	P. 308	－	I
④ 道路打換え工	国	－	Ⅳ-3-④-1	D
舗装面の亀裂充填工	県	P. 309	－	D
路面補修工	県	P. 310	－	D
⑤ 路上路盤再生工	国	－	Ⅳ-3-⑤-1	D
⑥ 舗装板クラック補修工	国	－	Ⅳ-3-⑥-1	D
⑦ 道路付属構造物塗替工	国	－	Ⅳ-3-⑦-1	D
⑧ 張紙防止塗装工	国	－	Ⅳ-3-⑧-1	D
⑨ 床版補強工	国	－	Ⅳ-3-⑨-1	D
⑩ 橋梁補強工	国	－	Ⅳ-3-⑩-1	D
⑩-1 橋梁補強工（鋼板巻立て）（1）	国	－	Ⅳ-3-⑩-1	D
⑩-2 橋梁補強工（鋼板巻立て）（2）	国	－	Ⅳ-3-⑩-15	D
⑩-3 橋梁補強工（コンクリート巻立て）（1）	国	－	Ⅳ-3-⑩-19	D
⑩-4 橋梁補強工（コンクリート巻立て）（2）	国	－	Ⅳ-3-⑩-28	D
⑪ 橋梁補修工	国	－	Ⅳ-3-⑪-1	D
⑪-1 橋梁地覆補修工	国	－	Ⅳ-3-⑪-1	D
⑪-2 橋梁補修工（支承取替工）	国	－	Ⅳ-3-⑪-9	D
⑪-3 橋梁補修工（現場溶接鋼桁補強工）	国	－	Ⅳ-3-⑪-20	D
⑪-4 橋梁補修工（表面被覆工（塗装工法））	国	－	Ⅳ-3-⑪-22	D
⑪-5 塗装塗替足場工	国	－	Ⅳ-3-⑪-28	D
⑪-6 橋梁補修工（高力ボルト当て板鋼桁補強工）	国	－	Ⅳ-3-⑪-34	D
⑫ 落橋防止装置工	国	－	Ⅳ-3-⑫-1	D

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
目次			

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
⑮ 道路清掃工	国	－	IV-3-⑮-1	
⑮-1 路面清掃工（機械清掃）	国	－	IV-3-⑮-1	D
⑮-2 路面清掃工（人力清掃工）	国	－	IV-3-⑮-9	D
⑯ 排水構造物清掃工	国	－	IV-3-⑯-1	
⑯-1 管渠清掃工、側溝清掃工及び集水桝清掃工（組合せ作業）	国	－	IV-3-⑯-1	D
⑯-2 側溝清掃工（単独作業）	国	－	IV-3-⑯-13	D
⑯-3 側溝清掃工（人力清掃工）	国	－	IV-3-⑯-17	D
⑯-4 集水桝清掃工（単独作業）	国	－	IV-3-⑯-19	D
⑯-5 集水桝清掃工（人力清掃工）	国	－	IV-3-⑯-23	D
⑰ トンネル清掃工	国	－	IV-3-⑰-1	D
⑱ トンネル照明器具清掃工	国	－	IV-3-⑱-1	D
⑲ トンネル漏水対策工	国	－	IV-3-⑲-1	D
⑳ トンネル補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工法））	国	－	IV-3-⑳-1	D
㉑ 沓座拡幅工	国	－	IV-3-㉑-1	D
㉒ 欠損部補修工	国	－	IV-3-㉒-1	D
㉓ 舗装版削孔工（アスファルト舗装版）	国	－	IV-3-㉓-1	D
㉔ 横断歩道橋補修工	国	－	IV-3-㉔-1	D
○ 道路植栽管理工	県	P. 313	－	D
第４章 共同溝工			IV-4-①-1	
① 共同溝工	国	－	IV-4-①-1	
①-1 共同溝工（１）（構造物単位）	国	－	IV-4-①-1	I
①-2 共同溝工（２）	国	－	IV-4-①-9	I
①-3 防水工・防水層保護工	国	－	IV-4-①-39	I
② 電線共同溝工（C･C･BOX）	国	－	IV-4-②-1	D
③ 情報ボックス工	国	－	IV-4-③-1	I
第５章 トンネル工			IV-5-①-1	
① トンネル工（NATM）	国	－	IV-5-①-1	
①-1 トンネル工（NATM）［発破工法］	国	－	IV-5-①-1	E
①-2 トンネル工（NATM）［機械掘削工法］	国	－	IV-5-①-78	E
①-3 トンネル濁水処理工	国	－	IV-5-①-144	E
①-4 トンネル工（NATM）仮設備工	国	－	IV-5-①-149	E
② 小断面トンネル工（NATM）	国	－	IV-5-②-1	E
③ トンネル裏込注入工	国	－	IV-5-③-1	E
第６章 道路除雪工			IV-6-①-1	
① 道路除雪工	国	－	IV-6-①-1	D

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
⑬ 道路除草工	国	－	IV-3-⑬-1	D
⑭ 道路清掃工	国	－	IV-3-⑭-1	D
⑭-1 路面清掃工（機械清掃）	国	－	IV-3-⑭-1	D
⑭-2 路面清掃工（人力清掃工）	国	－	IV-3-⑭-9	D
⑮ 排水構造物清掃工	国	－	IV-3-⑮-1	D
⑮-1 管渠清掃工、側溝清掃工及び集水桝清掃工（組合せ作業）	国	－	IV-3-⑮-1	D
⑮-2 側溝清掃工（単独作業）	国	－	IV-3-⑮-13	D
⑮-3 側溝清掃工（人力清掃工）	国	－	IV-3-⑮-17	D
⑮-4 集水桝清掃工（単独作業）	国	－	IV-3-⑮-19	D
⑮-5 集水桝清掃工（人力清掃工）	国	－	IV-3-⑮-23	D
⑯ トンネル清掃工	国	－	IV-3-⑯-1	D
⑰ トンネル照明器具清掃工	国	－	IV-3-⑰-1	D
⑱ トンネル漏水対策工	国	－	IV-3-⑱-1	D
⑲ トンネル補修工	国	－	IV-3-⑲-1	D
⑲-1 トンネル補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工法））	国	－	IV-3-⑲-1	D
⑲-2 トンネル補修工（断面修復工（左官工法））	国	－	IV-3-⑲-5	D
⑲-3 トンネル補修工（剥落防止対策工（可視繊維シート接着工））	国	－	IV-3-⑲-11	D
⑳ 沓座拡幅工	国	－	IV-3-⑳-1	D
㉑ 欠損部補修工	国	－	IV-3-㉑-1	D
㉒ 舗装版削孔工（アスファルト舗装版）	国	－	IV-3-㉒-1	D
㉓ 横断歩道橋補修工	国	－	IV-3-㉓-1	D
○ 道路植栽管理工	県	P. 312	－	D
第４章 共同溝工			IV-4-①-1	
① 電線共同溝工（C･C･BOX）	国	－	IV-4-①-1	D
② 情報ボックス工	国	－	IV-4-②-1	I
第５章 トンネル工			IV-5-①-1	
① トンネル工（NATM）	国	－	IV-5-①-1	E
①-1 トンネル工（NATM）［発破工法］	国	－	IV-5-①-1	E
①-2 トンネル工（NATM）［機械掘削工法］	国	－	IV-5-①-78	E
①-3 トンネル濁水処理工	国	－	IV-5-①-144	E
①-4 トンネル工（NATM）仮設備工（防音扉工）	国	－	IV-5-①-150	E
② 小断面トンネル工（NATM）	国	－	IV-5-②-1	E
③ トンネル裏込注入工	国	－	IV-5-③-1	E
第６章 道路除雪工			IV-6-①-1	
① 道路除雪工	国	－	IV-6-①-1	D

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
目次			

現行

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
第７章 橋梁工			Ⅳ-7-①-1	
① 鋼橋製作工	国	－	Ⅳ-7-①-1	E
桁輸送費－5.1 運搬距離	補	P.323	－	E
② 橋梁塗装工（工場塗装及び塗装前処理）	国	－	Ⅳ-7-②-1	E
③ 鋼橋架設工	国	－	Ⅳ-7-③-1	E
④ プレビーム桁架設工	国	－	Ⅳ-7-④-1	E
⑤ 鋼橋床版工	国	－	Ⅳ-7-⑤-1	E
⑥ グレーチング床版架設工及び足場工	国	－	Ⅳ-7-⑥-1	E
⑦ ポストテンション桁製作工	国	－	Ⅳ-7-⑦-1	E
⑧ プレキャストセグメント主桁組立工	国	－	Ⅳ-7-⑧-1	E
⑨ ＰＣ橋架設工	国	－	Ⅳ-7-⑨-1	E
⑩ ＰＣ橋片持架設工	国	－	Ⅳ-7-⑩-1	E
⑪ ポストテンション場所打ホロースラブ橋工	国	－	Ⅳ-7-⑪-1	E
⑫ ポストテンション場所打箱桁橋工	国	－	Ⅳ-7-⑫-1	E
⑬ ＲＣ場所打ホロースラブ橋工	国	－	Ⅳ-7-⑬-1	E
⑭ 架設支保工	国	－	Ⅳ-7-⑭-1	E
⑮ 伸縮装置工（鋼製）	国	－	Ⅳ-7-⑮-1	E
⑯ 橋梁排水管設置工	国	－	Ⅳ-7-⑯-1	E
⑰ 歩道橋（側道橋）架設工	国	－	Ⅳ-7-⑰-1	D
⑱ 鋼製橋脚設置工	国	－	Ⅳ-7-⑱-1	E
⑲ 橋台・橋脚工	国	－	Ⅳ-7-⑲-1	
⑲-1 橋台・橋脚工（1）	国	－	Ⅳ-7-⑲-1	E
⑲-2 橋台・橋脚工（2）	国	－	Ⅳ-7-⑲-17	E
⑳ 橋梁検査路架設工	国	－	Ⅳ-7-⑳-1	E
第Ⅴ編 都市計画				
第１章 公園緑地				
○ 機械土工	県	P.324	－	K
○ 基礎工	県	P.326	－	K
○ 左官工	県	P.326	－	K
○ コンクリート表面はつり、つつき仕上げ工	県	P.331	－	K
○ 園路広場整備工	県	P.331	－	K
○ 擁壁工	県	P.336	－	K
○ 縁石工	県	P.347	－	K
○ 給排水構造物工	県	P.350	－	K
○ 公園植栽工	国	－	Ⅴ-1-①-1	K
○ サービス施設整備工	県	P.357	－	K

改定

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
第７章 橋梁工			Ⅳ-7-①-1	
① 鋼橋製作工	国	－	Ⅳ-7-①-1	E
桁輸送費－5.1 運搬距離	補	P.322	－	E
② 橋梁塗装工（工場塗装及び塗装前処理）	国	－	Ⅳ-7-②-1	E
③ 鋼橋架設工	国	－	Ⅳ-7-③-1	E
④ プレビーム桁架設工	国	－	Ⅳ-7-④-1	E
⑤ 鋼橋床版工	国	－	Ⅳ-7-⑤-1	E
⑥ グレーチング床版架設工及び足場工	国	－	Ⅳ-7-⑥-1	E
⑦ ポストテンション桁製作工	国	－	Ⅳ-7-⑦-1	E
⑧ プレキャストセグメント主桁組立工	国	－	Ⅳ-7-⑧-1	E
⑨ ＰＣ橋架設工	国	－	Ⅳ-7-⑨-1	E
⑩ ＰＣ橋片持架設工	国	－	Ⅳ-7-⑩-1	E
⑪ ポストテンション場所打ホロースラブ橋工	国	－	Ⅳ-7-⑪-1	E
⑫ ポストテンション場所打箱桁橋工	国	－	Ⅳ-7-⑫-1	E
⑬ ＲＣ場所打ホロースラブ橋工	国	－	Ⅳ-7-⑬-1	E
⑭ 架設支保工	国	－	Ⅳ-7-⑭-1	E
⑮ 伸縮装置工（鋼製）	国	－	Ⅳ-7-⑮-1	E
⑯ 橋梁排水管設置工	国	－	Ⅳ-7-⑯-1	E
⑰ 歩道橋（側道橋）架設工	国	－	Ⅳ-7-⑰-1	D
⑱ 鋼製橋脚設置工	国	－	Ⅳ-7-⑱-1	E
⑲ 橋台・橋脚工	国	－	Ⅳ-7-⑲-1	E
⑲-1 橋台・橋脚工（1）（構造物単位）	国	－	Ⅳ-7-⑲-1	E
⑲-2 橋台・橋脚工（2）	国	－	Ⅳ-7-⑲-17	E
⑳ 橋梁検査路架設工	国	－	Ⅳ-7-⑳-1	E
第Ⅴ編 都市計画				
第１章 公園緑地				
○ 機械土工	県	P.323	－	K
○ 基礎工	県	P.325	－	K
○ 左官工	県	P.325	－	K
○ コンクリート表面はつり、つつき仕上げ工	県	P.330	－	K
○ 園路広場整備工	県	P.330	－	K
○ 擁壁工	県	P.335	－	K
○ 縁石工	県	P.346	－	K
○ 給排水構造物工	県	P.349	－	K
○ 公園植栽工	国	－	Ⅴ-1-①-1	K
○ サービス施設整備工	県	P.356	－	K

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考

目次

現行

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
○ フェンス工	県	P. 357	－	K
○ 修景施設整備工	県	P. 358	－	K
○ 公園除草工	国	－	V-1-②-1	K
○ 公園工	国	－	V-1-③-1	K
第VI編　土木工事標準単価及び市場単価				
第１章　土木工事標準単価				
①　区画線工	国	－	VI-1-①-1	I
②　高視認性区画線工	国	－	VI-1-②-1	I
③　橋梁塗装工	国	－	VI-1-③-1	I
④　構造物とりこわし工	国	－	VI-1-④-1	I
⑤　コンクリートブロック積工	国	－	VI-1-⑤-1	I
⑥　排水構造物工	国	－	VI-1-⑥-1	I
第２章　市場単価				
①　鉄筋工	国	－	VI-2-①-1	
①-1　鉄筋工（太径鉄筋含む）	国	－	VI-2-①-1	I
①-2　鉄筋工（ガス圧接工）	国	－	VI-2-①-10	I
②　インターロッキングブロック工	国	－	VI-2-②-1	I
③　防護柵設置工	国	－	VI-2-③-1	
③-1　防護柵設置工（ガードレール）	国	－	VI-2-③-1	I
③-2　防護柵設置工（ガードパイプ）	国	－	VI-2-③-16	I
③-3　防護柵設置工（横断・転落防止柵）	国	－	VI-2-③-24	I
③-4　防護柵設置工（落石防護柵）	国	－	VI-2-③-32	I
③-5　防護柵設置工（落石防止網）	国	－	VI-2-③-41	I
④　法面工	国	－	VI-2-④-1	
④-1　法面工	国	－	VI-2-④-1	I
④-2　吹付枠工	国	－	VI-2-④-14	I
⑤　道路植栽工	国	－	VI-2-⑤-1	I
⑥　橋梁付属物工	国	－	VI-2-⑥-1	
⑥-1　橋梁用伸縮継手装置設置工	国	－	VI-2-⑥-1	I
⑥-2　橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工	国	－	VI-2-⑥-11	I
⑦　薄層カラー舗装工	国	－	VI-2-⑦-1	I
⑧　道路標識設置工	国	－	VI-2-⑧-1	I
⑨　道路付属物設置工	国	－	VI-2-⑨-1	I
⑩　公園植栽工	国	－	VI-2-⑩-1	I
⑪　軟弱地盤処理工	国	－	VI-2-⑪-1	I
⑫　橋面防水工	国	－	VI-2-⑫-1	I
⑬　グルービング工	国	－	VI-2-⑬-1	I
⑭　鉄筋挿入工（ロックボルト）	国	－	VI-2-⑭-1	I
⑮　コンクリート表面処理工（ウォータージェット工）	国	－	VI-2-⑮-1	I

改定

【土木工事編】	運用種別	県 版 (ページ下番号)	国 版	担当課
○ フェンス工	県	P. 356	－	K
○ 修景施設整備工	県	P. 357	－	K
○ 公園除草工	国	－	V-1-②-1	K
○ 公園工	国	－	V-1-③-1	K
第VI編　土木工事標準単価及び市場単価				
第１章　土木工事標準単価				
①　区画線工	国	－	VI-1-①-1	I
②　高視認性区画線工	国	－	VI-1-②-1	I
③　橋梁塗装工	国	－	VI-1-③-1	I
④　構造物とりこわし工	国	－	VI-1-④-1	I
⑤　コンクリートブロック積工	国	－	VI-1-⑤-1	I
⑥　排水構造物工	国	－	VI-1-⑥-1	I
第２章　市場単価				
①　インターロッキングブロック工	国	－	VI-2-①-1	I
②　防護柵設置工	国	－	VI-2-②-1	I
②-1　防護柵設置工（ガードレール）	国	－	VI-2-②-1	I
②-2　防護柵設置工（ガードパイプ）	国	－	VI-2-②-16	I
②-3　防護柵設置工（横断・転落防止柵）	国	－	VI-2-②-24	I
②-4　防護柵設置工（落石防護柵）	国	－	VI-2-②-32	I
②-5　防護柵設置工（落石防止網）	国	－	VI-2-②-41	I
③　法面工	国	－	VI-2-③-1	I
③-1　法面工	国	－	VI-2-③-1	I
③-2　吹付枠工	国	－	VI-2-③-14	I
④　道路植栽工	国	－	VI-2-④-1	I
⑤　橋梁付属物工	国	－	VI-2-⑤-1	I
⑤-1　橋梁用伸縮継手装置設置工	国	－	VI-2-⑤-1	I
⑤-2　橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工	国	－	VI-2-⑤-11	I
⑥　薄層カラー舗装工	国	－	VI-2-⑥-1	I
⑦　道路標識設置工	国	－	VI-2-⑦-1	I
⑧　道路付属物設置工	国	－	VI-2-⑧-1	I
⑨　公園植栽工	国	－	VI-2-⑨-1	I
⑩　橋面防水工	国	－	VI-2-⑩-1	I
⑪　グルービング工	国	－	VI-2-⑪-1	I
⑫　鉄筋挿入工（ロックボルト）	国	－	VI-2-⑫-1	I
⑬　コンクリート表面処理工（ウォータージェット工）	国	－	VI-2-⑬-1	I

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.9	（イ）下記に掲げる費用は対象額に含めない。 ａ．簡易組立式橋梁、プレキャストPC桁、プレキャストPC床版、グレーチング床版、合成床版製品費、ポンプ、大型遊具、光ケーブルの購入費 ｂ．上記ａを支給する場合の支給品費 ｃ．鋼桁、門扉等の工場製作に係る費用のうちの工場原価（工場製作品を含む） ｄ．大型標識柱〔オーバーハング式（Ｆ型、Ｔ型、逆Ｌ型、ＷＦ型）、オーバーヘッド式〕、しゃ音壁支柱、別途製作する鋼製砂防堰堤の鋼製部材、鋼橋製作工の支承や排水装置等の材料費（製作費を含む。）	（イ）下記に掲げる費用は対象額に含めない。 ａ．簡易組立式橋梁、プレキャストPC桁、プレキャストPC床版、グレーチング床版、合成床版製品費、ポンプ、大型遊具 ｂ．上記ａを支給する場合の支給品費 ｃ．鋼桁、門扉等の工場製作に係る費用のうちの工場原価（工場製作品を含む） ｄ．大型標識柱〔オーバーハング式（Ｆ型、Ｔ型、逆Ｌ型、ＷＦ型）、オーバーヘッド式〕、しゃ音壁支柱、別途製作する鋼製砂防堰堤の鋼製部材、鋼橋製作工の支承や排水装置等の材料費（製作費を含む。）	R8.4.1改定
P.11	（注）（イ）桁等購入費とは、簡易組立式橋梁、プレキャストＰＣ桁、プレキャストＰＣ床版、グレーチング床版、合成床版製品費、ポンプ、大型遊具（※ａ、ｂ）、光ケーブルの購入費をいう。 ａ．大型遊具の定義は、「施工現場の状況に合わせて工事製作される大型遊具（実施設計等でコンサルタント等に設計させた①オリジナル製品、及び②カタログ製品を複数直接組み合わせたもの）」とし、カタログ製品単体のものは含まない。 ｂ．大型遊具の現場での加工・組立・設置等の工事費用については、共通仮設費の対象とする。	（注）（イ）桁等購入費とは、簡易組立式橋梁、プレキャストＰＣ桁、プレキャストＰＣ床版、グレーチング床版、合成床版製品費、ポンプ、大型遊具（※ａ、ｂ）をいう。 ａ．大型遊具の定義は、「施工現場の状況に合わせて工事製作される大型遊具（実施設計等でコンサルタント等に設計させた①オリジナル製品、及び②カタログ製品を複数直接組み合わせたもの）」とし、カタログ製品単体のものは含まない。 ｂ．大型遊具の現場での加工・組立・設置等の工事費用については、共通仮設費の対象とする。	R8.4.1改定

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.19			

現　行

表 2.1　基本運賃表

貨物自動車規格	機械名	規 格	20km まで（円）	50km まで（円）	100km まで（円）	150km まで（円）	200km まで（円）	200km を超え 20km までを増す毎に（円）
20t 車以上 30t 車まで	路面切削機	2.0m	71,000	87,000	112,000	137,000	163,000	10,200
	スタビライザ	深 0.6m 幅 2.0m						
	スタビライザ	深 1.2m 幅 2.0m						
	自走式破砕機	クラッシャー寸法 開 450mm 幅 925mm						
	油圧式杭圧入引抜機	鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用						
	バックホウ（超ロングアーム型）	山積 0.4m³ /平積 0.3m³						
	各種	―						

（注）1. 450km を超える場合は別途考慮する。
　　2. 誘導車、誘導員の費用は含んでいる。

改　定

表 2.1　基本運賃表

貨物自動車規格	機械名	規 格	20km まで（円）	50km まで（円）	100km まで（円）	150km まで（円）	200km まで（円）	200km を超え 20km までを増す毎に（円）
20t 車以上 30t 車まで	路面切削機	2.0m	71,000	87,000	112,000	137,000	163,000	10,200
	スタビライザ	幅 2.0m 深 0.6m						
	スタビライザ	幅 2.0m 深 1.2m						
	スタビライザ	幅 2.0m 深 0.4m						
	自走式破砕機	クラッシャー寸法 開 450mm 幅 925mm						
	油圧式杭圧入引抜機	鋼矢板 10H・25H・45H・50H 型用						
	油圧式杭圧入引抜機	鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用						
	バックホウ（超ロングアーム型）	バケット容量 0.3m³						
	バックホウ（超ロングアーム型）	バケット容量 0.4m³						
	バックホウ（超ロングアーム型）	バケット容量 0.45m³						
	各種	―						

（注）1. 450km を超える場合は別途考慮する。
　　2. 誘導車、誘導員の費用は含んでいる。

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.20			

現行

表 2.3　建設機械運搬方法

機械名	規格	車載		備考
		車種	機械質量(t)	
路面切削機（ホイール式・廃材積込装置付）	2.0m	R	28.50 (27.00)	()内は排気ガス対策型(2014年規制)の場合の機械質量
スタビライザ（路床改良用）	深0.6m　幅2.0m	R	23.00	
スタビライザ（路床改良用）	深1.2m　幅2.0m	R	24.70	
自走式破砕機	クラッシャー寸法 開　450mm 幅　925mm	R	30.00	
油圧式杭圧入引抜機（硬質地専用）	鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用	R	29.70	
バックホウ（超ロングアーム型）	山積0.4m³/平積0.3m³	R	22.00	

（注）1. 貨物自動車による運搬は、別途計上する。
2. 車載のRはトレーラである。
3. 本表に掲載のある建設機械については、分解組立の必要はない。

改定

表 2.3　建設機械運搬方法

機械名	規格	車載		備考
		車種	機械質量(t)	
路面切削機（ホイール式・廃材積込装置付）	2.0m	R	28.50 (27.00)	()内は排気ガス対策型(2014年規制)の場合の機械質量
スタビライザ（路床改良用）	幅2.0m　深0.6m	R	23.00	
スタビライザ（路床改良用）	幅2.0m　深1.2m	R	24.70	
スタビライザ（路盤再生用）	幅2.0m　深0.4m	R	22.50	
自走式破砕機	クラッシャー寸法 開　450mm 幅　925mm	R	30.00	
油圧式杭圧入引抜機	鋼矢板 10H・25H・45H・50H型用	R	21.80	
油圧式杭圧入引抜機（硬質地専用）	鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用	R	29.70	
バックホウ（超ロングアーム型）	バケット容量　0.3m³	R	26.10	
バックホウ（超ロングアーム型）	バケット容量　0.4m³	R	22.00	
バックホウ（超ロングアーム型）	バケット容量　0.45m³	R	22.00	

（注）1. 貨物自動車による運搬は、別途計上する。
2. 車載のRはトレーラである。
3. 本表に掲載のある建設機械については、分解組立の必要はない。

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.21			

現行

基　本　運　賃　表　（単位：円/t）

距離＼製品長	12m以内		12m超～15m以内		15m超	
10kmまで	4,350	(3,410)	4,800	(4,030)	7,010	(5,180)
20　〃	4,660	(3,570)	5,170	(4,240)	7,470	(5,510)
30　〃	5,000	(3,850)	5,480	(4,510)	7,990	(5,860)
40　〃	5,380	(4,070)	5,900	(4,760)	8,490	(6,190)
50　〃	5,750	(4,420)	6,310	(5,140)	9,040	(6,630)
60　〃	6,120	(4,700)	6,760	(5,490)	9,590	(7,060)
70　〃	6,540	(5,070)	7,180	(5,890)	10,100	(7,520)
80　〃	6,900	(5,330)	7,570	(6,190)	10,600	(7,900)
90　〃	7,220	(5,610)	7,940	(6,520)	11,100	(8,310)
100　〃	7,620	(5,900)	8,380	(6,840)	11,700	(8,750)
110　〃	7,960	(6,250)	8,730	(7,200)	12,200	(9,180)
120　〃	8,300	(6,490)	9,080	(7,470)	12,700	(9,550)
130　〃	8,700	(6,780)	9,510	(7,790)	13,300	(9,940)
140　〃	9,040	(7,020)	9,850	(8,060)	13,800	(10,300)
150　〃	9,370	(7,290)	10,200	(8,360)	14,400	(10,700)
160　〃	9,820	(7,530)	10,600	(8,630)	14,900	(11,000)
170　〃	10,000	(7,790)	10,900	(8,910)	15,400	(11,400)
180　〃	10,300	(8,020)	11,200	(9,180)	15,800	(11,700)
190　〃	10,700	(8,290)	11,800	(9,470)	16,800	(12,100)
200　〃	11,100	(8,560)	12,100	(9,780)	17,300	(12,500)
200kmを超え20kmまでを増すごとに	677	(　447)	802	(　558)	1080	(　738)

(注)1. 北海道・東北・北陸・中国・四国・九州・沖縄の7地方整備局等は（　）内の運賃を適用する。
ただし、沖縄については100km以下のみ適用とし、100kmを超える場合は別途考慮する。
2. 発地・着地で地方整備局が異なる場合は、発注機関の存在する整備局を適用する。
3. 敷鉄板については敷鉄板設置撤去工で積上げた敷鉄板を対象とする。
4. 誘導車、誘導員が必要な場合については別途計上する。
5. 所在地は近傍に所在する場合を除いて県庁とする。ただし、鋼矢板の5L型の所在地は、近傍に所在する場合を除いて大阪とする。(県)

改定

基　本　運　賃　表　（単位：円/t）

距離＼製品長	12m以内		12m超～15m以内		15m超	
10kmまで	4,530	(4,210)	4,970	(4,660)	7,480	(6,450)
20　〃	4,690	(4,380)	5,230	(4,950)	7,950	(6,810)
30　〃	5,010	(4,710)	5,570	(5,190)	8,450	(7,180)
40　〃	5,340	(4,990)	5,920	(5,570)	8,940	(7,620)
50　〃	5,690	(5,340)	6,320	(5,870)	9,490	(8,020)
60　〃	6,050	(5,610)	6,750	(6,270)	10,000	(8,480)
70　〃	6,470	(6,060)	7,180	(6,640)	10,600	(8,950)
80　〃	6,820	(6,340)	7,570	(7,050)	11,100	(9,450)
90　〃	7,190	(6,750)	8,000	(7,380)	11,800	(9,910)
100　〃	7,610	(7,000)	8,450	(7,770)	12,400	(10,300)
110　〃	8,010	(7,460)	8,880	(8,200)	13,000	(10,900)
120　〃	8,350	(7,560)	9,250	(8,450)	13,600	(11,300)
130　〃	8,770	(8,170)	9,700	(8,950)	14,200	(11,900)
140　〃	9,160	(8,280)	10,000	(9,250)	14,800	(12,300)
150　〃	9,470	(8,660)	10,400	(9,480)	15,400	(12,700)
160　〃	9,870	(8,860)	10,800	(9,850)	15,900	(13,100)
170　〃	10,200	(9,270)	11,200	(10,100)	16,600	(13,700)
180　〃	10,500	(9,340)	11,600	(10,400)	17,100	(14,000)
190　〃	10,900	(9,780)	12,100	(10,700)	17,900	(14,600)
200　〃	11,400	(10,000)	12,600	(11,000)	18,600	(15,000)
200kmを超え20kmまでを増すごとに	780	(　665)	925	(　764)	1,330	(　1,050)

(注)1. 北海道・東北・関東・北陸・中部・沖縄の6地方整備局等は（　）内の運賃を適用する。
ただし、沖縄については100km以下のみ適用とし、100kmを超える場合は別途考慮する。
2. 発地・着地で地方整備局が異なる場合は、発注機関の存在する整備局を適用する。
3. 敷鉄板については敷鉄板設置撤去工で積上げた敷鉄板を対象とする。
4. 誘導車、誘導員が必要な場合については別途計上する。
5. 所在地は近傍に所在する場合を除いて県庁とする。ただし、鋼矢板の5L型の所在地は、近傍に所在する場合を除いて大阪とする。(県)

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.23	表2.4　適用建設機械	表2.4　適用建設機械	

現行

機械区分	適用建設機械
ブルドーザ	ブルドーザ（リッパ装置付を含む） 普通　21t級以上～44t級以下 湿地　20t級以上～28t級以下
バックホウ系	バックホウ（超ロングアーム型は除く） 山積1.0m³以上～2.1m³以下 （平積0.7m³以上～1.5m³以下） 油圧クラムシェル・テレスコピック 平積0.4m³以上～0.6m³以下
クローラクレーン系	クローラクレーン 〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型〕 吊能力　16t以上～300t以下 クラムシェル〔油圧ロープ式〕 平積0.6m³以上～3.0m³以下 バイブロハンマ 〔クローラクレーン・油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・50～55t吊〕
トラッククレーン系	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 オールテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 吊能力　100t以上～550t以下
クローラ式杭打機	ディーゼルハンマ 油圧ハンマ アースオーガ（二軸同軸式を含む） ディーゼルハンマ・アースオーガ併用 モンケン・アースオーガ併用 鋼管ソイルセメント杭打機 アースオーガ併用圧入杭打機 アースオーガ中掘式 機械質量　20t以上～150t以下
オールケーシング掘削機	オールケーシング掘削機〔クローラ式〕 掘削径　2,000mm以下 オールケーシング掘削機〔スキッド式〕 掘削径　2,000mm以下
地盤改良機械	中層混合処理機 機械質量20t以上～120t以下
	サンドパイル打機 粉体噴射撹拌機（付属機器除く） 深層混合処理機 プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機 機械質量　20t以上～180t以下
トンネル用機械	自由断面トンネル掘削機 ドリルジャンボ コンクリート吹付機 機械質量　20t以上～60t以下

改定

機械区分	適用建設機械
ブルドーザ	ブルドーザ（リッパ装置付を含む） 普通　通称21t級以上～44t級以下 湿地　通称20t級以上～28t級以下
バックホウ系	バックホウ（超ロングアーム型は除く） バケット容量1.0m³以上～2.1m³以下 油圧クラムシェル・テレスコピック バケット容量（平積）0.4m³以上～0.6m³以下
クローラクレーン系	クローラクレーン 〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型〕 最大吊上能力　16t以上～300t以下 クラムシェル〔油圧ロープ式〕 バケット容量（平積）0.6m³以上～3.0m³以下 バイブロハンマ 〔クローラクレーン・油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・最大吊上能力50～55t吊〕
トラッククレーン系	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 オールテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 最大吊上能力　100t以上～550t以下
クローラ式杭打機	ディーゼルハンマ 油圧ハンマ アースオーガ（二軸同軸式を含む） ディーゼルハンマ・アースオーガ併用 モンケン・アースオーガ併用 鋼管ソイルセメント杭打機 アースオーガ併用圧入杭打機 アースオーガ中掘式 機械質量　20t以上～150t以下
オールケーシング掘削機	オールケーシング掘削機〔クローラ式〕 掘削径　2,000mm以下 オールケーシング掘削機〔スキッド式〕 掘削径　2,000mm以下
地盤改良機械	中層混合処理機 機械質量20t以上～120t以下
	サンドパイル打機 粉体噴射撹拌機（付属機器除く） 深層混合処理機 プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機 機械質量　20t以上～180t以下
トンネル用機械	自由断面トンネル掘削機 ドリルジャンボ コンクリート吹付機 機械質量　20t以上～60t以下

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.24			

表2.5　クレーンの規格選定

機械区分		規　格	分解組立用クレーン 機械名	分解組立用クレーン 規　格
バックホウ系オールケーシング掘削機［クローラ式］トンネル用機械		表2.4 参照	ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型（2014年規制）］	25t吊
ブルドーザ		21t級以下	ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型（2011年規制）］	25t吊
		44t級以下		
地盤改良機械	中層混合処理機	質量60t以下	ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型（2014年規制）］	25t吊
		質量120t以下		60t吊
	サンドパイル打機 粉体噴射撹拌機 深層混合処理機 ﾌﾟﾚﾌｧﾌﾞﾘｹｲﾃｨｯﾄﾞﾊﾟｰﾁｶﾙﾄﾞﾚｰﾝ打機	質量60t以下		
		質量120t以下		
		質量180t以下		
クローラクレーン系		35t吊以下（クラムシェル平積0.6m³含む）	ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型（2014年規制）］	25t吊
		80t 吊以下（クラムシェル平積2.0m³以下含む）		
		150t 吊以下（クラムシェル平積3.0m³以下含む）	ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型（第3次基準値）］	60t吊
		300t吊以下		
トラッククレーン系		表2.4 参照	ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型（2014年規制）］	70t吊
		200t吊以上　360t吊以下	リフター［せり上げ能力］	50t
		550t吊以下		
クローラ式杭打機		質量60t以下	ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型（2014年規制）］	60t吊
		質量100t以下		
		質量150t以下		
オールケーシング掘削機〔スキッド式〕		表2.4 参照 本体工事でクローラクレーン［油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・基礎工事用・排出ガス対策型（2014年規制）］70～90t吊を使用する場合	クローラクレーン［油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・基礎工事用・排出ガス対策型（2014年規制）］	70～90t吊
		表2.4 参照 本体工事でクローラクレーン［油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・基礎工事用・排出ガス対策型（2014年規制）］100t吊を使用する場合	クローラクレーン［油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・基礎工事用・排出ガス対策型（2014年規制）］	100t吊

表2.5　クレーンの規格選定

機械区分		規　格	分解組立用クレーン 機械名	分解組立用クレーン 規　格
バックホウ系オールケーシング掘削機［クローラ式］トンネル用機械		表2.4 参照	ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型（2014年規制）］	最大吊上能力 25t吊
ブルドーザ		21t級以下	ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型（2011年規制）］	最大吊上能力 25t吊
		44t級以下		
地盤改良機械	中層混合処理機	質量60t以下	ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型（2014年規制）］	最大吊上能力25t吊
		質量120t以下		最大吊上能力 60t吊
	サンドパイル打機 粉体噴射撹拌機 深層混合処理機 ﾌﾟﾚﾌｧﾌﾞﾘｹｲﾃｨｯﾄﾞﾊﾟｰﾁｶﾙﾄﾞﾚｰﾝ打機	質量60t以下		
		質量120t以下		
		質量180t以下		
クローラクレーン系		35t吊以下（クラムシェル平積0.6m³含む）	ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型（2014年規制）］	最大吊上能力 25t吊
		80t 吊以下（クラムシェル平積2.0m³以下含む）		
		150t 吊以下（クラムシェル平積3.0m³以下含む）	ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型（第3次基準値）］	最大吊上能力 60t吊
		300t吊以下		
トラッククレーン系		表2.4 参照	ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型（2014年規制）］	最大吊上能力 70t吊
		200t吊以上　360t吊以下	リフター［せり上げ能力］	50t
		550t吊以下		
クローラ式杭打機		質量60t以下	ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型（2014年規制）］	最大吊上能力 60t吊
		質量100t以下		
		質量150t以下		
オールケーシング掘削機〔スキッド式〕		表2.4 参照 本体工事でクローラクレーン［油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・基礎工事用・排出ガス対策型（2014年規制）］最大吊上能力70～90t吊を使用する場合	クローラクレーン［油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・基礎工事用・排出ガス対策型（2014年規制）］	最大吊上能力 70～90t吊
		表2.4 参照 本体工事でクローラクレーン［油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・基礎工事用・排出ガス対策型（2014年規制）］最大吊上能力100t吊を使用する場合	クローラクレーン［油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・基礎工事用・排出ガス対策型（2014年規制）］	最大吊上能力 100t吊

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.25			

現行

表2.6　分解・組立1台1回当り歩掛

機械区分	規格	労務歩掛 特殊作業員 (人) 〔分解＋組立〕	クレーン運転歩掛 (日) 〔分解＋組立〕	運搬費等率 (%)	諸雑費率 (%)
ブルドーザ	21t級以下	2.8	2.1	155	21
	44t級以下	4.6	3.4	153	21
バックホウ系	山積1.4m³以下 〔油圧クラムシェル・テレスコピック 0.4m³以上 0.6m³以下含む〕	2.7	1.4	250	24
	山積2.1m³以下	4.5	2.3	256	25
クローラクレーン系	35t吊以下 〔クラムシェル 平積0.6m³含む〕	3.0	0.8	444	22
	80t吊以下 〔クラムシェル 平積2.0m³以下含む〕	5.5	1.5	434	21
	150t吊以下 〔クラムシェル 平積3.0m³以下含む〕	11.3	3.1	315	15
	300t吊以下	20.5	5.7	313	15
トラッククレーン系	120t吊以下	4.3	1.5	394	75
	160t吊以下	5.7	1.9	409	78
	360t吊以下	11.7	4.0	399	75
	550t吊以下	20.9	7.1	401	76
	200t吊以上 360t吊以下 (リフターを使用する場合)	11.0	2.7	392	83
	550t吊以下 (リフターを使用する場合)	19.4	4.9	390	83
クローラ式杭打機	60t以下	8.6	2.1	163	2
	100t以下	15.5	3.7	164	2
	150t以下	23.5	5.6	163	2
オールケーシング掘削機〔クローラ式〕	―	3.9	3.4	595	5

改定

表2.6　分解・組立1台1回当り歩掛

機械区分	規格	労務歩掛 特殊作業員 (人) 〔分解＋組立〕	クレーン運転歩掛 (日) 〔分解＋組立〕	運搬費等率 (%)	諸雑費率 (%)
ブルドーザ	21t級以下	2.8	2.1	155	21
	44t級以下	4.6	3.4	153	21
バックホウ系	バケット容量 1.5m³以下 〔油圧クラムシェル・テレスコピック 0.4m³以上 0.6m³以下含む〕	2.7	1.4	250	24
	バケット容量 2.1m³以下	4.5	2.3	256	25
クローラクレーン系	35t吊以下 〔クラムシェル 平積0.6m³含む〕	3.0	0.8	444	22
	80t吊以下 〔クラムシェル 平積2.0m³以下含む〕	5.5	1.5	434	21
	150t吊以下 〔クラムシェル 平積3.0m³以下含む〕	11.3	3.1	315	15
	300t吊以下	20.5	5.7	313	15
トラッククレーン系	120t吊以下	4.3	1.5	394	75
	160t吊以下	5.7	1.9	409	78
	360t吊以下	11.7	4.0	399	75
	550t吊以下	20.9	7.1	401	76
	200t吊以上 360t吊以下 (リフターを使用する場合)	11.0	2.7	392	83
	550t吊以下 (リフターを使用する場合)	19.4	4.9	390	83
クローラ式杭打機	60t以下	8.6	2.1	163	2
	100t以下	15.5	3.7	164	2
	150t以下	23.5	5.6	163	2
オールケーシング掘削機〔クローラ式〕	―	3.9	3.4	595	5

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

P.26

現行

機械区分		規格	労務歩掛 特殊作業員 (人) 〔分解＋組立〕	クレーン運転歩掛 (日) 〔分解＋組立〕	運搬費等率 (%)	諸雑費率 (%)
オールケーシング掘削機〔スキッド式〕		本体工事でクローラクレーン［油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・基礎工事用・排出ガス対策型（2014年規制）］70～90t吊を使用する場合	4.9	11.9 (h)	490	4
		本体工事でクローラクレーン［油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・基礎工事用・排出ガス対策型（2014年規制）］100t吊を使用する場合	4.9	11.9 (h)	361	3
地盤改良機械	中層混合処理機	60t以下	16.0	2.4	265	4
		120t以下	41.2	6.3	211	3
	サンドパイル打機 粉体噴射撹拌機 深層混合処理機 ﾌﾟﾚﾌｧﾌﾞﾘｹｲﾃｨｯﾄﾞﾊﾞｰﾁｶﾙﾄﾞﾚｰﾝ打機	60t以下	16.0	2.4	213	3
		120t以下	41.2	6.3	211	3
		180t以下	64.6	9.9	210	3
トンネル用機械		－	5.4	2.0	582	8

改定

機械区分		規格	労務歩掛 特殊作業員 (人) 〔分解＋組立〕	クレーン運転歩掛 (日) 〔分解＋組立〕	運搬費等率 (%)	諸雑費率 (%)
オールケーシング掘削機〔スキッド式〕		本体工事でクローラクレーン［油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・基礎工事用・排出ガス対策型（2014年規制）］最大吊上能力70～90t吊を使用する場合	4.9	11.9 (h)	490	4
		本体工事でクローラクレーン［油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・基礎工事用・排出ガス対策型（2014年規制）］最大吊上能力100t吊を使用する場合	4.9	11.9 (h)	361	3
地盤改良機械	中層混合処理機	60t以下	16.0	2.4	265	4
		120t以下	41.2	6.3	211	3
	サンドパイル打機 粉体噴射撹拌機 深層混合処理機 ﾌﾟﾚﾌｧﾌﾞﾘｹｲﾃｨｯﾄﾞﾊﾞｰﾁｶﾙﾄﾞﾚｰﾝ打機	60t以下	16.0	2.4	213	3
		120t以下	41.2	6.3	211	3
		180t以下	64.6	9.9	210	3
トンネル用機械		－	5.4	2.0	582	8

備考

P.33

現行

（ハ）保安管理費

火薬庫、火工品庫を設置する工事にあたっては、火薬類盗難防止の万全を期するため、必要に応じて夜間巡回等の見張人を安全費に計上するものとする。ただし、上記の場合は特記仕様書にその旨を記載するものとし、次式により算定する。

保安管理費＝火薬庫類設置期間（月）×30日/月×普通作業員単価（昼間単価）

(注) 火薬庫類設置期間は火薬を使用する工種の設計工程から求めるものとし、0.5ヶ月単位（2捨3入）とする。

改定

（ハ）保安管理費

火薬庫、火工品庫等を設置する工事にあたっては、火薬類盗難防止の万全を期するため、必要に応じて夜間巡回等の見張人を安全費に計上するものとする。ただし、上記の場合は特記仕様書にその旨を記載するものとし、次式により算定する。

保安管理費＝火薬庫類設置期間（月）×30日/月×普通作業員単価（昼間単価）

(注) 火薬庫類設置期間は火薬を使用する工種の設計工程から求めるものとし、0.5ヶ月単位（2捨3入）とする。

備考

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.34	7）法定福利費 現場従業員及び現場労働者に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料及び厚生年金保険料の法定の事業主負担額並びに建設業退職金共済制度に基づく事業主負担額 8）福利厚生費 現場従業員に係る慰安娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞等福利厚生、文化活動等に要する費用 9）事務用品費 事務用消耗品、新聞、参考図書等の購入費 10）通信交通費 通信費、交通費及び旅費 11）交際費 現場への来客等の応対に要する費用 12）補償費 工事施工に伴って通常発生する物件等の毀損の補修費及び騒音、振動、濁水、交通騒音等による事業損失に係る補償費 ただし、臨時にして巨額なものは除く。 13）外注経費 工事施工を専門工事業者等に外注する場合に必要となる経費 14）工事登録等に要する費用 工事実績等の登録に要する費用 15）動力・用水光熱費 現場事務所、試験室、労働者宿舎、倉庫及び材料保管庫で使用する電力、用水、ガス等の費用（基本料金を含む。） 16）公共事業労務費調査に要する費用 17）雑　費 1)から 16)までに属さない諸費用	7）法定福利費 現場従業員及び現場労働者に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料及び厚生年金保険料の法定の事業主負担額 8）建設業退職金共済契約に係る掛金 建設業退職金共済制度に基づく事業主負担額 9）福利厚生費 現場従業員に係る慰安娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞等福利厚生、文化活動等に要する費用 10）事務用品費 事務用消耗品、新聞、参考図書等の購入費 11）通信交通費 通信費、交通費及び旅費 12）交際費 現場への来客等の応対に要する費用 13）補償費 工事施工に伴って通常発生する物件等の毀損の補修費及び騒音、振動、濁水、交通騒音等による事業損失に係る補償費 ただし、臨時にして巨額なものは除く。 14）外注経費 工事施工を専門工事業者等に外注する場合に必要となる経費 15）工事登録等に要する費用 工事実績等の登録に要する費用 16）動力・用水光熱費 現場事務所、試験室、労働者宿舎、倉庫及び材料保管庫で使用する電力、用水、ガス等の費用（基本料金を含む。） 17）公共事業労務費調査に要する費用 18）雑　費 1)から 17)までに属さない諸費用	R8.4.1改定

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.44	① 一般管理費等（建地－Ⅰ）、（県） 1. 一般管理費の項目及び内容 (1) 役員報酬 取締役及び監査役に対する報酬及び役員賞与（損金算入分） (2) 従業員給料手当 本店及び支店の従業員に対する給料、諸手当及び賞与 (3) 退職金 退職給与引当金繰入額並びに退職給与引当金の対象とならない役員及び従業員に対する退職金 (4) 法定福利費 本店及び支店の従業員に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料及び厚生年金保険料の法定の事業主負担額 (5) 福利厚生費 本店及び支店の従業員に係る慰安娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞等、福利厚生等、文化活動等に要する費用 (6) 修繕維持費 建物、機械、装置等の修繕維持費、倉庫物品の管理費等 (7) 事務用品費 事務用消耗品費、固定資産に計上しない事務用備品費、新聞、参考図書等の購入費 (8) 通信交通費 通信費、交通費及び旅費 (9) 動力、用水光熱費 電力、水道、ガスの費用 (10) 調査研究費 技術研究、開発等の費用 (11) 広告宣伝費 広告、公告、宣伝に要する費用 (12) 交際費 本店及び支店などへの来客等の応対に要する費用 (13) 寄付金 (14) 地代家賃 事務所、寮、社宅等の借地借家料 (15) 減価償却費 建物、車両、機械装置、事務用備品等の減価償却額 (16) 試験研究費償却 新製品又は新技術の研究のため特別に支出した費用の償却額 (17) 開発費償却 新技術又は新経営組織の採用、資源の開発、市場の開拓のため特別に支出した費用の償却額 (18) 租税公課 不動産取得税、固定資産税等の租税及び道路占用料、その他の公課 (19) 保険料 火災保険及びその他の損害保険料 (20) 契約保証費 契約の保証に必要な費用 (21) 雑　費 電算等経費、社内打ち合せ等の費用、学会及び協会活動等諸団体会費等の費用	① 一般管理費等（建地－Ⅰ）、（県） 1. 一般管理費の項目及び内容 (1) 役員報酬 取締役及び監査役に対する報酬及び役員賞与（損金算入分） (2) 従業員給料手当 本店及び支店の従業員に対する給料、諸手当及び賞与 (3) 退職金 退職給与引当金繰入額並びに退職給与引当金の対象とならない役員及び従業員に対する退職金 (4) 法定福利費 本店及び支店の従業員に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料及び厚生年金保険料の法定の事業主負担額 (5) 福利厚生費 本店及び支店の従業員に係る慰安娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞等、福利厚生等、文化活動等に要する費用 (6) 修繕維持費 建物、機械、装置等の修繕維持費、倉庫物品の管理費等 (7) 事務用品費 事務用消耗品費、固定資産に計上しない事務用備品費、新聞、参考図書等の購入費 (8) 通信交通費 通信費、交通費及び旅費 (9) 動力、用水光熱費 電力、水道、ガスの費用 (10) 調査研究費 技術研究、開発等の費用 (11) 広告宣伝費 広告、公告、宣伝に要する費用 (12) 交際費 本店及び支店などへの来客等の応対に要する費用 (13) 寄付金 (14) 地代家賃 事務所、寮、社宅等の借地借家料 (15) 減価償却費 建物、車両、機械装置、事務用備品等の減価償却額 (16) 開発費償却 新技術又は新経営組織の採用、資源の開発、市場の開拓のため特別に支出した費用の償却額 (17) 租税公課 不動産取得税、固定資産税等の租税及び道路占用料、その他の公課 (18) 保険料 火災保険及びその他の損害保険料 (19) 契約保証費 契約の保証に必要な費用 (20) 雑　費 電算等経費、社内打ち合せ等の費用、学会及び協会活動等諸団体会費等の費用	R8.4.1改定

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号 P.45

現行

4. 一般管理費等率の補正

(1) 前払金の保証がある工事において、以下の事項に該当する場合に補正を行う。なお、前払金の保証がない工事は、一般管理費等の補正の対象外である。

1) 前払金支出割合の相違による取扱い

前払金支出割合が 35%以下の場合の一般管理費等率は、別表第 2 の前払金支出割合区分ごとに定める補正係数を別表第 1 で算定した一般管理費等率に乗じて得た率とする。

2) 契約の保証に必要な費用の取扱い

前払金支出割合の相違による補正までを行った値に、別表第 3 の補正値を加算したものを一般管理費等とする。

(2) 支給品等の取扱い

資材等を支給するときは、当該支給品費は一般管理費等算定の基礎となる工事原価に含めないものとする。

(3) 自社製品の取扱い（プレテン桁、組立式橋梁、規格ゲート、標識等を製作専門メーカーに発注する場合）について自社製品であっても、他社製品と同様に一般管理費等の対象とする。

別表第 1　　一般管理費等率

(1) 前払金支出割合が 35%を超え 40%以下の場合

工　事　原　価	500 万円以下	500 万円を超え 30 億円以下	30 億円を超えるもの
一般管理費等率	23.57%	一般管理費等率算定式により算出された率	9.74%

(2) 算定式

［一般管理費等率算定式］

Ｇｐ＝－4.97802×LOG(Cp)＋56.92101(%)

ただし、Ｇｐ：一般管理費等率(%)

Ｃｐ：工事原価（円）

改定

4. 一般管理費等率の補正

(1) 前払金支出割合の相違による取扱い

前払金支出割合が 35%以下の場合の一般管理費等率は、別表第 2 の前払金支出割合区分ごとに定める補正係数を別表第 1 で算定した一般管理費等率に乗じて得た率とする。なお、前払金の保証がない工事は、一般管理費等の補正の対象外である。

(2) 契約の保証に必要な費用の取扱い

別表第 3 の保証の方法ごとに定める補正値を別表第 1 で算出した一般管理費等に加算して得た率とする。ただし、(1)の補正を行った場合は、その率に、別表第 3 の補正値を加算して得た率とする。

(3) 支給品等の取扱い

資材等を支給するときは、当該支給品費は一般管理費等算定の基礎となる工事原価に含めないものとする。

(4) 自社製品の取扱い（プレテン桁、組立式橋梁、規格ゲート、標識等を製作専門メーカーに発注する場合）について自社製品であっても、他社製品と同様に一般管理費等の対象とする。

別表第 1　　一般管理費等率

(1) 前払金支出割合が 35%を超え 40%以下の場合

工　事　原　価	500 万円以下	500 万円を超え 30 億円以下	30 億円を超えるもの
一般管理費等率	25.13%	一般管理費等率算定式により算出された率	10.63%

(2) 算定式

［一般管理費等率算定式］

Ｇｐ＝－5.21826×LOG(Cp)＋60.08343(%)

ただし、Ｇｐ：一般管理費等率(%)

Ｃｐ：工事原価（円）

備考

R8.4.1改定

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号：P.89

現行

2. 適用の範囲（県）

周辺住民の生活環境への配慮及び一般住民への建設事業の広報活動、現場労働者の作業環境の改善を行うために実施するもので、原則、設計金額が150,000千円以上の全ての工事とする。（但し、現場事務所を設置しない工事については除外する。）

3. 積算方法

（1）現場環境改善費の積算は、以下の方法により行うものとする。ただし、標準的な現場環境改善を行う場合は率計上とし、特別な内容を実施する場合は積上げ計上とする。

イ．積算方法は以下のとおりとし、現場環境改善費に計上するものとする。

K＝ｉ・Pi＋α

ただし、K：現場環境改善費（単位：円、1,000円未満切り捨て）

ｉ：現場環境改善費率（単位：%、小数第3位四捨五入2位止め）

Pi：対象額（直接工事費（処分費等を除く共通仮設費対象分）＋支給品費（共通仮設費対象分）＋無償貸付機械等評価額）

なお、対象額が5億円を超える場合は5億円とする。

α：積上げ計上分（単位：円、1,000円未満切り捨て）

対象額：Pi		現場環境改善費率：ｉ（%）	
		大都市、市街地	左記以外
直接工事費（処分費等を除く）＋支給品費＋無償貸付機械等評価額	5億円以下の場合	$i = 56.6 \cdot Pi^{-0.174}$	$i = 39.9 \cdot Pi^{-0.201}$
	5億円を超える場合	1.73	0.71

ロ．率に計上されるものは、別表－1の内容のうち原則として各計上費目（現場環境改善のうち仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1内容ずつ（ただし、いずれか1費目のみ2内容）の合計5つの内容を基本とした費用である。

また、選択にあたっては地域の状況・工事内容により組み合わせ、実施費目数及び実施内容を変更してもよい。

ハ．積上げ計上分（α）に計上するものは、（2）の「熱中症対策・防寒対策に関する費用」及び「巨額となるため現場環境改善費率分で行うことが適当でないと判断されるものの費用」とする

ニ．なお、経費率は現場環境改善費の各費目を1本化した全体での率である。

ホ．現場環境改善及び地域連携に関する費用の対象額は5億円を限度とする。（県）

改定

2. 適用の範囲（県）

周辺住民の生活環境への配慮及び一般住民への建設事業の広報活動、現場労働者の作業環境の改善を行うために実施するもので、原則、設計金額が150,000千円以上の全ての工事とする。（但し、現場事務所を設置しない工事及び機械設備工事積算基準のみを適用する工事については除外する。）

3. 積算方法

（1）現場環境改善費の積算は、以下の方法により行うものとする。ただし、標準的な現場環境改善を行う場合は率計上とし、特別な内容を実施する場合は積上げ計上とする。

イ．積算方法は以下のとおりとし、現場環境改善費に計上するものとする。

K＝ｉ・Pi＋α

ただし、K：現場環境改善費（単位：円、1,000円未満切り捨て）

ｉ：現場環境改善費率（単位：%、小数第3位四捨五入2位止め）

Pi：対象額（直接工事費（処分費等を除く共通仮設費対象分）＋支給品費（共通仮設費対象分）＋無償貸付機械等評価額）

なお、対象額が5億円を超える場合は5億円とする。

α：積上げ計上分（単位：円、1,000円未満切り捨て）

対象額：Pi		現場環境改善費率：ｉ（%）	
		大都市、市街地	左記以外
直接工事費（処分費等を除く）＋支給品費＋無償貸付機械等評価額	5億円以下の場合	$i = 45.9 \cdot Pi^{-0.175}$	$i = 32.5 \cdot Pi^{-0.202}$
	5億円を超える場合	1.38	0.57

ロ．率に計上されるものは、別表－1の内容のうち原則として各計上費目（現場環境改善のうち仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1内容ずつの合計4つの内容を基本とした費用である。

また、選択にあたっては地域の状況・工事内容により組み合わせ、実施費目数及び実施内容を変更してもよい。

ハ．積上げ計上分（α）に計上するものは、（2）の「熱中症対策・防寒対策に関する費用」及び「巨額となるため現場環境改善費率分で行うことが適当でないと判断されるものの費用」とする

ニ．なお、経費率は現場環境改善費の各費目を1本化した全体での率である。

ホ．現場環境改善及び地域連携に関する費用の対象額は5億円を限度とする。（県）

備考

R8.4.1改定

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

<table>
<tr><th>ページ番号</th><th>現　　行</th><th>改　　定</th><th>備　　考</th></tr>
<tr><td>P.90</td><td>別表－1
<table>
<tr><th>計上費目</th><th>実施する内容（率計上分）</th></tr>
<tr><td>現場環境改善
（仮設備関係）</td><td>1. 用水・電力等の供給設備
2. 緑化・花壇
3. ライトアップ施設
4. 見学路及び椅子の設置
5. 昇降設備の充実
6. 環境負荷の低減</td></tr>
<tr><td>現場環境改善
（営繕関係）</td><td>1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む）
2. 労働宿舎の快適化
3. デザインボックス（交通誘導警備員待機室）
4. 現場休憩所の快適化
5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等</td></tr>
<tr><td>現場環境改善
（安全関係）</td><td>1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等）
2. 盗難防止対策（警報器等）</td></tr>
<tr><td>地域連携</td><td>1. 完成予想図
2. 工法説明図
3. 工事工程表
4. デザイン工事看板（各工事PR 看板含む）
5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む）
6. 見学所（ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ）の設置及び管理運営
7. パンフレット・工法説明ビデオ
8. 地域対策費（地域行事等の経費を含む）
9. 社会貢献</td></tr>
</table></td><td>別表－1
<table>
<tr><th>計上費目</th><th>実施する内容（率計上分）</th></tr>
<tr><td>現場環境改善
（仮設備関係）</td><td>1. 昇降設備の充実
2. 環境対策の充実
3. ＩＣＴ設備の充実
4. 作業負荷の低減</td></tr>
<tr><td>現場環境改善
（営繕関係）</td><td>1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む）
2. 労働者宿舎の充実
3. 現場休憩所の充実（交通誘導警備員待機室を含む）
4. 衛生設備・厚生施設の充実等</td></tr>
<tr><td>現場環境改善
（安全関係）</td><td>1. 工事標識・照明等安全施設の充実
2. 盗難防止対策
3. 健康関連施設の充実
4. 野生生物・害虫対策等</td></tr>
<tr><td>地域連携</td><td>1. 広報活動等（完成予想図、パンフレット、工法説明、PR看板等）
2. 見学会・イベント等の開催（見学施設等設置・管理運営等含む）
3. 社会貢献・地域対策費等（地域行事等の経費含む）
4. 現場景観向上（美装化・デザイン看板等）</td></tr>
</table></td><td>R8. 4. 1改定</td></tr>
<tr><td>P.90</td><td>(2) 費用については、対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行うものとする。なお、積み上げ計上をする場合は、現場管理費に計上される作業員個人の費用（熱中症対策に資する現場管理費補正）と重複がないことを確認し、当初契約金額に相当する現場環境改善費の率分で算出（150,000千円未満の工事は仮想で算出）される額の50%を上限とする。</td><td>(2) 費用については、対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行うものとする。なお、積み上げ計上をする場合は、現場管理費に計上される作業員個人の費用（熱中症対策に資する現場管理費補正）と重複がないことを確認し、当初契約金額に相当する現場環境改善費の率分で算出（150,000千円未満の工事は仮想で算出）される額の100%を上限とする。</td><td></td></tr>
</table>

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現行	改定	備考
P.107	【1. 共通編】 1- 1　現場発生品及び支給品運搬 …… 112 1- 2　土工 …… 113 1- 3　土工（ＩＣＴ） …… 122 1- 4　床掘工 …… 123 1- 5　床掘工（ＩＣＴ） …… 124 1- 6　埋戻工 …… 124 1- 7　人力運搬工 …… 125 1- 8　安定処理工 …… 125 1- 9　安定処理工（自走式土質改良工） …… 125 1-10　土砂運搬工（不整地運搬車による運搬） …… 125 1-11　法面整形工 …… 126 1-12　法面整形工（ＩＣＴ） …… 126 1-13　芝付工 …… 126 1-14　コンクリート法枠工 …… 126 1-15　吹付法面とりこわし工 …… 127 1-16　プレキャストコンクリート板設置工 …… 127 1-17　人工張芝工 …… 127 1-18　基礎・裏込砕石工 …… 127 1-19　コンクリートブロック積（張）工 …… 128 1-20　石積（張）工 …… 129 1-21　平石張工 …… 129 1-22　場所打擁壁工（1） …… 130 1-23　場所打擁壁工（2） …… 130 1-24　プレキャスト擁壁工 …… 130 1-25　補強土壁工（帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁、ジオテキスタイル補強土壁（二重壁タイプ）） …… 131 1-26　補強盛土工 …… 131 1-27　構造物補修工（ひび割れ補修工（充てん工法）） …… 132 1-28　構造物補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工法）） …… 132 1-29　構造物補修工（断面修復工（左官工法）） …… 132 1-30　排水構造物工 …… 132 1-31　排水構造物工（現場打ち水路（本体）） …… 137 1-32　排水構造物工（現場打ち集水桝・街渠桝(本体)） …… 138 1-33　サンドマット工 …… 138 1-34　スラリー撹拌工 …… 138 1-35　高圧噴射撹拌工 …… 138 1-36　PVD 工(ﾌﾟﾚﾌｧﾌﾞﾘｹｲﾃｨｯﾄﾞﾊﾞｰﾁｶﾙﾄﾞﾚｰﾝ工) …… 138 1-37　中層混合処理工 …… 138 1-38　中層混合処理工（ＩＣＴ） …… 138 1-39　薬液注入工 …… 139 1-40　アンカー工（ロータリーパーカッション式） …… 139 1-41　構造物とりこわし工 …… 143 1-42　コンクリート削孔工 …… 143 1-43　ガス切断工 …… 143 1-44　吸出し防止材設置工 …… 143 1-45　目地・止水板設置工 …… 144 1-46　旧橋撤去工 …… 144 1-47　かご工 …… 146 1-48　発泡スチロールを用いた超軽量盛土工 …… 146 1-49　現場取卸工 …… 147 1-50　骨材再生工（自走式） …… 147 1-51　函渠工（1） …… 148 1-52　函渠工（2） …… 148 1-53　函渠工（3）大型プレキャストボックスカルバート工 …… 148 1-54　殻運搬 …… 149 1-55　排水材設置工（構造物背面排水材） 154 1-56　排水材設置工（水平排水層） …… 154 1-57　鋼管・既製コンクリート杭打工（パイルハンマ工） …… 154 1-58　鋼管・既製コンクリート杭打工（中掘工） …… 154	【1. 共通編】 1- 1　現場発生品及び支給品運搬 …… 111 1- 2　土工 …… 112 1- 3　土工（ＩＣＴ） …… 122 1- 4　床掘工 …… 123 1- 5　床掘工（ＩＣＴ） …… 124 1- 6　埋戻工 …… 124 1- 7　人力運搬工 …… 125 1- 8　安定処理工 …… 125 1- 9　安定処理工（自走式土質改良工） …… 125 1-10　土砂運搬工（不整地運搬車による運搬） …… 125 1-11　法面整形工 …… 126 1-12　法面整形工（ＩＣＴ） …… 126 1-13　芝付工 …… 126 1-14　コンクリート法枠工 …… 126 1-15　吹付法面とりこわし工 …… 127 1-16　プレキャストコンクリート板設置工 …… 127 1-17　人工張芝工 …… 127 1-18　基礎・裏込砕石工 …… 127 1-19　コンクリートブロック積（張）工 …… 128 1-20　石積（張）工 …… 129 1-21　平石張工 …… 129 1-22　場所打擁壁工（1） …… 130 1-23　場所打擁壁工（2） …… 130 1-24　プレキャスト擁壁工 …… 130 1-25　補強土壁工（帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁、ジオテキスタイル補強土壁（二重壁タイプ）） …… 131 1-26　補強盛土工 …… 131 1-27　構造物補修工（ひび割れ補修工（充てん工法）） …… 132 1-28　構造物補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工法）） …… 132 1-29　構造物補修工（断面修復工（左官工法）） …… 132 1-30　排水構造物工 …… 132 1-31　排水構造物工（現場打ち水路（本体）） …… 137 1-32　排水構造物工（現場打ち集水桝・街渠桝(本体)） …… 138 1-33　サンドマット工 …… 138 1-34　スラリー撹拌工 …… 138 1-35　高圧噴射撹拌工 …… 138 1-36　PVD 工(ﾌﾟﾚﾌｧﾌﾞﾘｹｲﾃｨｯﾄﾞﾊﾞｰﾁｶﾙﾄﾞﾚｰﾝ工) 138 1-37　中層混合処理工 …… 138 1-38　中層混合処理工（ＩＣＴ） …… 138 1-39　薬液注入工 …… 139 1-40　アンカー工（ロータリーパーカッション式） …… 139 1-41　構造物とりこわし工 …… 143 1-42　コンクリート削孔工 …… 143 1-43　ガス切断工 …… 143 1-44　吸出し防止材設置工 …… 143 1-45　目地・止水板設置工 …… 144 1-46　旧橋撤去工 …… 144 1-47　かご工 …… 146 1-48　発泡スチロールを用いた超軽量盛土工 …… 146 1-49　現場取卸工 …… 147 1-50　骨材再生工（自走式） …… 147 1-51　函渠工（1） …… 148 1-52　函渠工（2） …… 148 1-53　函渠工（3）大型プレキャストボックスカルバート工 …… 148 1-54　殻運搬 …… 149 1-55　排水材設置工（構造物背面排水材） 154 1-56　排水材設置工（水平排水層） …… 154 1-57　鋼管・既製コンクリート杭打工（パイルハンマ工） …… 154 1-58　鋼管・既製コンクリート杭打工（中掘工） …… 154	

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現行	改定	備考
P.108	1-59　鋼管・既製コンクリート杭打工（回転杭工）…… 154 1-60　鋼管ソイルセメント杭工…… 154 1-61　場所打杭工（全回転式オールケーシング工）… 154 1-62　場所打杭工（大口径ボーリングマシン工）…… 154 1-63　場所打杭工（ダウンザホールハンマ工）…… 155 1-64　深礎工…… 155 1-65　コンクリート工（深礎工）…… 155 1-66　ニューマチックケーソン工…… 155 1-67　基礎工（鋼管矢板基礎工）…… 156 1-68　杭頭処理工…… 156 1-69　泥水運搬工…… 156 1-70　コンクリート工…… 156 1-71　型枠工…… 157 1-72　型枠工（省力化構造）…… 157 1-73　張りコンクリート工…… 157 1-74　バイブロハンマ工…… 157 1-75　バイブロハンマ工（軽量鋼矢板打込引抜工）…… 157 1-76　油圧圧入引抜工…… 157 1-77　鋼矢板工（アースオーガ併用圧入工）…… 158 1-78　鋼矢板工（クレーン引抜工）…… 158 1-79　鋼矢板工（H形鋼）…… 158 1-80　仮設材設置撤去工…… 158 1-81　足場工…… 158 1-82　支保工…… 158 1-83　締切排水工…… 158 1-84　ウエルポイント工…… 158 1-85　土のう工…… 159 1-86　大型土のう工…… 159 1-87　仮橋・仮桟橋工…… 159 1-88　汚濁防止フェンス工…… 159 1-89　仮囲い設置撤去工…… 159 1-90　雪寒仮囲い工…… 160 1-91　切土及び発破防護柵工…… 160 1-92　濁水処理工（一般土木工事）…… 160 1-93　敷鉄板設置・撤去工…… 160 1-94　防塵処理工…… 160 1-95　法面工（仮設用モルタル吹付工）… 160 【2. 河川編】 2- 1　消波根固めブロック工…… 161 2- 2　消波根固めブロック工（ブロック撤去工）…… 170 2- 3　捨石工…… 170 2- 4　消波工…… 171 2- 5　浚渫工（バックホウ浚渫船）…… 171 2- 6　浚渫工（バックホウ浚渫船（ＩＣＴ））…… 171 2- 7　軟弱地盤上における柔構造樋門・樋管工…… 171 2- 8　堤防除草工…… 172 2- 9　堤防芝養生工…… 176 2-10　伐木除根工…… 177 2-11　塵芥処理工…… 181 2-12　ボーリンググラウト工…… 187 2-13　粗朶沈床工…… 188 2-14　機械土工（河床等掘削）…… 189 2-15　機械土工（河床等掘削）（ＩＣＴ）… 190 2-16　巨石積（張）工…… 190 2-17　木杭打工…… 191 2-18　巨石据付工…… 191 2-19　護岸基礎ブロック工…… 191 2-20　かごマット工（スロープ型）…… 193 2-21　かごマット工（多段積型）…… 193 2-22　ブロックマット工…… 193 2-23　袋詰玉石工…… 193 2-24　笠コンクリートブロック据付工…… 194 2-25　グラウトホール工…… 194 2-26　連節ブロックの水中吊落し工…… 194 2-27　光ケーブル配管工…… 195 2-28　土工（砂防工）…… 195 2-29　土工（砂防工）（ＩＣＴ）…… 196 2-30　コンクリート工（砂防工）…… 197 2-31　コンクリート工（ケーブルクレーン打設）…… 197 2-32　残存型枠工…… 197 2-33　養生工（練炭）…… 197 2-34　砂防土砂仮締切・砂防大型土のう仮締切…… 198 2-35　砂防コンクリート仮締切…… 198 2-36　鋼製砂防工…… 198 2-37　砂防ソイルセメント工…… 198 2-38　集水井工（ライナープレート土留工法）…… 198 2-39　地すべり防止工（集排水ボーリング工）…… 199 2-40　地すべり防止工（山腹水路工）…… 199 2-41　地すべり防止工（かご工）…… 200 2-42　集排水ボーリング孔洗浄工…… 200 【3. 道路編】 3- 1　路盤工…… 200 3- 2　路盤工（ＩＣＴ）…… 200 3- 3　アスファルト舗装工…… 201 3- 4　半たわみ性（コンポジット）舗装工…… 201 3- 5　排水性アスファルト舗装工…… 201	1-59　鋼管・既製コンクリート杭打工（回転杭工）…… 154 1-60　鋼管ソイルセメント杭工…… 154 1-61　場所打杭工（全回転式オールケーシング工）… 154 1-62　場所打杭工（大口径ボーリングマシン工）…… 154 1-63　場所打杭工（ダウンザホールハンマ工）…… 155 1-64　深礎工…… 155 1-65　コンクリート工（深礎工）…… 155 1-66　ニューマチックケーソン工…… 155 1-67　基礎工（鋼管矢板基礎工）…… 156 1-68　杭頭処理工…… 156 1-69　泥水運搬工…… 156 1-70　コンクリート工…… 156 1-71　型枠工…… 157 1-72　型枠工（省力化構造）…… 157 1-73　張りコンクリート工…… 157 1-74　鉄筋工…… 158 1-75　バイブロハンマ工…… 159 1-76　バイブロハンマ工（軽量鋼矢板打込引抜工）…… 159 1-77　油圧圧入引抜工…… 159 1-78　鋼矢板工（アースオーガ併用圧入工）…… 160 1-79　鋼矢板工（H形鋼）…… 160 1-80　仮設材設置撤去工…… 160 1-81　足場工…… 160 1-82　支保工…… 160 1-83　締切排水工…… 160 1-84　ウエルポイント工…… 160 1-85　土のう工…… 161 1-86　大型土のう工…… 161 1-87　仮橋・仮桟橋工…… 161 1-88　汚濁防止フェンス工…… 161 1-89　仮囲い設置撤去工…… 161 1-90　雪寒仮囲い工…… 162 1-91　切土及び発破防護柵工…… 162 1-92　濁水処理工（一般土木工事）…… 162 1-93　敷鉄板設置・撤去工…… 162 1-94　防塵処理工…… 162 1-95　法面工（仮設用モルタル吹付工）… 162 【2. 河川編】 2- 1　消波根固めブロック工…… 163 2- 2　消波根固めブロック工（ブロック撤去工）…… 172 2- 3　捨石工…… 172 2- 4　消波工…… 173 2- 5　浚渫工（バックホウ浚渫船）…… 173 2- 6　浚渫工（バックホウ浚渫船（ＩＣＴ））…… 173 2- 7　軟弱地盤上における柔構造樋門・樋管工…… 173 2- 8　堤防除草工…… 174 2- 9　堤防芝養生工…… 178 2-10　伐木除根工…… 179 2-11　塵芥処理工…… 183 2-12　粗朶沈床工…… 189 2-13　機械土工（河床等掘削）…… 189 2-14　機械土工（河床等掘削）（ＩＣＴ）… 190 2-15　巨石積（張）工…… 190 2-16　木杭打工…… 191 2-17　巨石据付工…… 191 2-18　護岸基礎ブロック工…… 191 2-19　かごマット工（スロープ型）…… 193 2-20　かごマット工（多段積型）…… 193 2-21　ブロックマット工…… 193 2-22　袋詰玉石工…… 193 2-23　笠コンクリートブロック据付工…… 194 2-24　グラウトホール工…… 194 2-25　光ケーブル配管工…… 195 2-26　土工（砂防工）…… 195 2-27　土工（砂防工）（ＩＣＴ）…… 196 2-28　コンクリート工（砂防工）…… 197 2-29　コンクリート工（ケーブルクレーン打設）…… 197 2-30　残存型枠工…… 197 2-31　養生工（練炭）…… 197 2-32　砂防土砂仮締切・砂防大型土のう仮締切…… 198 2-33　砂防コンクリート仮締切…… 198 2-34　鋼製砂防工…… 198 2-35　砂防ソイルセメント工…… 198 2-36　集水井工（ライナープレート土留工法）…… 198 2-37　地すべり防止工（集排水ボーリング工）…… 199 2-38　地すべり防止工（山腹水路工）…… 199 2-39　地すべり防止工（かご工）…… 200 2-40　集排水ボーリング孔洗浄工…… 200 【3. 道路編】 3- 1　路盤工…… 200 3- 2　路盤工（ＩＣＴ）…… 200 3- 3　アスファルト舗装工…… 201 3- 4　半たわみ性（コンポジット）舗装工…… 201 3- 5　排水性アスファルト舗装工…… 201 3- 6　透水性アスファルト舗装工…… 201 3- 7　グースアスファルト舗装工…… 201	

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現行	改定	備考
P.109	3- 6　透水性アスファルト舗装工…… 201 3- 7　グースアスファルト舗装工…… 201 3- 8　コンクリート舗装工…… 202 3- 9　連続鉄筋コンクリート舗装工…… 202 3-10　踏掛版設置工…… 202 3-11　ガードケーブル設置工…… 202 3-12　ワイヤロープ設置工…… 202 3-13　立入り防止柵工…… 203 3-14　車止めポスト設置工…… 203 3-15　防雪柵設置及び撤去工…… 204 3-16　防雪柵現地張出し・収納工…… 204 3-17　雪崩予防柵設置工…… 205 3-18　落下物等防止柵設置工…… 205 3-19　しゃ音壁設置工…… 206 3-20　路側工（据付け）…… 207 3-21　路側工（取外し）…… 207 3-22　特殊ブロック設置工…… 207 3-23　橋梁付属施設設置工…… 207 3-24　道路付属物設置工…… 208 3-25　スノーポール設置・撤去工…… 208 3-26　道路照明設備設置工…… 208 3-27　照明灯基礎設置工…… 209 3-28　路面切削工…… 209 3-29　切削オーバーレイ工…… 211 3-30　切削オーバーレイ工（ＩＣＴ）…… 211 3-31　舗装版破砕工…… 212 3-32　舗装版切断工…… 213 3-33　道路打換え工…… 213 3-34　路上路盤再生工…… 214 3-35　アスファルト注入工…… 214 3-36　舗装版クラック補修工…… 214 3-37　道路付属構造物塗替工…… 215 3-38　張紙防止塗装工…… 215 3-39　床版補強工…… 215 3-40　橋梁補強工（鋼板巻立て）(1)(2)…… 215 3-41　橋梁補強工（コンクリート巻立て）(1)(2)…… 216 3-42　橋梁地覆補修工…… 216 3-43　橋梁補修工（支承取替工）…… 217 3-44　橋梁補修工（現場溶接鋼桁補強工）…… 217 3-45　橋梁補修工（表面被覆工（塗装工法））…… 217 3-46　落橋防止装置工…… 218 3-47　道路除草工…… 219 3-48　路面清掃工（機械清掃）…… 221 3-49　路面清掃工（人力清掃工）…… 222 3-50　管渠清掃工、側溝清掃及び集水桝清掃工（組合せ作業）…… 223 3-51　側溝清掃工（単独作業）…… 223 3-52　側溝清掃工（人力清掃工）…… 224 3-53　集水桝清掃工（単独作業）…… 224 3-54　集水桝清掃工（人力清掃工）…… 224 3-55　トンネル清掃工…… 224 3-56　トンネル照明器具清掃工…… 224 3-57　トンネル漏水対策工…… 224 3-58　沓座拡幅工…… 224 3-59　欠損部補修工…… 225 3-60　舗装版削孔工（アスファルト舗装版）…… 225 3-61　横断歩道橋補修工…… 225 3-62　共同溝工(1)（構造物単位）…… 226 3-63　共同溝工(2)…… 227 3-64　防水工・防水層保護工…… 229 3-65　電線共同溝工（Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ）…… 229 3-66　情報ボックス工…… 231 3-67　トンネル工(NATM)［発破工法］…… 232 3-68　トンネル工(NATM)［機械掘削工法］ 232 3-69　トンネル濁水処理工…… 232 3-70　トンネル工(NATM)仮設備工（防音扉工）…… 232 3-71　小断面トンネル工(NATM)…… 232 3-72　トンネル裏込め注入工…… 232 3-73　道路除雪工…… 232 3-74　鋼橋製作工…… 232 3-75　橋梁塗装工（工場塗装及び塗装前処理）…… 233 3-76　鋼橋架設工…… 233 3-77　プレビーム桁架設工…… 234 3-78　鋼橋床版工…… 234 3-79　グレーチング床版架設工及び足場工…… 234 3-80　ポストテンション桁製作工…… 234 3-81　プレキャストセグメント主桁組立工…… 234 3-82　ＰＣ橋架設工…… 235 3-83　ＰＣ橋片持架設工…… 236 3-84　ポストテンション場所打ホロースラブ橋工…… 236 3-85　ポストテンション場所打箱桁橋工…… 236 3-86　ＲＣ場所打ホロースラブ橋工…… 236 3-87　架設支保工…… 236 3-88　伸縮装置工（鋼製）…… 236 3-89　橋梁排水管設置工…… 237 3-90　歩道橋（側道橋）架設工…… 237 3-91　側板工…… 237 3-92　鋼製橋脚設置工…… 237 3-93　橋台・橋脚工（1）（構造物単位）…… 238 3-94　橋台・橋脚工（2）…… 238 3-95　橋梁検査路架設工…… 238 3-96　公園植栽工…… 239	3- 8　コンクリート舗装工…… 202 3- 9　連続鉄筋コンクリート舗装工…… 202 3-10　踏掛版設置工…… 202 3-11　ガードケーブル設置工…… 202 3-12　ワイヤロープ設置工…… 202 3-13　立入り防止柵工…… 203 3-14　車止めポスト設置工…… 203 3-15　防雪柵設置及び撤去工…… 204 3-16　防雪柵現地張出し・収納工…… 204 3-17　雪崩予防柵設置工…… 205 3-18　落下物等防止柵設置工…… 205 3-19　しゃ音壁設置工…… 206 3-20　路側工（据付け）…… 207 3-21　路側工（取外し）…… 207 3-22　特殊ブロック設置工…… 207 3-23　橋梁付属施設設置工…… 207 3-24　道路付属物設置工…… 208 3-25　スノーポール設置・撤去工…… 208 3-26　道路照明設備設置工…… 208 3-27　照明灯基礎設置工…… 209 3-28　路面切削工…… 209 3-29　切削オーバーレイ工…… 211 3-30　切削オーバーレイ工（ＩＣＴ）…… 211 3-31　舗装版破砕工…… 212 3-32　舗装版切断工…… 213 3-33　道路打換え工…… 213 3-34　路上路盤再生工…… 214 3-35　舗装版クラック補修工…… 214 3-36　道路付属構造物塗替工…… 215 3-37　張紙防止塗装工…… 215 3-38　床版補強工…… 215 3-39　橋梁補強工（鋼板巻立て）(1)(2)…… 215 3-40　橋梁補強工（コンクリート巻立て）(1)(2)…… 216 3-41　橋梁地覆補修工…… 216 3-42　橋梁補修工（支承取替工）…… 217 3-43　橋梁補修工（現場溶接鋼桁補強工）…… 217 3-44　橋梁補修工（表面被覆工（塗装工法））…… 217 3-45　塗装塗替足場工…… 218 3-46　橋梁補修工（高力ボルト当て板鋼桁補強工）…… 218 3-47　落橋防止装置工…… 219 3-48　道路除草工…… 220 3-49　路面清掃工（機械清掃）…… 222 3-50　路面清掃工（人力清掃工）…… 223 3-51　管渠清掃工、側溝清掃及び集水桝清掃工（組合せ作業）…… 224 3-52　側溝清掃工（単独作業）…… 224 3-53　側溝清掃工（人力清掃工）…… 225 3-54　集水桝清掃工（単独作業）…… 225 3-55　集水桝清掃工（人力清掃工）…… 225 3-56　トンネル清掃工…… 225 3-57　トンネル照明器具清掃工…… 225 3-58　トンネル漏水対策工…… 225 3-59　トンネル補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工法））…… 226 3-60　トンネル補修工（断面修復工（左官工法））…… 226 3-61　トンネル補修工（剥落防止対策工（可視繊維シート接着工））…… 226 3-62　沓座拡幅工…… 227 3-63　欠損部補修工…… 227 3-64　舗装版削孔工（アスファルト舗装版）…… 227 3-65　横断歩道橋補修工…… 227 3-66　電線共同溝工（Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ）…… 227 3-67　情報ボックス工…… 229 3-68　トンネル工(NATM)［発破工法］…… 230 3-69　トンネル工(NATM)［機械掘削工法］ 230 3-70　トンネル濁水処理工…… 230 3-71　トンネル工(NATM)仮設備工（防音扉工）…… 230 3-72　小断面トンネル工(NATM)…… 230 3-73　トンネル裏込め注入工…… 230 3-74　道路除雪工…… 230 3-75　鋼橋製作工…… 230 3-76　橋梁塗装工（工場塗装及び塗装前処理）…… 231 3-77　鋼橋架設工…… 231 3-78　プレビーム桁架設工…… 232 3-79　鋼橋床版工…… 232 3-80　グレーチング床版架設工及び足場工…… 232 3-81　ポストテンション桁製作工…… 232 3-82　プレキャストセグメント主桁組立工…… 232 3-83　ＰＣ橋架設工…… 233 3-84　ＰＣ橋片持架設工…… 234 3-85　ポストテンション場所打ホロースラブ橋工…… 234 3-86　ポストテンション場所打箱桁橋工…… 234 3-87　ＲＣ場所打ホロースラブ橋工…… 234 3-88　架設支保工…… 234 3-89　伸縮装置工（鋼製）…… 234 3-90　橋梁排水管設置工…… 235 3-91　歩道橋（側道橋）架設工…… 235 3-92　側板工…… 235 3-93　鋼製橋脚設置工…… 235 3-94　橋台・橋脚工（1）（構造物単位）…… 236	

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

P.110

現行

3-97　公園除草工・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 240
3-98　公園工・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 241

改定

3-95　橋台・橋脚工（2）・・・・・・・・・・・・・・・・ 236
3-96　橋梁検査路架設工・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 236
3-97　公園植栽工・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 237
3-98　公園除草工・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 238
3-99　公園工・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 239

P.112

現行

工種名	設定内容
土工	① 掘削

土質	施工方法	押土の有無	障害の有無	施工数量	火薬使用	破砕片除去の有無	集積押土の有無	作業日当り標準作業量（m³/日）
土砂	オープンカット	有り	－	普通土30,000m³未満又は湿地軟弱土	－	－	－	320
				30,000m³以上	－	－	－	710
		無し	無し	5,000m³未満				230
				5,000m³以上10,000m³未満	－	－	－	270
				10,000m³以上50,000m³未満	－	－	－	330
				50,000m³以上	－	－	－	500
			有り	5,000m³未満				140
				5,000m³以上10,000m³未満	－	－	－	170
				10,000m³以上50,000m³未満	－	－	－	210
				50,000m³以上	－	－	－	320
	片切掘削	－	－	－	－	－	－	220
	水中掘削	－	－	－	－	－	－	260
	現場制約あり	－	－	－	－	－	－	4
	上記以外（小規模）	－	－	1箇所100m³以下（標準）	－	－	－	37
				1箇所100m³以下（標準以外）	－	－	－	15
岩塊・玉石	オープンカット	有り	－	普通土30,000m³未満又は湿地軟弱土	－	－	－	200
				30,000m³以上	－	－	－	440
		無し	無し	5,000m³未満				180
				5,000m³以上10,000m³未満	－	－	－	210
				10,000m³以上50,000m³未満	－	－	－	250
				50,000m³以上	－	－	－	410
			有り	5,000m³未満				110
				5,000m³以上10,000m³未満	－	－	－	130
				10,000m³以上50,000m³未満	－	－	－	150
				50,000m³以上	－	－	－	260
	水中掘削	－	－	－	－	－	－	180
	現場制約あり	－	－	－	－	－	－	3

改定

工種名	設定内容
土工	① 掘削

土質	施工方法	押土の有無	障害の有無	施工数量	平均施工幅員	火薬使用	破砕片除去の有無	集積押土の有無	作業日当り標準作業量（m³/日）
土砂	オープンカット	有り	－	普通土30,000m³未満又は湿地軟弱土	－	－	－	－	300
				30,000m³以上	－	－	－	－	660
		無し	無し	5,000m³未満	－	－	－	－	230
				5,000m³以上10,000m³未満	－	－	－	－	270
				10,000m³以上50,000m³未満	－	－	－	－	330
				50,000m³以上	－	－	－	－	500
			有り	5,000m³未満	－				140
				5,000m³以上10,000m³未満	－	－	－	－	170
				10,000m³以上50,000m³未満	－	－	－	－	210
				50,000m³以上	－	－	－	－	320
	片切掘削	－	－	－	－	－	－	－	220
	水中掘削	－	－	－	－	－	－	－	260
	現場制約あり	－	－	－	－	－	－	－	4
	上記以外（小規模）	－	－	1箇所100m³以下（標準）	－	－	－	－	37
				1箇所100m³以下（標準以外）	－	－	－	－	15
岩塊・玉石	オープンカット	有り	－	普通土30,000m³未満又は湿地軟弱土	－	－	－	－	190
				30,000m³以上	－	－	－	－	410
		無し	無し	5,000m³未満	－				180
				5,000m³以上10,000m³未満	－	－	－	－	210
				10,000m³以上50,000m³未満	－	－	－	－	250
				50,000m³以上	－	－	－	－	410
			有り	5,000m³未満	－	－	－	－	110
				5,000m³以上10,000m³未満	－	－	－	－	130
				10,000m³以上50,000m³未満	－	－	－	－	150
				50,000m³以上	－	－	－	－	260
	水中掘削	－	－	－	－	－	－	－	180
	現場制約あり	－	－	－	－	－	－	－	3

備考

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.113			

現　　行

工種名	設定内容
土工	

土質	施工方法	押土の有無	障害の有無	施工数量	火薬使用	破砕片除去の有無	集積押土の有無	作業日当り標準作業量（m³/日）
軟岩	オープンカット	－	無し	1,000m³未満	－	無し	無し	59
							有り	59
						有り（5万m³未満）	無し	59
						有り（5万m³以上）	無し	59
				1,000m³以上5,000m³未満		無し	無し	91
							有り	91
						有り（5万m³未満）	無し	91
						有り（5万m³以上）	無し	91
				5,000m³以上	－	－	－	340
			有り	5,000m³未満	－	無し	無し	32
							有り	32
						有り（5万m³未満）	無し	32
						有り（5万m³以上）	無し	32
	片切掘削	－	－	－	－	無し	無し	49
							有り	49
						有り（5万m³未満）	無し	49
						有り（5万m³以上）	無し	49
硬岩	オープンカット	－	無し	－	不可	無し	無し	45
							有り	45
						有り（5万m³未満）	無し	45
						有り（5万m³以上）	無し	45
					可	－	－	190
			有り	－	不可	無し	無し	21
							有り	21
						有り（5万m³未満）	無し	21
						有り（5万m³以上）	無し	21
	片切掘削	－	－	－	不可	無し	無し	29
							有り	29
						有り（5万m³未満）	無し	29
						有り（5万m³以上）	無し	29
					可	無し	無し	55
							有り	55
						有り（5万m³未満）	無し	55
						有り（5万m³以上）	無し	55

改　　定

工種名	設定内容
土工	

土質	施工方法	押土の有無	障害の有無	施工数量	平均施工幅員	火薬使用	破砕片除去の有無	集積押土の有無	作業日当り標準作業量（m³/日）
軟岩	オープンカット	－	無し	1,000m³未満	－	－	無し	無し	59
								有り（5千m³未満）	59
								有り（5千m³以上）	59
							有り（5万m³未満）	無し	59
							有り（5万m³以上）	無し	59
				1,000m³以上3,000m³未満	－	－	無し	無し	81
								有り（5千m³未満）	81
								有り（5千m³以上）	81
							有り（5万m³未満）	無し	81
							有り（5万m³以上）	無し	81
				3,000m³以上5,000m³未満	－	－	無し	無し	102
								有り（5千m³未満）	102
								有り（5千m³以上）	102
							有り（5万m³未満）	無し	102
							有り（5万m³以上）	無し	102
				5,000m³以上7,000m³未満	20m未満	－	無し	無し	102
								有り（5千m³未満）	102
								有り（5千m³以上）	102
							有り（5万m³未満）	無し	102
							有り（5万m³以上）	無し	102
					20m以上	－	－	－	340
				7,000m³以上	－	－	－	－	340
			有り	－	－	－	無し	無し	32
								有り（5千m³未満）	32
								有り（5千m³以上）	32
							有り（5万m³未満）	無し	32
							有り（5万m³以上）	無し	32
	片切掘削	－	－	－	－	－	無し	無し	35
								有り（5千m³未満）	35
								有り（5千m³以上）	35
							有り（5万m³未満）	無し	35
							有り（5万m³以上）	無し	35

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.114			

工種名	設　　定　　内　　容
土工	

土質	施工方法	押土の有無	障害の有無	施工数量	平均施工幅員	火薬使用	破砕片除去の有無	集積押土の有無	作業日当り標準作業量（m^3/日）
硬岩	オープンカット	－	無し	－	－	不可	無し	無し	45
								有り（5千m^3未満）	45
								有り（5千m^3以上）	45
							有り（5万m^3未満）	無し	45
							有り（5万m^3以上）	無し	45
						可	－	－	190
			有り	－	－	不可	無し	無し	21
								有り（5千m^3未満）	21
								有り（5千m^3以上）	21
							有り（5万m^3未満）	無し	21
							有り（5万m^3未満）	無し	21
	片切掘削	－	－	－	－	不可	無し	無し	29
								有り（5千m^3未満）	29
								有り（5千m^3以上）	29
							有り（5万m^3未満）	無し	29
							有り（5万m^3未満）	無し	29
						可	無し	無し	55
								有り（5千m^3未満）	55
								有り（5千m^3以上）	55
							有り（5万m^3未満）	無し	55
							有り（5万m^3以上）	無し	55

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.115			

現行

工　種　名	設　　定　　内　　容
土工	② 土砂等運搬

土砂等発生現場	積込機種・規格	土　質	DID区間の有無	運搬距離(km)	作業日当り標準作業量(m³/日)
標準	バックホウ 山積0.8m³ (平積0.6m³)	土砂 (岩塊・玉石混り土含む)	無し	0.3以下	154
				0.5以下	133
				1.0以下	118
				1.5以下	105
				2.0以下	91
				3.0以下	77
				4.0以下	67
				5.5以下	56
				6.5以下	48
				7.5以下	42
				9.5以下	37
				11.5以下	32
				15.5以下	26
				22.5以下	21
				49.5以下	16
				60.0以下	11
			有り	0.3以下	154
				0.5以下	133
				1.0以下	118
				1.5以下	105
				2.0以下	91
				3.0以下	77
				3.5以下	67
				5.0以下	56
				6.0以下	48
				7.0以下	42
				8.5以下	37
				11.0以下	32
				14.0以下	26
				19.5以下	21
				31.5以下	16
				60.0以下	11
		軟岩	－	－	土砂÷1.22
		硬岩	－	－	土砂÷1.37

改定

工　種　名	設　　定　　内　　容
土工	② 土砂等運搬

土砂等発生現場	積込機種・規格	土　質	DID区間の有無	運搬距離(km)	作業日当り標準作業量(m³/日)
標準	バックホウ バケット容量 0.8m³	土砂 (岩塊・玉石混り土含む)	無し	0.3以下	154
				0.5以下	133
				1.0以下	118
				1.5以下	105
				2.0以下	91
				3.0以下	77
				4.0以下	67
				5.5以下	56
				6.5以下	48
				7.5以下	42
				9.5以下	37
				11.5以下	32
				15.5以下	26
				22.5以下	21
				49.5以下	16
				60.0以下	11
			有り	0.3以下	154
				0.5以下	133
				1.0以下	118
				1.5以下	105
				2.0以下	91
				3.0以下	77
				3.5以下	67
				5.0以下	56
				6.0以下	48
				7.0以下	42
				8.5以下	37
				11.0以下	32
				14.0以下	26
				19.5以下	21
				31.5以下	16
				60.0以下	11
		軟岩	－	－	土砂÷1.22
		硬岩	－	－	土砂÷1.37

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現行	改定	備考
P.116			

現行

工種名	設定内容
土工	

土砂等発生現場	積込機種・規格	土質	DID区間の有無	運搬距離(km)	作業日当り標準作業量(m³/日)
標準	バックホウ 山積1.4m³ (平積1.0m³)	土砂 (岩塊・玉石混り土含む)	無し	0.3以下	200
				0.5以下	167
				1.0以下	143
				1.5以下	125
				2.0以下	111
				2.5以下	100
				3.0以下	83
				3.5以下	77
				4.5以下	67
				6.0以下	56
				7.0以下	48
				8.5以下	42
				10.0以下	37
				12.5以下	32
				16.5以下	26
				23.5以下	21
				51.5以下	16
				60.0以下	11
			有り	0.3以下	200
				0.5以下	167
				1.0以下	143
				1.5以下	125
				2.0以下	111
				2.5以下	100
				3.0以下	83
				3.5以下	77
				4.5以下	67
				5.5以下	56
				6.5以下	48
				8.0以下	42
				9.5以下	37
				11.5以下	32
				15.0以下	26
				20.5以下	21
				33.0以下	16
				60.0以下	11
		軟岩	－	－	土砂÷1.22
		硬岩	－	－	土砂÷1.37

改定

工種名	設定内容
土工	

土砂等発生現場	積込機種・規格	土質	DID区間の有無	運搬距離(km)	作業日当り標準作業量(m³/日)
標準	バックホウ バケット容量 1.3～1.5m³	土砂 (岩塊・玉石混り土含む)	無し	0.3以下	200
				0.5以下	167
				1.0以下	143
				1.5以下	125
				2.0以下	111
				2.5以下	100
				3.0以下	83
				3.5以下	77
				4.5以下	67
				6.0以下	56
				7.0以下	48
				8.5以下	42
				10.0以下	37
				12.5以下	32
				16.5以下	26
				23.5以下	21
				51.5以下	16
				60.0以下	11
			有り	0.3以下	200
				0.5以下	167
				1.0以下	143
				1.5以下	125
				2.0以下	111
				2.5以下	100
				3.0以下	83
				3.5以下	77
				4.5以下	67
				5.5以下	56
				6.5以下	48
				8.0以下	42
				9.5以下	37
				11.5以下	32
				15.0以下	26
				20.5以下	21
				33.0以下	16
				60.0以下	11
		軟岩	－	－	土砂÷1.22
		硬岩	－	－	土砂÷1.37

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.117			

現　　行

工　種　名	設　　定　　内　　容
土工	

土砂等発生現場	積込機種・規格	土　質	DID区間の有無	運搬距離(km)	作業日当り標準作業量(m³/日)
標準	バックホウ 山積0.45m³ (平積0.35m³)	土砂 (岩塊 玉石混り土含む)	無し	0.5以下	91
				1.0以下	83
				2.0以下	71
				2.5以下	63
				3.5以下	56
				4.5以下	48
				6.0以下	42
				7.5以下	37
				10.0以下	32
				13.5以下	26
				19.5以下	21
				39.0以下	16
				60.0以下	11
			有り	0.5以下	91
				1.0以下	83
				1.5以下	71
				2.0以下	63
				3.0以下	56
				4.0以下	48
				5.5以下	42
				7.0以下	37
				9.0以下	32
				12.0以下	26
				17.5以下	21
				28.5以下	16
				60.0以下	11
		軟岩	－	－	土砂÷1.22
		硬岩	－	－	土砂÷1.37
	クラムシェル 平積0.4m³ または 平積0.8m³	土砂 (岩塊・玉石混り 土含む)	無し	0.5以下	67
				2.0以下	56
				2.5以下	48
				4.0以下	42
				5.5以下	37
				7.5以下	32
				10.5以下	26
				16.0以下	21
				30.0以下	16
				60.0以下	11

改　　定

工　種　名	設　　定　　内　　容
土工	

土砂等発生現場	積込機種・規格	土　質	DID区間の有無	運搬距離(km)	作業日当り標準作業量(m³/日)
標準	バックホウ バケット容量 0.45m³	土砂 (岩塊玉石混り 土含む)	無し	0.5以下	91
				1.0以下	83
				2.0以下	71
				2.5以下	63
				3.5以下	56
				4.5以下	48
				6.0以下	42
				7.5以下	37
				10.0以下	32
				13.5以下	26
				19.5以下	21
				39.0以下	16
				60.0以下	11
			有り	0.5以下	91
				1.0以下	83
				1.5以下	71
				2.0以下	63
				3.0以下	56
				4.0以下	48
				5.5以下	42
				7.0以下	37
				9.0以下	32
				12.0以下	26
				17.5以下	21
				28.5以下	16
				60.0以下	11
		軟岩	－	－	土砂÷1.22
		硬岩	－	－	土砂÷1.37
	クラムシェル バケット容量 (平積) 0.26～0.3m³ または バケット容量 (平積) 0.8m³	土砂 (岩塊・玉石混り 土含む)	無し	0.5以下	67
				2.0以下	56
				2.5以下	48
				4.0以下	42
				5.5以下	37
				7.5以下	32
				10.5以下	26
				16.0以下	21
				30.0以下	16
				60.0以下	11

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.118			

現行

工　種　名	設　　定　　内　　容
土工	

土砂等発生現場	積込機種・規格	土　質	DID区間の有無	運搬距離(km)	作業日当り標準作業量(m^3/日)
標準	クラムシェル 平積0.4m^3 または 平積0.8m^3	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	有り	0.5以下	67
				2.0以下	56
				2.5以下	48
				3.5以下	42
				5.0以下	37
				7.0以下	32
				10.0以下	26
				14.5以下	21
				24.5以下	16
				60.0以下	11
		軟岩	－	－	土砂÷1.22
		硬岩	－	－	土砂÷1.37
小規模	バックホウ 山積0.28m^3 (平積0.2m^3)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	無し	0.2以下	50
				1.0以下	40
				1.5以下	33
				2.5以下	29
				3.5以下	25
				4.0以下	22
				5.0以下	20
				6.0以下	18
				7.5以下	17
				10.0以下	13
				13.0以下	11
				19.0以下	9
				35.0以下	7
				60.0以下	4
			有り	0.2以下	50
				1.0以下	40
				1.5以下	33
				2.0以下	29
				3.0以下	25
				3.5以下	22
				4.5以下	20
				5.5以下	18
				7.0以下	17
				9.0以下	13
				12.0以下	11
				17.0以下	9
				27.0以下	7
				60.0以下	4

改定

工　種　名	設　　定　　内　　容
土工	

土砂等発生現場	積込機種・規格	土　質	DID区間の有無	運搬距離(km)	作業日当り標準作業量(m^3/日)
標準	クラムシェル バケット容量(平積) 0.26～0.3m^3 または バケット容量(平積) 0.8m^3	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	有り	0.5以下	67
				2.0以下	56
				2.5以下	48
				3.5以下	42
				5.0以下	37
				7.0以下	32
				10.0以下	26
				14.5以下	21
				24.5以下	16
				60.0以下	11
		軟岩	－	－	土砂÷1.22
		硬岩	－	－	土砂÷1.37
小規模	バックホウ バケット容量 0.28m^3	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	無し	0.2以下	50
				1.0以下	40
				1.5以下	33
				2.5以下	29
				3.5以下	25
				4.0以下	22
				5.0以下	20
				6.0以下	18
				7.5以下	17
				10.0以下	13
				13.0以下	11
				19.0以下	9
				35.0以下	7
				60.0以下	4
			有り	0.2以下	50
				1.0以下	40
				1.5以下	33
				2.0以下	29
				3.0以下	25
				3.5以下	22
				4.5以下	20
				5.5以下	18
				7.0以下	17
				9.0以下	13
				12.0以下	11
				17.0以下	9
				27.0以下	7
				60.0以下	4

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.119			

現　　行

工　種　名：土工

設　定　内　容

土砂等発生現場	積込機種・規格	土　質	DID区間の有無	運搬距離(km)	作業日当り標準作業量(m³/日)
小規模	バックホウ 山積0.13m³ (平積0.1m²)	土砂 (岩塊・玉石混土含む)	無し	0.3以下	22
				1.0以下	20
				1.5以下	17
				2.5以下	14
				3.0以下	13
				3.5以下	11
				4.5以下	10
				5.5以下	9
				7.0以下	8
				9.0以下	7
				12.0以下	6
				17.0以下	4
				28.5以下	3
				60.0以下	2
			有り	0.3以下	22
				1.0以下	20
				1.5以下	17
				2.5以下	14
				3.0以下	13
				3.5以下	11
				4.5以下	10
				5.0以下	9
				6.5以下	8
				8.0以下	7
				11.0以下	6
				15.0以下	4
				24.0以下	3
				60.0以下	2
現場制約あり	人力	土砂 (岩塊・玉石混土含む)	無し	0.3以下	20
				0.5以下	18
				1.5以下	17
				2.0以下	14
				2.5以下	13
				3.0以下	11
				4.0以下	10
				5.0以下	9
				6.5以下	8
				8.5以下	7
				11.0以下	6
				16.0以下	4
				27.5以下	3
				60.0以下	2

改　　定

工　種　名：土工

設　定　内　容

土砂等発生現場	積込機種・規格	土　質	DID区間の有無	運搬距離(km)	作業日当り標準作業量(m³/日)
小規模	バックホウ バケット容量 0.13m³	土砂 (岩塊・玉石混土含む)	無し	0.3以下	22
				1.0以下	20
				1.5以下	17
				2.5以下	14
				3.0以下	13
				3.5以下	11
				4.5以下	10
				5.5以下	9
				7.0以下	8
				9.0以下	7
				12.0以下	6
				17.0以下	4
				28.5以下	3
				60.0以下	2
			有り	0.3以下	22
				1.0以下	20
				1.5以下	17
				2.5以下	14
				3.0以下	13
				3.5以下	11
				4.5以下	10
				5.0以下	9
				6.5以下	8
				8.0以下	7
				11.0以下	6
				15.0以下	4
				24.0以下	3
				60.0以下	2
現場制約あり	人力	土砂 (岩塊・玉石混土含む)	無し	0.3以下	20
				0.5以下	18
				1.5以下	17
				2.0以下	14
				2.5以下	13
				3.0以下	11
				4.0以下	10
				5.0以下	9
				6.5以下	8
				8.5以下	7
				11.0以下	6
				16.0以下	4
				27.5以下	3
				60.0以下	2

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.120			

現　　行

工　種　名	設　　定　　内　　容
土工	

土砂等 発生現場	積込機種 ・規格	土質	DID区間 の有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m^3/日)
現場制約 あり	人力	土砂 (岩塊・玉石混 土含む)	有り	0.3以下	20
				0.5以下	18
				1.0以下	17
				1.5以下	14
				2.0以下	13
				2.5以下	11
				3.5以下	10
				4.5以下	9
				6.0以下	8
				8.0以下	7
				10.5以下	6
				14.5以下	4
				23.0以下	3
				60.0以下	2

③ 整地

作業区分	敷均し作業内容	障害の有無	作業日当り 標準作業量 (m^3/日)
残土受入れ地での処理	—	—	434
敷均し（ルーズ）	標準	無し	430
		有り	380
	標準以外	無し	550
		有り	480

④ 路体（築堤）盛土

施工幅員	施工数量	障害の有無	作業日当り 標準作業量 (m^3/日)
2.5m未満	—	—	50
2.5m以上4.0m未満	—	—	86
4.0m以上	20,000m^3 未満	無し	350
		有り	180
	20,000m^3 以上	無し	540
		有り	310

(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。
2. 敷均し・締固め作業の一層の仕上り厚は30cm以下とする。

改　　定

工　種　名	設　　定　　内　　容
土工	

土砂等 発生現場	積込機種 ・規格	土質	DID区間 の有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m^3/日)
現場制約 あり	人力	土砂 (岩塊・玉石混 土含む)	有り	0.3以下	20
				0.5以下	18
				1.0以下	17
				1.5以下	14
				2.0以下	13
				2.5以下	11
				3.5以下	10
				4.5以下	9
				6.0以下	8
				8.0以下	7
				10.5以下	6
				14.5以下	4
				23.0以下	3
				60.0以下	2

③ 整地

作業区分	敷均し作業内容	障害の有無	作業日当り 標準作業量 (m^3/日)
残土受入れ地での処理	—	—	434
敷均し（ルーズ）	10,000m^3未満	無し	430
		有り	380
	10,000m^3以上	無し	550
		有り	480

④ 路体（築堤）盛土

施工幅員	施工数量	障害の有無	作業日当り 標準作業量 (m^3/日)
2.5m未満	—	—	50
2.5m以上4.0m未満	—	—	86
4.0m以上	20,000m^3 未満	無し	350
		有り	180
	20,000m^3 以上	無し	540
		有り	310

(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。
2. 敷均し・締固め作業の一層の仕上り厚は30cm以下とする。

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.121			

現　　行

工　種　名	設　　定　　内　　容
土工	⑤ 路床盛土

施工幅員	施工数量	障害の有無	作業日当り標準作業量（m³/日）
2.5m未満	－	－	43
2.5m以上4.0m未満	－	－	78
4.0m以上	20,000m³未満	無し	260
		有り	140
	20,000m³以上	無し	420
		有り	140

（注）1. 上表は、締固め後の土量である。
2. 敷均し・締固め作業の一層の仕上り厚は20cm以下ととする。

⑥ 押土（ルーズ）

土　質	作業日当り標準作業量
土　砂	540 m³/日
岩塊・玉石	350 m³/日
破砕岩	350 m³/日

⑦ 積込（ルーズ）

土　質	作業内容	作業日当り標準作業量
土　砂	土量50,000m³未満	310 m³/日
	土量50,000m³以上	520 m³/日
	平均施工幅1m以上2m未満	160 m³/日
	1箇所100m³以下（標準）	42 m³/日
	1箇所100m³以下（標準以外）	22 m³/日
岩塊・玉石、破砕岩	土量50,000m³未満	260 m³/日
	土量50,000m³以上	440 m³/日
	平均施工幅1m以上2m未満	130 m³/日

⑧ 人力積込

土　質	作業日当り標準作業量
土　砂	7.1 m³/日
岩塊・玉石	5.3 m³/日

（注）作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。

⑨ 転石破砕

火薬使用の有無	作業日当り標準作業量
有り	33 m³/日
無し	34 m³/日

（注）上表の火薬使用無しは、大型ブレーカによる転石破砕である。

改　　定

工　種　名	設　　定　　内　　容
土工	⑤ 路床盛土

施工幅員	施工数量	障害の有無	作業日当り標準作業量（m³/日）
2.5m未満	－	－	43
2.5m以上4.0m未満	－	－	78
4.0m以上	20,000m³未満	無し	260
		有り	140
	20,000m³以上	無し	420
		有り	140

（注）1. 上表は、締固め後の土量である。
2. 敷均し・締固め作業の一層の仕上り厚は20cm以下ととする。

⑥ 押土（ルーズ）

土　質	施工数量	作業日当り標準作業量
土　砂	5,000m³未満	310 m³/日
	5,000m³以上	510 m³/日
岩塊・玉石	5,000m³未満	200 m³/日
	5,000m³以上	300 m³/日
破砕岩	5,000m³未満	200 m³/日
	5,000m³以上	330 m³/日

⑦ 積込（ルーズ）

土　質	作業内容	作業日当り標準作業量
土　砂	土量50,000m³未満	310 m³/日
	土量50,000m³以上	520 m³/日
	平均施工幅1m以上2m未満	160 m³/日
	1箇所100m³以下（標準）	42 m³/日
	1箇所100m³以下（標準以外）	22 m³/日
岩塊・玉石、破砕岩	土量50,000m³未満	260 m³/日
	土量50,000m³以上	440 m³/日
	平均施工幅1m以上2m未満	130 m³/日

⑧ 人力積込

土　質	作業日当り標準作業量
土　砂	7.1 m³/日
岩塊・玉石	5.3 m³/日

（注）作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考

P.122

現　行

工　種　名	設　　定　　内　　容
土工 （ＩＣＴ）	① 掘削（ＩＣＴ）※［ＩＣＴ建機使用割合 100%］

土　質	施工方法	障害の有無	施工数量	作業日当り 標準作業量
土　砂	オープンカット	無し	5,000m³未満	250 m³/日
			5,000m³以上 10,000m³未満	290 m³/日
			10,000m³以上 50,000m³未満	350 m³/日
			50,000m³以上	410 m³/日
		有り	5,000m³未満	150 m³/日
			5,000m³以上 10,000m³未満	180 m³/日
			10,000m³以上 50,000m³未満	230 m³/日
			50,000m³以上	270 m³/日
	片切掘削	－	－	242 m³/日
岩塊・玉石	オープンカット	無し	5,000m³未満	190 m³/日
			5,000m³以上 10,000m³未満	220 m³/日
			10,000m³以上 50,000m³未満	270 m³/日
			50,000m³以上	340 m³/日
		有り	5,000m³未満	120 m³/日
			5,000m³以上 10,000m³未満	140 m³/日
			10,000m³以上 50,000m³未満	170 m³/日
			50,000m³以上	220 m³/日

② 路体（築堤）盛土（ＩＣＴ）

作業形態	施工数量	障害の有無	作業日当り 標準作業量	ＩＣＴ 標準作業量
敷均し＋ 締固め	20,000m³未満	無し	550 m³/日	550 m³/日
		有り	280 m³/日	280 m³/日
	20,000m³以上	無し	690 m³/日	690 m³/日
		有り	400 m³/日	430 m³/日

（注）1. 上表は、締固め後の土量である。
2. 敷均し作業の仕上り厚さは0.2～0.3mとする。
3. 保守点検費を算出する場合に限り、上表の「ＩＣＴ標準作業量」を適用すること。

③ 路床盛土（ＩＣＴ）

施工数量	障害の有無	作業日当り標準作業量	ＩＣＴ標準作業量
20,000m³未満	無し	430 m³/日	430 m³/日
	有り	140 m³/日	220 m³/日
20,000m³以上	無し	500 m³/日	540 m³/日
	有り	140 m³/日	320 m³/日

（注）1. 上表は、締固め後の土量である。
2. 敷均し作業の仕上り厚さは0.2～0.3mとする。
3. 保守点検費を算出する場合に限り、上表の「ＩＣＴ標準作業量」を適用すること。

改　定

工　種　名	設　　定　　内　　容
土工 （ＩＣＴ）	① 掘削（ＩＣＴ）※［ＩＣＴ建機使用割合 100%］

土　質	施工方法	障害の有無	施工数量	作業日当り 標準作業量
土　砂	オープンカット	無し	5,000m³未満	250 m³/日
			5,000m³以上 10,000m³未満	290 m³/日
			10,000m³以上 50,000m³未満	350 m³/日
			50,000m³以上	410 m³/日
		有り	5,000m³未満	150 m³/日
			5,000m³以上 10,000m³未満	180 m³/日
			10,000m³以上 50,000m³未満	230 m³/日
			50,000m³以上	270 m³/日
	片切掘削	－	－	242 m³/日
岩塊・玉石	オープンカット	無し	5,000m³未満	190 m³/日
			5,000m³以上 10,000m³未満	220 m³/日
			10,000m³以上 50,000m³未満	270 m³/日
			50,000m³以上	340 m³/日
		有り	5,000m³未満	120 m³/日
			5,000m³以上 10,000m³未満	140 m³/日
			10,000m³以上 50,000m³未満	170 m³/日
			50,000m³以上	220 m³/日

② 路体（築堤）盛土（ＩＣＴ）

施工数量	障害の有無	作業日当り 標準作業量
20,000m³未満	無し	550 m³/日
	有り	280 m³/日
20,000m³以上	無し	690 m³/日
	有り	400 m³/日

（注）1. 上表は、締固め後の土量である。
2. 敷均し作業の仕上り厚さは0.2～0.3mとする。

③ 路床盛土（ＩＣＴ）

施工数量	障害の有無	作業日当り標準作業量
20,000m³未満	無し	430 m³/日
	有り	140 m³/日
20,000m³以上	無し	500 m³/日
	有り	140 m³/日

（注）1. 上表は、締固め後の土量である。
2. 敷均し作業の仕上り厚さは0.2～0.3mとする。

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

P.124

現行

床掘工
（ＩＣＴ）

① 床掘り（ＩＣＴ）

土質	施工方法	土留方式の種類	障害の有無	作業日当り標準作業量
土砂	標準	無し	有り	196 m^3/日
			無し	240 m^3/日
		自立式	有り	196 m^3/日
			無し	240 m^3/日
		グランドアンカー式	有り	196 m^3/日
			無し	240 m^3/日
		切梁腹起式	有り	196 m^3/日
			無し	240 m^3/日

改定

床掘工
（ＩＣＴ）

① 床掘り（ＩＣＴ）

土質	施工方法	土留方式の種類	障害の有無	作業日当り標準作業量
土砂	標準	無し	有り	196 m^3/日
			無し	240 m^3/日
		自立式	有り	196 m^3/日
			無し	240 m^3/日
		グランドアンカー式	有り	196 m^3/日
			無し	240 m^3/日
		切梁腹起式	有り	196 m^3/日
			無し	240 m^3/日
	平均施工幅1m以上2m未満	無し	有り	120 m^3/日
			無し	180 m^3/日
		自立式	有り	120 m^3/日
			無し	180 m^3/日
		グランドアンカー式	有り	120 m^3/日
			無し	180 m^3/日
		切梁腹起式	有り	120 m^3/日
			無し	180 m^3/日

備考

P.132

現行

工種名	設定内容
構造物補修工（ひび割れ補修工（充てん工法））	① ひび割れ補修工（充てん工法）
構造物補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工法））	① ひび割れ補修工（低圧注入工法）
構造物補修工（断面修復工（左官工法））	① 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む ② 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない

① ひび割れ補修工（充てん工法）

数量		作業日当り標準作業量
1構造物当り補修延べ延長	20m未満の場合	13.9 m/日
	20m以上の場合	20.1 m/日

① ひび割れ補修工（低圧注入工法）

数量		作業日当り標準作業量
1構造物当り補修延べ延長	25m未満の場合	13.4 m/日
	25m以上の場合	25.6 m/日

① 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む

数量		作業日当り標準作業量
1構造物当り修復延べ体積	0.1m^3未満の場合	0.036 m^3/日
	0.1m^3以上の場合	0.036 m^3/日

② 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない

数量		作業日当り標準作業量
1構造物当り修復延べ体積	0.1m^3未満の場合	0.043 m^3/日
	0.1m^3以上の場合	0.043 m^3/日

改定

工種名	設定内容
構造物補修工（ひび割れ補修工（充てん工法））	① ひび割れ補修工（充てん工法）
構造物補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工法））	① ひび割れ補修工（低圧注入工法）
構造物補修工（断面修復工（左官工法））	断面修復工（左官工法）

① ひび割れ補修工（充てん工法）

数量		作業日当り標準作業量
1構造物当り補修延べ延長	20m以下の場合	13.9 m/日
	20mを超える場合	20.1 m/日

① ひび割れ補修工（低圧注入工法）

数量		作業日当り標準作業量
1構造物当り補修延べ延長	20m以下の場合	13.4 m/日
	20mを超える場合	25.6 m/日

断面修復工（左官工法）

数量		作業日当り標準作業量	
		鉄筋ケレン・防錆処理を含む	鉄筋ケレン・防錆処理を含まない
1構造物当り修復延べ体積	0.1m^3を超える場合	0.036 m^3/日	0.043 m^3/日
	0.07m^3を超え0.1m^3以下の場合	0.027 m^3/日	0.032 m^3/日
	0.05m^3を超え0.07m^3以下の場合	0.018 m^3/日	0.022 m^3/日
	0.03m^3を超え0.05m^3以下の場合	0.012 m^3/日	0.014 m^3/日
	0.02m^3を超え0.03m^3以下の場合	0.007 m^3/日	0.008 m^3/日
	0.02m^3以下場合	0.003 m^3/日	0.004 m^3/日

備考

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考

P.135

現　　行

工　種　名	設　　定　　内　　容
排水構造物工	⑥ プレキャスト集水桝

(1) 集水桝単体

製品質量 (kg/基)	50以上 80以下	80を超え 200以下	200を超え 400以下	400を超え 600以下	600を超え 800以下	800を超え 1,200以下	1,200を超え 1,600以下	1,600を超え 2,200以下	2,200を超え 2,800以下
作業日当り標準作業量 (基/日)	250	125	50	33	25	20	17	13	10

(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2 とする。

(2) 集水桝＋基礎砕石

製品質量 (kg/基)	50以上 80以下	80を超え 200以下	200を超え 400以下	400を超え 600以下	600を超え 800以下	800を超え 1,200以下	1,200を超え 1,600以下	1,600を超え 2,200以下	2,200を超え 2,800以下
作業日当り標準作業量 (基/日)	143	91	42	29	22	17	15	11	9

(注) 1. 上表 (2) の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。
・基礎材敷均し・転圧
・集水桝設置
2. 上表 (2) の作業日当り標準作業量は、集水桝設置数量換算値である。

⑦ 鉄筋コンクリート台付管

(1) 鉄筋コンクリート台付管単体

管　　径 (mm)	200　250 300	350　400 450　500	600　700 800	900　1,000 1,100　1,200
作業日当り標準作業量 (m/日)	50	33	25	17

(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。

(2) 鉄筋コンクリート台付管＋基礎砕石

管　　径 (mm)	200　250 300	350　400 450　500	600　700 800	900　1,000 1,100　1,200
作業日当り標準作業量 (m/日)	44	29	23	16

(注) 1. 上表 (2) の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。
・基礎材敷均し・転圧
・鉄筋コンクリート台付管設置
2. 上表 (2) の作業日当り標準作業量は、鉄筋コンクリート台付管設置延長換算値である。

⑧ プレキャストＬ形側溝

(1) Ｌ形側溝単体

製　　品　　長	0.6 m
作業日当り標準作業量	33 m/日

(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。

(2) Ｌ形側溝＋基礎砕石

製　　品　　長	0.6 m
作業日当り標準作業量	29 m/日

(注) 1. 上表 (2) の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。
・基礎材敷均し・転圧
・Ｌ形側溝設置
2. 上表 (2) の作業日当り標準作業量は、Ｌ形側溝設置延長換算値である。

改　　定

工　種　名	設　　定　　内　　容
排水構造物工	⑥ プレキャスト集水桝

(1) 集水桝単体

製品質量 (kg/基)	50以上 80以下	80を超え 200以下	200を超え 400以下	400を超え 600以下	600を超え 800以下	800を超え 1,200以下	1,200を超え 1,600以下	1,600を超え 2,200以下	2,200を超え 2,800以下
作業日当り標準作業量 (基/日)	250	125	50	33	25	20	17	13	10

(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2 とする。

(2) 集水桝＋基礎砕石

製品質量 (kg/基)	50以上 80以下	80を超え 200以下	200を超え 400以下	400を超え 600以下	600を超え 800以下	800を超え 1,200以下	1,200を超え 1,600以下	1,600を超え 2,200以下	2,200を超え 2,800以下
作業日当り標準作業量 (基/日)	143	91	42	29	22	17	15	11	9

(注) 1. 上表 (2) の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。
・基礎材敷均し・転圧
・集水桝設置
2. 上表 (2) の作業日当り標準作業量は、集水桝設置数量換算値である。

⑦ 鉄筋コンクリート台付管

(1) 鉄筋コンクリート台付管単体

管　　径 (mm)	200　250 300	350　400 450　500	600　700 800	900　1,000 1,100　1,200
作業日当り標準作業量 (m/日)	38	29	22	13

(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。

(2) 鉄筋コンクリート台付管＋基礎砕石

管　　径 (mm)	200　250 300	350　400 450　500	600　700 800	900　1,000 1,100　1,200
作業日当り標準作業量 (m/日)	29	22	17	10

(注) 1. 上表 (2) の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。
・基礎材敷均し・転圧
・鉄筋コンクリート台付管設置
2. 上表 (2) の作業日当り標準作業量は、鉄筋コンクリート台付管設置延長換算値である。

⑧ プレキャストＬ形側溝

(1) Ｌ形側溝単体

製　　品　　長	0.6 m
作業日当り標準作業量	33 m/日

(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。

(2) Ｌ形側溝＋基礎砕石

製　　品　　長	0.6 m
作業日当り標準作業量	29 m/日

(注) 1. 上表 (2) の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。
・基礎材敷均し・転圧
・Ｌ形側溝設置
2. 上表 (2) の作業日当り標準作業量は、Ｌ形側溝設置延長換算値である。

備　　考

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.137			

現　行

工　種　名	設　　定　　内　　容
排水構造物工 （現場打ち水路（本体））	① 現場打ち水路（本体）

コンクリート打設工法	鉄筋の有無	10m当りｺﾝｸﾘｰﾄ使用量	作業日当り標準作業量
バックホウ（クレーン機能付）打設	無し	3.0m³/10m 以上 4.2m³/10m以下	4 m/日
		4.2m³/10mを超え7.4m³/10m以下	3 m/日
		7.4m³/10mを超え9.0m³/10m以下	2 m/日
	有り	3.6m³/10m 以上 5.0m³/10m以下	3 m/日
		5.0m³/10mを超え8.1m³/10m以下	2 m/日
人力打設	無し	3.0m³/10m 以上 3.3m³/10m以下	4 m/日
		3.3m³/10mを超え6.0m³/10m以下	3 m/日
		6.0m³/10mを超え9.0m³/10m以下	2 m/日
	有り	3.6m³/10m 以上 4.4m³/10m以下	3 m/日
		4.4m³/10mを超え7.7m³/10m以下	2 m/日
		7.7m³/10mを超え8.1m³/10m以下	1 m/日

（注）1. 上表の作業日当り標準作業量には、コンクリート打設、型枠設置・撤去、鉄筋加工・組立、目地材設置、基礎材設置の作業を含む。
2. 各作業間の重複作業は考慮していない。
3. 養生工は、現場、施工条件等により別途考慮する。

（参考）各作業単独の場合の作業量

作　業　名		作業日当り標準作業量
基礎材設置		155 m²/日
目地板設置		14 m²/日
鉄筋加工･組立		3.5 t/日
型枠設置・撤去		15 m²/日
コンクリート打設	バックホウ（クレーン機能付）打設	8 m³/日
	人力打設	5 m³/日

改　定

工　種　名	設　　定　　内　　容
排水構造物工 （現場打ち水路（本体））	① 現場打ち水路（本体）

コンクリート打設工法	鉄筋の有無	10m当りｺﾝｸﾘｰﾄ使用量	作業日当り標準作業量
バックホウ（クレーン機能付）打設	無し	3.0m³/10m 以上 3.9m³/10m以下	4 m/日
		3.9m³/10mを超え7.4m³/10m以下	3 m/日
		7.4m³/10mを超え9.0m³/10m以下	2 m/日
	有り	3.6m³/10m 以上 5.0m³/10m以下	3 m/日
		5.0m³/10mを超え8.1m³/10m以下	2 m/日
人力打設	無し	3.0m³/10m 以上 3.3m³/10m以下	4 m/日
		3.3m³/10mを超え6.0m³/10m以下	3 m/日
		6.0m³/10mを超え9.0m³/10m以下	2 m/日
	有り	3.6m³/10m 以上 4.6m³/10m以下	3 m/日
		4.6m³/10mを超え8.1m³/10m以下	2 m/日

（注）1. 上表の作業日当り標準作業量には、コンクリート打設、型枠設置・撤去、目地材設置、基礎材設置の作業を含む。
2. 各作業間の重複作業は考慮していない。
3. 養生工は、現場、施工条件等により別途考慮する。

（参考）各作業単独の場合の作業量

作　業　名		作業日当り標準作業量
基礎材設置		155 m²/日
目地板設置		9 m²/日
型枠設置・撤去		15 m²/日
コンクリート打設	バックホウ（クレーン機能付）打設	8 m³/日
	人力打設	5 m³/日

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

P.143

現行

コンクリート削孔工

① コンクリート削孔（電動ハンマドリル 40mm）

適用削孔径	適用削孔深	作業日当り標準作業量
10mm 以上 30mm 未満	30mm 以上 200mm 未満	83 孔/日
	200mm 以上 400mm 以下	63 孔/日

② コンクリート削孔（さく岩機）

適用削孔径	適用削孔深	作業日当り標準作業量
30mm 以上 60mm 未満	100mm 以上 200mm 未満	67 孔/日
	200mm 以上 300mm 未満	50 孔/日
	300mm 以上 400mm 未満	40 孔/日
	400mm 以上 600mm 未満	31 孔/日
	600mm 以上 800mm 未満	24 孔/日
	800mm 以上 1,000mm 未満	19 孔/日
	1,000mm 以上 1,100 以下	17 孔/日

③ コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）

適用削孔径	適用削孔深	作業日当り標準作業量
60mm 以上 100mm 未満	50mm 以上 200mm 未満	12 孔/日
	200mm 以上 400mm 未満	9.2 孔/日
	400mm 以上 600mm 未満	7.4 孔/日
	600mm 以上 800mm 未満	6.2 孔/日
	800mm 以上 1,100mm 以下	5.1 孔/日
100mm 以上 200mm 以下	50mm 以上 200mm 未満	12 孔/日
	200mm 以上 400mm 以下	9.2 孔/日

改定

コンクリート削孔工

① コンクリート削孔（電動ハンマドリル）

適用削孔径	適用削孔深	作業日当り標準作業量
10mm 以上 30mm 未満	30mm 以上 200mm 未満	83 孔/日
	200mm 以上 400mm 以下	63 孔/日

② コンクリート削孔（さく岩機）

適用削孔径	適用削孔深	作業日当り標準作業量
30mm 以上 60mm 未満	100mm 以上 200mm 未満	67 孔/日
	200mm 以上 300mm 未満	50 孔/日
	300mm 以上 400mm 未満	40 孔/日
	400mm 以上 600mm 未満	31 孔/日
	600mm 以上 800mm 未満	24 孔/日
	800mm 以上 1,000mm 未満	19 孔/日
	1,000mm 以上 1,100 以下	17 孔/日

③ コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）

適用削孔径	適用削孔深	作業日当り標準作業量
60mm 以上 100mm 未満	50mm 以上 200mm 未満	12 孔/日
	200mm 以上 400mm 未満	9.2 孔/日
	400mm 以上 600mm 未満	7.4 孔/日
	600mm 以上 800mm 未満	6.2 孔/日
	800mm 以上 1,100mm 以下	5.1 孔/日
100mm 以上 200mm 以下	50mm 以上 200mm 未満	12 孔/日
	200mm 以上 400mm 以下	9.2 孔/日

P.154

現行

場所打杭工（大口径ボーリングマシン工）

① 場所打杭工（大口径ボーリングマシン工）
・・・　該当工種の計算式（1 本当り施工日数）を参照。

② やぐら設置・撤去

施工方法	作業日当り標準作業量
ラフテレーンクレーン使用	1.0 回/日
索道使用	0.67 回/日

改定

場所打杭工（大口径ボーリングマシン工）

① 場所打杭工（大口径ボーリングマシン工）
・・・　該当工種の計算式（1 本当り施工日数）を参照。

② やぐら設置・撤去

作業日当り標準作業量	1.0 回/日

P.155

現行

工　種　名	設　　定　　内　　容
場所打杭工（ダウンザホールハンマ工）	① 場所打杭工（ダウンザホールハンマ工） ・・・　該当工種の計算式（1 本当り施工日数）を参照。 ② やぐら設置・撤去

施工方法	作業日当り標準作業量
ラフテレーンクレーン使用	1.0 回/日
索道使用	0.67 回/日

改定

工　種　名	設　　定　　内　　容
場所打杭工（ダウンザホールハンマ工）	① 場所打杭工（ダウンザホールハンマ工） ・・・　該当工種の計算式（1 本当り施工日数）を参照。 ② やぐら設置・撤去

作業日当り標準作業量	1.0 回/日

備　考

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

P.155

現行

ニューマチックケーソン工

① 刃口金物据付　・・・　現場条件により設定

② 機械掘削　・・・　該当工種の計算式（施工１日（２組）当りの掘削量）を参照。

③ 水荷重（ポンプによる注排水）作業

作業日当り標準作業量	50 t/日

（注）作業日当り標準作業量は、特殊作業員１名の場合。

④ ブローパイプバルブ調整

作業日当り標準作業量	0.16 基/日

（注）作業日当り標準作業量は、潜かん工１名の場合。

⑤ 仮設備の組立・解体　・・・　該当工種の基準内に記載。

⑥ 送気用配管設備組立･解体

管　径	作業日当り標準作業量
100mm	67 m/日
150mm	63 m/日

改定

ニューマチックケーソン工

① 刃口金物据付　・・・　現場条件により設定

② 機械掘削　・・・　該当工種の計算式を参照。

③ 水荷重（ポンプによる注排水）作業

作業日当り標準作業量	50 t/日

（注）作業日当り標準作業量は、特殊作業員１名の場合。

④ ブローパイプバルブ調整

作業日当り標準作業量	0.14 基/日

（注）作業日当り標準作業量は、潜かん工１名の場合。

⑤ 仮設備の組立・解体　・・・　該当工種の基準内に記載。

⑥ 送気用配管設備組立･解体

管　径	作業日当り標準作業量
100mm	59 m/日
150mm	56 m/日

備考

P.156

現行

コンクリート工

① コンクリート

構造物区分	打設方法	設計日打設量区分	作業日当り標準打設量	摘要
無筋・鉄筋構造物	コンクリートポンプ車打設	10m³以上100m³未満	69 m³/日	
		100m³以上500m³未満	280 m³/日	
	人力打設	－	4 m³/日	
小型構造物	クレーン車打設	－	6 m³/日	
	人力打設	－	5 m³/日	
無筋・鉄筋構造物・小型構造物	バックホウ（クレーン機能付）打設	－	8 m³/日	

（注）養生工は、現場、施工条件等により別途考慮する。

② モルタル練

混合比	作業日当り標準作業量
1：3	1.4 m³/日

改定

コンクリート工

① コンクリート

構造物区分	打設方法	設計日打設量区分	作業日当り標準打設量	摘要
無筋・鉄筋構造物	コンクリートポンプ車打設	10m³以上100m³未満	69 m³/日	
		100m³以上500m³未満	280 m³/日	
	人力打設	－	4 m³/日	
小型構造物	クレーン車打設	－	6 m³/日	
	人力打設	－	5 m³/日	
無筋・鉄筋構造物・小型構造物	バックホウ（クレーン機能付）打設	－	8 m³/日	

（注）養生工は、現場、施工条件等により別途考慮する。

② モルタル練

混合比	作業日当り標準作業量
1：3	1.4 m³/日

（注）モルタル練の混合比は１：３（セメント：砂）とする。

備考

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

<table>
<tr><th>ページ番号</th><th>現　　行</th><th>改　　定</th><th>備　　考</th></tr>
<tr><td>(P.158)
昨年度</td><td>
<table>
<tr><td>鋼矢板工
（クレーン引抜工）</td><td>該当工種の基準内に記載。</td></tr>
</table>
</td><td>削除</td><td></td></tr>
<tr><td>P.158</td><td>追加</td><td>
<table>
<tr><th>工　種　名</th><th>設　　定　　内　　容</th></tr>
<tr><td>鉄筋工</td><td>
① 加工
<table>
<tr><th>鉄筋径（㎜）</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr>
<tr><td>10～13</td><td>3.3 t/日</td></tr>
<tr><td>16～25</td><td>5.0 t/日</td></tr>
<tr><td>29～32</td><td>6.6 t/日</td></tr>
<tr><td>35</td><td>7.2 t/日</td></tr>
<tr><td>38</td><td>7.2 t/日</td></tr>
<tr><td>41</td><td>7.2 t/日</td></tr>
<tr><td>51</td><td>9.0 t/日</td></tr>
</table>
② 組立
<table>
<tr><th rowspan="2">鉄筋径
(㎜)</th><th colspan="4">作業日当り標準作業量</th></tr>
<tr><th>一般構造物
トンネル内構造物</th><th>橋梁用床板</th><th>場所打
鉄筋かご</th><th>差筋および
杭頭処理</th></tr>
<tr><td>10～13</td><td>0.8 t/日</td><td>2.2 t/日</td><td>3.3 t/日</td><td>0.7 t/日</td></tr>
<tr><td>16～25</td><td>1.2 t/日</td><td>3.5 t/日</td><td>5.3 t/日</td><td>1.1 t/日</td></tr>
<tr><td>29～32</td><td>1.7 t/日</td><td>－</td><td>7.4 t/日</td><td>1.6 t/日</td></tr>
<tr><td>35</td><td>1.8 t/日</td><td>－</td><td>8.1 t/日</td><td>1.7 t/日</td></tr>
<tr><td>38</td><td>1.9 t/日</td><td>－</td><td>－</td><td>1.8 t/日</td></tr>
<tr><td>41</td><td>2.0 t/日</td><td>－</td><td>－</td><td>1.9 t/日</td></tr>
<tr><td>51</td><td>2.4 t/日</td><td>－</td><td>－</td><td>2.3 t/日</td></tr>
</table>
③ ガス圧接工
<table>
<tr><th>鉄筋径（㎜）</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr>
<tr><td>16～25</td><td>132 箇所/日</td></tr>
<tr><td>29～32</td><td>86 箇所/日</td></tr>
<tr><td>35</td><td>75 箇所/日</td></tr>
<tr><td>38</td><td>69 箇所/日</td></tr>
<tr><td>41</td><td>64 箇所/日</td></tr>
<tr><td>51</td><td>51 箇所/日</td></tr>
</table>
④ 機械式継手
<table>
<tr><th rowspan="2">鉄筋径（㎜）</th><th colspan="2">作業日当り標準作業量</th></tr>
<tr><th>グラウト</th><th>ねじ加工</th></tr>
<tr><td>13</td><td>119 箇所/日</td><td>246 箇所/日</td></tr>
<tr><td>16～25</td><td>103 箇所/日</td><td>186 箇所/日</td></tr>
<tr><td>29～32</td><td>90 箇所/日</td><td>156 箇所/日</td></tr>
<tr><td>35</td><td>87 箇所/日</td><td>147 箇所/日</td></tr>
<tr><td>38</td><td>85 箇所/日</td><td>134 箇所/日</td></tr>
<tr><td>41</td><td>82 箇所/日</td><td>134 箇所/日</td></tr>
<tr><td>51</td><td>78 箇所/日</td><td>123 箇所/日</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>
</td><td>R8.4.1改定</td></tr>
</table>

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考

P.161

現　行

工　種　名	設　　定　　内　　容

土のう工

① 土のう工

作　業　内　容	作業日当り標準作業量
仕拵、積立、撤去	95 袋/日
仕拵、積立	133 袋/日
撤去	333 袋/日

（注）作業日当り標準作業量は、普通作業員４名の場合。

② 土のう積工

作業内容	作業内容	作業日当り標準作業量
小口並べ	仕拵、積立、撤去	5.6 ㎡/日
	仕拵、積立	7.8 ㎡/日
	撤去	20 ㎡/日
側面並べ	仕拵、積立、撤去	6.8 ㎡/日
	仕拵、積立	9.5 ㎡/日
	撤去	24 ㎡/日

（注）作業日当り標準作業量は、普通作業員４名の場合。

大型土のう工

該当工種の基準内に記載。

仮橋・仮桟橋工

① 仮橋・仮桟橋工 設置・撤去

工　　程	作業日当り標準作業量		摘　　要
	設　　置	撤　去	
上　　部	13 t/日	17 t/日	主桁、横桁の質量
覆　工　板	109 ㎡/日	185 ㎡/日	覆工板の面積
高欄(ガードレール型)	24 m/日	40 m/日	高欄の延長
高欄(単管パイプ型)	41 m/日	78 m/日	〃
橋　　脚	8 t/日	10 t/日	注）2
杭　橋　脚	7 t/日	12 t/日	注）3
導　　枠	28 本/日（設置・撤去）		本：杭橋脚打込 1本当り

（注）1. 覆工板は、路面のすり付作業を含まない。
2. 対象質量は、橋脚、枕、ブラケット、つなぎ材等の質量で、高力ボルトの質量は含まない。
3. 対象質量は、枕、ブラケット、つなぎ材等の質量で、高力ボルト及び杭の質量は含まない。

② 杭橋脚打込み・引抜き　・・・　該当工種の基準内に記載。

改　定

工　種　名	設　　定　　内　　容

土のう工

① 土のう積工

作業内容	作業内容	作業日当り標準作業量
小口並べ	製作、積立、撤去	4.4 ㎡/日
	製作、積立	5.9 ㎡/日
	撤去	16 ㎡/日
側面並べ	製作、積立、撤去	5.3 ㎡/日
	製作、積立	7.2 ㎡/日
	撤去	20 ㎡/日

大型土のう工

該当工種の基準内に記載。

仮橋・仮桟橋工

① 仮橋・仮桟橋工 設置・撤去

工　　程	作業日当り標準作業量		摘　　要
	設　　置	撤　去	
上部（Ｈ形鋼主桁）	12 t/日	14 t/日	主桁、横桁の質量
上部（仮設鈑桁）	10 t/日	12 t/日	〃
覆　工　板	97 ㎡/日	151 ㎡/日	覆工板の面積
高欄（ガードレール型）	23 m/日	38 m/日	高欄の延長
高欄（単管パイプ型）	41 m/日	78 m/日	〃
橋　　脚	6 t/日	8 t/日	注）2
杭　橋　脚	7 t/日	12 t/日	注）3
導　　枠	23 本/日（設置・撤去）		本：杭橋脚打込 1本当り

（注）1. 覆工板は、路面のすり付作業を含まない。
2. 対象質量は、橋脚、枕、ブラケット、つなぎ材等の質量で、高力ボルトの質量は含まない。
3. 対象質量は、枕、ブラケット、つなぎ材等の質量で、高力ボルト及び杭の質量は含まない。

② 杭橋脚打込み・引抜き　・・・　該当工種の基準内に記載。

汚濁防止フェンス工

① 汚濁防止フェンス工

作　業　区　分	作業日当り標準作業量
汚濁防止フェンス設置	77 m/日
汚濁防止フェンス撤去	111 m/日

仮囲い設置撤去工

該当工種の基準内に記載。

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

P.162

現行

濁水処理工（一般土木工事）

① 濁水処理設備設置撤去

濁水処理設備能力	作業日当り標準作業量	
	設置	撤去
30～60m³/h	0.33 箇所/日	0.50 箇所/日
100m³/h	0.25 箇所/日	0.33 箇所/日

敷鉄板設置・撤去工

該当工種の基準内に記載。

防塵処理工

該当工種の計算式（1 回当り作業時間）を参照。

改定

濁水処理工（一般土木工事）

① 濁水処理設備設置撤去

濁水処理設備能力	作業日当り標準作業量	
	設置	撤去
30～60m³/h	0.42 箇所/日	0.77 箇所/日

敷鉄板設置・撤去工

該当工種の基準内に記載。

防塵処理工

該当工種の計算式（1 日・1 台当り作業時間）を参照。

備考

P.172

現行

捨石工

① 捨石工

作　業　名	作業日当り標準作業量	摘　　要
捨石投入	76 m³/日	最大作業半径 9m 以下
	67 m³/日	最大作業半径 9m を超え 24m 以下
表面均し	55 m²/日	

改定

捨石工

① 捨石工

作業名	最大作業半径及び設置高さ	作業日当り標準作業量
捨石投入	最大作業半径 7m 以下かつ設置高さ-5m 以上	72 m³/日
	最大作業半径 7m を超え 12m 以下かつ設置高さ-7m 以上	53 m³/日
	最大作業半径 12m を超え 15m 以下かつ設置高さ-7m 以上	42 m³/日
	最大作業半径 7m を超え 15m 以下かつ設置高さ-7m 未満	64 m³/日
	最大作業半径 15m を超え 24m 以下	64 m³/日
表面均し	最大作業半径 7m 以下かつ設置高さ-5m 以上	56 m³/日
	最大作業半径 7m を超え 12m 以下かつ設置高さ-7m 以上	50 m³/日
	最大作業半径 12m を超え 15m 以下かつ設置高さ-7m 以上	45 m³/日
	最大作業半径 15m を超え 24m 以下かつ設置高さ-5m 以上	56 m³/日

備考

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.174			

現　　行

工　種　名	設　　定　　内　　容
堤防除草工	① 除草

作　業　種　別		作業日当り標準作業量
大型自走式	ロングリーチ式	6,670 ㎡/日
遠隔操縦式	刈幅 185cm	6,600 ㎡/日
	刈幅 120cm	4,760 ㎡/日
ハンドガイド式（刈幅 150cm）		5,760 ㎡/日
肩掛式（カッタ径 255mm）		680 ㎡/日
人　　力		240 ㎡/日

② 集草

作　業　種　別		作業日当り標準作業量
遠隔操縦式	集草幅 180cm	11,540 ㎡/日
	集草幅 160cm	7,690 ㎡/日
ハンドガイド式（集草幅 200cm）		8,530 ㎡/日
人　　力		1,180 ㎡/日

③ 梱包

作業日当り標準作業量	12,500 ㎡/日

④ 積込・荷卸

作　業　種　別	作業日当り標準作業量
ダンプトラック（オンロード・ディーゼル・2t 積級）（梱包無し）	2,240 ㎡/日
ダンプトラック（オンロード・ディーゼル・2t 積級）（梱包有り）	5,950 ㎡/日
パッカー車（回転式・積載容量 8m³）	2,720 ㎡/日

改　　定

工　種　名	設　　定　　内　　容
堤防除草工	① 除草

作　業　種　別		作業日当り標準作業量
大型自走式	ロングリーチ式	6,670 ㎡/日
遠隔操縦式	刈幅 185cm	6,600 ㎡/日
	刈幅 110～120cm	4,760 ㎡/日
ハンドガイド式（刈幅 150cm）		5,760 ㎡/日
肩掛式（カッタ径 255mm）		680 ㎡/日
人　　力		240 ㎡/日

② 集草

作　業　種　別		作業日当り標準作業量
遠隔操縦式	集草幅 180cm	11,540 ㎡/日
	集草幅 160cm	7,690 ㎡/日
ハンドガイド式（集草幅 200cm）		8,530 ㎡/日
人　　力		1,180 ㎡/日

③ 梱包

作業日当り標準作業量	12,500 ㎡/日

④ 積込・荷卸

作　業　種　別	作業日当り標準作業量
ダンプトラック（オンロード・ディーゼル）通称 2t 積級（梱包無し）	2,240 ㎡/日
ダンプトラック（オンロード・ディーゼル）通称 2t 積級（梱包有り）	5,950 ㎡/日
パッカー車（回転式）積載容量 8m³	2,720 ㎡/日

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.175			

現　　行

工　種　名	設　　定　　内　　容
堤防除草工	⑤ 運搬（堤防除草）

運搬機種	梱包の有無	DID区間の有無	運搬距離（km）	作業日当り標準作業量（㎡/日）
ダンプトラック（オンロード・ディーゼル・2t積級）	梱包無し	無し	1.0 以下	9,833
			2.5 以下	8,429
			4.0 以下	7,375
			6.0 以下	6,556
			7.5 以下	5,900
			9.5 以下	5,364
			11.0 以下	4,917
			13.0 以下	4,538
			17.0 以下	3,933
			22.0 以下	3,471
			25.0 以下	3,278
			32.5 以下	2,950
			40.0 以下	2,682
		有り	1.0 以下	9,833
			2.5 以下	8,429
			4.0 以下	7,375
			5.5 以下	6,556
			7.0 以下	5,900
			8.5 以下	5,364
			10.0 以下	4,917
			12.0 以下	4,538
			15.5 以下	3,933
			19.0 以下	3,471
			21.5 以下	3,278
			26.0 以下	2,950
			40.0 以下	2,682

（注）ダンプトラックの運転日当り運転時間は、5.9h とする。

改　　定

工　種　名	設　　定　　内　　容
堤防除草工	⑤ 運搬（堤防除草）

運搬機種	梱包の有無	DID区間の有無	運搬距離（km）	作業日当り標準作業量（㎡/日）
ダンプトラック（オンロード・ディーゼル）通称2t積級	梱包無し	無し	1.0 以下	9,833
			2.5 以下	8,429
			4.0 以下	7,375
			6.0 以下	6,556
			7.5 以下	5,900
			9.5 以下	5,364
			11.0 以下	4,917
			13.0 以下	4,538
			17.0 以下	3,933
			22.0 以下	3,471
			25.0 以下	3,278
			32.5 以下	2,950
			40.0 以下	2,682
		有り	1.0 以下	9,833
			2.5 以下	8,429
			4.0 以下	7,375
			5.5 以下	6,556
			7.0 以下	5,900
			8.5 以下	5,364
			10.0 以下	4,917
			12.0 以下	4,538
			15.5 以下	3,933
			19.0 以下	3,471
			21.5 以下	3,278
			26.0 以下	2,950
			40.0 以下	2,682

（注）ダンプトラックの運転日当り運転時間は、5.9h とする。

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.176			

現行

工　種　名	設　　定　　内　　容
堤防除草工	

運搬機種	梱包の有無	DID区間の有無	運搬距離(km)	作業日当り標準作業量(m²/日)
ダンプトラック（オンロード・ディーゼル・2t積級）	梱包有り	無し	1.0 以下	25,652
			2.5 以下	22,692
			4.0 以下	20,345
			6.0 以下	17,879
			7.5 以下	15,946
			9.5 以下	14,390
			11.0 以下	13,409
			13.0 以下	12,292
			17.0 以下	11,132
			22.0 以下	9,833
			25.0 以下	9,077
			32.5 以下	8,310
			40.0 以下	7,763
		有り	1.0 以下	25,652
			2.5 以下	22,692
			4.0 以下	20,345
			5.5 以下	17,879
			7.0 以下	15,946
			8.5 以下	14,390
			10.0 以下	13,409
			12.0 以下	12,292
			15.5 以下	11,132
			19.0 以下	9,833
			21.5 以下	9,077
			26.0 以下	8,310
			40.0 以下	7,108

（注）ダンプトラックの運転日当り運転時間は、5.9h とする。

改定

工　種　名	設　　定　　内　　容
堤防除草工	

運搬機種	梱包の有無	DID区間の有無	運搬距離(km)	作業日当り標準作業量(m²/日)
ダンプトラック（オンロード・ディーゼル）通称2t積級	梱包有り	無し	1.0 以下	25,652
			2.5 以下	22,692
			4.0 以下	20,345
			6.0 以下	17,879
			7.5 以下	15,946
			9.5 以下	14,390
			11.0 以下	13,409
			13.0 以下	12,292
			17.0 以下	11,132
			22.0 以下	9,833
			25.0 以下	9,077
			32.5 以下	8,310
			40.0 以下	7,763
		有り	1.0 以下	25,652
			2.5 以下	22,692
			4.0 以下	20,345
			5.5 以下	17,879
			7.0 以下	15,946
			8.5 以下	14,390
			10.0 以下	13,409
			12.0 以下	12,292
			15.5 以下	11,132
			19.0 以下	9,833
			21.5 以下	9,077
			26.0 以下	8,310
			40.0 以下	7,108

（注）ダンプトラックの運転日当り運転時間は、5.9h とする。

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.177			

現　　行

工　種　名	設　　定　　内　　容
堤防除草工	

運搬機種	DID区間の有無	運搬距離(km)	作業日当り標準作業量(m²/日)
パッカー車（回転式・積載容量8m³）	無し	5.0 以下	15,500
		6.5 以下	10,333
		8.0 以下	8,857
		10.0 以下	7,750
		12.0 以下	6,889
		14.0 以下	6,200
		16.0 以下	5,636
		18.0 以下	5,167
		20.5 以下	4,769
		26.5 以下	4,133
		35.0 以下	3,647
		40.0 以下	3,263
	有り	5.0 以下	15,500
		6.0 以下	10,333
		7.5 以下	8,857
		9.0 以下	7,750
		11.0 以下	6,889
		12.5 以下	6,200
		14.5 以下	5,636
		16.0 以下	5,167
		18.0 以下	4,769
		22.0 以下	4,133
		27.0 以下	3,647
		40.0 以下	3,263

（注）パッカー車の運転日当り運転時間は、6.2h とする。

改　　定

工　種　名	設　　定　　内　　容
堤防除草工	

運搬機種	DID区間の有無	運搬距離(km)	作業日当り標準作業量(m²/日)
パッカー車（回転式）積載容量8m³	無し	5.0 以下	15,500
		6.5 以下	10,333
		8.0 以下	8,857
		10.0 以下	7,750
		12.0 以下	6,889
		14.0 以下	6,200
		16.0 以下	5,636
		18.0 以下	5,167
		20.5 以下	4,769
		26.5 以下	4,133
		35.0 以下	3,647
		40.0 以下	3,263
	有り	5.0 以下	15,500
		6.0 以下	10,333
		7.5 以下	8,857
		9.0 以下	7,750
		11.0 以下	6,889
		12.5 以下	6,200
		14.5 以下	5,636
		16.0 以下	5,167
		18.0 以下	4,769
		22.0 以下	4,133
		27.0 以下	3,647
		40.0 以下	3,263

（注）パッカー車の運転日当り運転時間は、6.2h とする。

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.178			

現　　行

工　種　名	設　　定　　内　　容
堤防除草工	⑥ 除草、集草（人力）、梱包、積込・荷卸（総合）

除草機種	梱包の有無	運搬機械	作業日当り標準作業量（㎡/日）
大型自走式（ロングリーチ式）	有り	ダンプトラック	803
	無し		693
		パッカー車	733
遠隔操縦式（刈幅185cm）	有り	ダンプトラック	802
	無し		692
		パッカー車	732
遠隔操縦式（刈幅120cm）	有り	ダンプトラック	766
	無し		665
		パッカー車	702
ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式（刈幅150cm）	有り	ダンプトラック	788
	無し		681
		パッカー車	720
肩掛式（ｶｯﾀ径255mm）	有り	ダンプトラック	390
	無し		362
		パッカー車	372
人力	有り	ダンプトラック	190
	無し		183
		パッカー車	186

⑦ 除草、集草（機械）、梱包、積込・荷卸（総合）

除草機種	梱包の有無	運搬機械	作業日当り標準作業量（㎡/日）
遠隔操縦式（刈幅185cm）	有り	ダンプトラック	2,057
	無し		1,461
		パッカー車	1,651
遠隔操縦式（刈幅120cm）	有り	ダンプトラック	1,700
	無し		1,271
		パッカー車	1,413
ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式（刈幅150cm）	有り	ダンプトラック	1,856
	無し		1,356
		パッカー車	1,519

改　　定

工　種　名	設　　定　　内　　容
堤防除草工	⑥ 除草、集草（人力）、梱包、積込・荷卸（総合）

除草機種	梱包の有無	運搬機械	作業日当り標準作業量（㎡/日）
大型自走式（ロングリーチ式）	有り	ダンプトラック	803
	無し		693
		パッカー車	733
遠隔操縦式（刈幅185cm）	有り	ダンプトラック	802
	無し		692
		パッカー車	732
遠隔操縦式（刈幅110～120cm）	有り	ダンプトラック	766
	無し		665
		パッカー車	702
ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式（刈幅150cm）	有り	ダンプトラック	788
	無し		681
		パッカー車	720
肩掛式（ｶｯﾀ径255mm）	有り	ダンプトラック	390
	無し		362
		パッカー車	372
人力	有り	ダンプトラック	190
	無し		183
		パッカー車	186

⑦ 除草、集草（機械）、梱包、積込・荷卸（総合）

除草機種	梱包の有無	運搬機械	作業日当り標準作業量（㎡/日）
遠隔操縦式（刈幅185cm）	有り	ダンプトラック	2,057
	無し		1,461
		パッカー車	1,651
遠隔操縦式（刈幅110～120cm）	有り	ダンプトラック	1,700
	無し		1,271
		パッカー車	1,413
ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式（刈幅150cm）	有り	ダンプトラック	1,856
	無し		1,356
		パッカー車	1,519

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
(P.187) 昨年度		削除	

工　種　名	設　　定　　内　　容
ポーリンググラウト工	日当り施工本数（参考） ロッド工法及びパッカー工法の２セット１日当り施工本数は以下により算出する。 ２セット１日当り施工本数（本/日） $N=\dfrac{1}{\dfrac{Tr又はTp}{10}+S\times Q}$ Ｔｒ：ロッド工法 10 孔当り削孔日数（準備含む）（1－1） Ｔｐ：パッカー工法 10 孔当り削孔日数（準備含む）（1－2） Ｓ　：注入工 1m³ 当り注入日数（2－1） Ｑ　：１孔当り平均注入量（m³） 1－1　ロッド工法 10 孔当り削孔日数（準備含む）（Ｔｒ）は次式のとおりとする。 Ｔｒ＝α×Ｔａ＋ 0.9（日）（2 セット当り） Ｔａ：削孔長別 10 孔当り削孔日数（準備含まず）（下表参照） 0.9：準備等の日数 α　：土質係数は、掘削する土質毎の係数をを下記のとおり加重平均して算出する。α は小数第２位を四捨五入し小数第１位とし、下表より選択する。 $\alpha=\dfrac{\alpha1\times L1+\alpha2\times L2}{L1+L2}$ ここで、α1：砂質土及び粘性土の土質係数(=1.0) α2：レキ質土の土質係数（=2.5） L1：砂質土及び粘性土の総削孔長（m） L2：レキ質土の総削孔長（m）

土質係数（α）	1.0
	1.1
	1.2
	1.3
	1.4
	1.5
	1.6
	1.7
	1.8

ロッド工法　削孔長別 10 孔当り削孔日数（Ｔａ）（2 セット当り）

削孔長	単位	数 量
1.0m 以上　2.0m 未満	日	0.2
2.0m 以上　3.0m 未満	日	0.4
3.0m 以上　4.0m 未満	日	0.6
4.0m 以上　5.0m 未満	日	0.7
5.0m 以上　6.0m 未満	日	0.9
6.0m 以上　7.0m 未満	日	1.0
7.0m 以上　8.0m 未満	日	1.2
8.0m 以上　9.0m 未満	日	1.4
9.0m 以上 10.0m 未満	日	1.5
10.0m 以上 11.0m 未満	日	1.7
11.0m 以上 12.0m 未満	日	1.8
12.0m 以上 13.0m 未満	日	2.0
13.0m 以上 14.0m 未満	日	2.2
14.0m 以上 15.0m 未満	日	2.3
15.0m 以上 16.0m 未満	日	2.5

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

<table>
<tr><th>ページ番号</th><th>現　　行</th><th>改　　定</th><th>備　　考</th></tr>
<tr>
<td>(P.188)
昨年度</td>
<td>
<table>
<tr><th>工　種　名</th><th>設　　定　　内　　容</th></tr>
<tr><td>ポーリンググラウト工</td><td>
1−2　パッカー工法 10 孔当り削孔日数（準備含む）（Ｔｐ）は次表のとおりとする。
パッカー工法 削孔長別 10 孔当り削孔日数（Ｔｐ）（2 セット当り）
<table>
<tr><th>削孔長</th><th>単位</th><th>数　　量</th></tr>
<tr><td>0.2m 未満</td><td>日</td><td>0.8</td></tr>
<tr><td>0.2m 以上 0.4m 未満</td><td>日</td><td>1.0</td></tr>
<tr><td>0.4m 以上 0.6m 未満</td><td>日</td><td>1.1</td></tr>
<tr><td>0.6m 以上 0.8m 未満</td><td>日</td><td>1.3</td></tr>
<tr><td>0.8m 以上 1.0m 未満</td><td>日</td><td>1.5</td></tr>
<tr><td>1.0m 以上 1.2m 未満</td><td>日</td><td>1.7</td></tr>
<tr><td>1.2m 以上 1.4m 未満</td><td>日</td><td>1.8</td></tr>
<tr><td>1.4m 以上 1.6m 未満</td><td>日</td><td>2.0</td></tr>
<tr><td>1.6m 以上 1.8m 未満</td><td>日</td><td>2.2</td></tr>
<tr><td>1.8m 以上 2.0m 未満</td><td>日</td><td>2.3</td></tr>
</table>
2−1　注入工 1m^3 当り注入日数（Ｓ）は次表のとおりとする。
注入工 1m^3 当り注入日数（Ｓ）（2 セット当り）
<table>
<tr><th>注　入　日　数　（Ｓ）</th></tr>
<tr><td>0.12</td></tr>
</table>
(注)1.　上表の注入日数は 1 分間当り注入量を 0.01m^3/min とした場合である。
1 分間当り注入量を、試験注入等を行って決める場合は、次の式より
注入日数を求めるものとする。
Ｓ＝1/（408 ×ｑ×2）
ｑ：1 分間当り注入量（m^3/min）
2.　上記算出式により算出するＳは小数第 3 位を四捨五入し小数第 2 位とする。

3−1　注入設備の据付・解体の施工日数は 2 日とする。（2 セット分）
</td></tr>
</table>
</td>
<td>削除</td>
<td></td>
</tr>
</table>

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号 P.194

現行

工　種　名	設　　定　　内　　容
笠コンクリートブロック据付工	① 笠コンクリートブロック

中詰ｺﾝｸﾘｰﾄ型枠の有無	中詰ｺﾝｸﾘｰﾄ 100m 当り設計量	作業日当り標準作業量
無し	11m³以上 16m³未満	25 m/日
	16m³以上 23m³未満	24 m/日
	23m³以上 31m³未満	23 m/日
	31m³以上 39m³未満	21 m/日
	39m³以上 47m³未満	20 m/日
	47m³以上 56m³未満	19 m/日
	56m³以上 65m³未満	18 m/日
	65m³以上 75m³未満	17 m/日
	75m³以上 85m³未満	16 m/日
	85m³以上 96m³未満	15 m/日
有り	11m³以上 16m³未満	16 m/日
	16m³以上 23m³未満	15 m/日
	23m³以上 31m³未満	15 m/日
	31m³以上 39m³未満	14 m/日
	39m³以上 47m³未満	14 m/日
	47m³以上 56m³未満	13 m/日
	56m³以上 65m³未満	13 m/日
	65m³以上 75m³未満	12 m/日
	75m³以上 85m³未満	12 m/日
	85m³以上 96m³未満	11 m/日

（参考）各作業単独の場合の作業量

作　業　名	作業日当り標準作業量
高さ調整金具取付	107 m/日
笠コンクリートブロック据付	56 m/日
ブロック連結	122 m/日
中詰コンクリート工	30 m³/日
型枠設置	67 m/日
型枠撤去	111 m/日

改定

工　種　名	設　　定　　内　　容
笠コンクリートブロック据付工	① 笠コンクリートブロック

中詰ｺﾝｸﾘｰﾄ 100m 当り設計量	作業日当り標準作業量	
	中詰コンクリート底板版型枠無し	中詰コンクリート底板版型枠有り
16m³以上 19m³未満	19 m/日	12 m/日
19m³以上 22m³未満	19 m/日	12 m/日
22m³以上 25m³未満	18 m/日	12 m/日
25m³以上 28m³未満	18 m/日	12 m/日
28m³以上 31m³未満	18 m/日	12 m/日
31m³以上 34m³未満	17 m/日	11 m/日
34m³以上 37m³未満	17 m/日	11 m/日
37m³以上 41m³未満	17 m/日	11 m/日
41m³以上 45m³未満	16 m/日	11 m/日
45m³以上 49m³未満	16 m/日	11 m/日
49m³以上 53m³未満	15 m/日	11 m/日
53m³以上 57m³未満	15 m/日	10 m/日
57m³以上 62m³未満	15 m/日	10 m/日
62m³以上 67m³未満	14 m/日	10 m/日
67m³以上 72m³未満	14 m/日	9.8 m/日
72m³以上 77m³未満	14 m/日	9.6 m/日
77m³以上 82m³未満	13 m/日	9.5 m/日
82m³以上 85m³未満	13 m/日	9.3 m/日

（参考）各作業単独の場合の作業量

作　業　名	作業日当り標準作業量
高さ調整金具取付	80 m/日
笠コンクリートブロック据付	44 m/日
ブロック連結	102 m/日
中詰コンクリート工	26 m³/日
型枠設置	54 m/日
型枠撤去	86 m/日

備考

（P.194）昨年度

現行

連節ブロックの水中吊落し工	① 連節ブロックの水中吊落し工

作業日当り標準作業量	187 m²/日

改定

削除

備考

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

P.200

現行

工　種　名	設　　定　　内　　容
地すべり防止工 （かご工）	① かご工

かご種類	かご寸法	作業日当り 標準作業量
ふとんかご	高さ 40cm×幅 120cm	9 m/日
	高さ 50cm×幅 120cm	7 m/日
	高さ 60cm×幅 120cm	6 m/日
	高さ 100cm×幅 120cm	4 m/日
	高さ 50cm×幅 200cm	4 m/日
	高さ 100cm×幅 200cm	2 m/日

改定

工　種　名	設　　定　　内　　容
地すべり防止工 （かご工）	① かご工

かご種類	かご寸法	作業日当り 標準作業量
ふとんかご	高さ 40cm×幅 120cm	8 m/日
	高さ 50cm×幅 120cm	6 m/日
	高さ 60cm×幅 120cm	5 m/日
	高さ 100cm×幅 120cm	4 m/日
	高さ 50cm×幅 200cm	4 m/日
	高さ 100cm×幅 200cm	2 m/日

P.201

現行

半たわみ性（コンポジット）舗装工	① セメントミルク浸透

作業日当り標準作業量	1,050 m^2/日

改定

半たわみ性（コンポジット）舗装工

① セメントミルク浸透

作業名	総施工量	作業日当り標準作業量
浸透作業	200 m^2以下	760 m^2/日
	200 m^2超え	893 m^2/日

（注）総施工量は条件区分を問わず１工事当りの総数量とする。

P.202

現行

工　種　名	設　　定　　内　　容
コンクリート舗装工	① コンクリート舗装工

作　業　種　別		作業日当り標準作業量
機械舗設	１車線施工	111 m^2/日
	２車線同時施工	152 m^2/日
人力舗設	平均舗設厚20cm以上	47 m^2/日
	平均舗設厚20cm未満	69 m^2/日

連続鉄筋コンクリート舗装工

① 連続鉄筋コンクリート舗装工

作業日当り標準作業量	146 m^2/日

（注）作業日当り標準作業量は、目地切り・清掃の有無にかかわらず適用できる。

踏掛版設置工

① 踏掛版設置

鉄　筋　量	作業日当り標準作業量
0.08t/m^3以上0.10t/m^3未満	5.1 m^3/日
0.10t/m^3以上0.16t/m^3未満	4.4 m^3/日
0.16t/m^3以上0.24t/m^3未満	3.6 m^3/日
0.24t/m^3以上0.30t/m^3未満	2.2 m^3/日
0.30t/m^3以上0.36t/m^3未満	1.4 m^3/日

（注）上表の作業日当り標準作業量には、コンクリート、型枠、鉄筋、目地材の作業を含む。

改定

工　種　名	設　　定　　内　　容
コンクリート舗装工	① コンクリート舗装工

作　業　種　別		作業日当り標準作業量
機械舗設	１車線施工	111 m^2/日
	２車線同時施工	152 m^2/日
人力舗設	平均舗設厚20cm以上	47 m^2/日
	平均舗設厚20cm未満	69 m^2/日

連続鉄筋コンクリート舗装工

① 連続鉄筋コンクリート舗装工

作業日当り標準作業量	146 m^2/日

（注）作業日当り標準作業量は、目地切り・清掃の有無にかかわらず適用できる。

踏掛版設置工

① 踏掛版設置

鉄　筋　量	作業日当り標準作業量
0.08t/m^3以上0.10t/m^3未満	5.1 m^3/日
0.10t/m^3以上0.16t/m^3未満	4.4 m^3/日
0.16t/m^3以上0.24t/m^3未満	3.6 m^3/日
0.24t/m^3以上0.30t/m^3未満	2.2 m^3/日
0.30t/m^3以上0.36t/m^3未満	1.4 m^3/日

（注）1. 上表の作業日当り標準作業量には、目地板設置から鉄筋加工・組立、型枠設置撤去、コンクリート打設、コンクリート養生までの作業を含む。
2. 上表の作業日当り標準作業量は、ゴム支承、縦目地、横目地の有無にかかわらず適用できる。

備考

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

<table>
<tr><th>ページ番号</th><th>現　　行</th><th>改　　定</th><th>備　　考</th></tr>
<tr><td>(P.214)
昨年度</td><td>
<table>
<tr><td>アスファルト注入工</td><td>該当工種の基準内に記載。</td></tr>
</table>
</td><td>削除</td><td></td></tr>
<tr><td>P.218</td><td>追加</td><td>
<table>
<tr><th>工　種　名</th><th>設　　定　　内　　容</th></tr>
<tr><td>塗装塗替足場工</td><td>
① 足場工
<table>
<tr><th colspan="2">作業名</th><th>作業日当り
標準作業量</th></tr>
<tr><td rowspan="2">パイプ吊足場
（朝顔・板張・シート防護含む）</td><td>桁高1.5m以上</td><td>18 m²/日</td></tr>
<tr><td>桁高1.5m未満</td><td>21 m²/日</td></tr>
<tr><td rowspan="2">システム（パネル式）吊足場
（朝顔・板張・シート防護含む）</td><td>桁高1.5m以上</td><td>25 m²/日</td></tr>
<tr><td>桁高1.5m 未満</td><td>29 m²/日</td></tr>
<tr><td rowspan="2">チェーン盛替</td><td>パイプ吊足場</td><td>136 m²/日</td></tr>
<tr><td>システム（パネル式）吊足場</td><td>148 m²/日</td></tr>
</table>
（注）作業日当り標準施工量は、パイプ吊足場：橋りょう特殊工５名、
システム（パネル式）吊足場：橋りょう特殊工６名、
チェーン盛替：橋りょう特殊工４名の場合
</td></tr>
<tr><td>橋梁補修工
（高力ボルト当て
板鋼桁補強工）</td><td>
① 芯出し調整工
<table>
<tr><td>作業日当り標準作業量</td><td>7.7 m²/日</td></tr>
</table>
② 鋼桁孔明工
<table>
<tr><td>歩掛区分</td><td>作業日当り標準作業量</td></tr>
<tr><td>400N 鋼</td><td>95 本/日</td></tr>
<tr><td>490N 鋼</td><td>81 本/日</td></tr>
</table>
③ 補強部材取付工
<table>
<tr><td>歩掛区分</td><td>作業日当り標準作業量</td></tr>
<tr><td>W≦20</td><td>15 部材/日</td></tr>
<tr><td>20＜W≦40</td><td>10 部材/日</td></tr>
</table>
（注）W：補強部材の平均質量
④ 高力ボルト本締め工
<table>
<tr><td>歩掛区分</td><td>作業日当り標準作業量</td></tr>
<tr><td>トルシア形高力ボルト</td><td>114 本/日</td></tr>
<tr><td>高力六角ボルト</td><td>123 本/日</td></tr>
</table>
⑤ 補修塗装工
<table>
<tr><td>作業種別</td><td>作業日当り標準作業量</td></tr>
<tr><td>素地調整</td><td>3.0 m²/日</td></tr>
<tr><td>下塗り</td><td>20 m²/日</td></tr>
<tr><td>中塗り</td><td>20 m²/日</td></tr>
<tr><td>上塗り</td><td>20 m²/日</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>
</td><td></td></tr>
</table>

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.220			

現　　行

工　種　名	設　　定　　内　　容
道路除草工	① 除草

作業形態	飛び石防護の有無	作業日当り標準作業量
肩掛け式	有り	2,250 ㎡/日
	無し	2,250 ㎡/日
ハンドガイド式	－	6,120 ㎡/日
人力除草	－	1,000 ㎡/日

② 集草

作業日当り標準作業量	2,760 ㎡/日

③ 積込運搬

(1) 積込

作業日当り標準作業量	2,050 ㎡/日

(2) 運搬

運搬機種・規格	運搬距離 (km)	作業日当り標準作業量 (㎡/日)
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］2t積級	6.5 以下	4,917
	11.5 以下	4,214
	14.5 以下	3,688
	17.5 以下	3,278
	19.5 以下	2,950
	21.5 以下	2,682
	23.5 以下	2,458
	26.0 以下	2,185
	28.0 以下	1,967
	30.0 以下	1,788
	32.0 以下	1,639
	34.5 以下	1,475
	35.0 以下	1,341
パッカー車［回転式］積載容量4m³	4.0 以下	3,100
	7.0 以下	2,818
	10.0 以下	2,583
	14.0 以下	2,296
	17.5 以下	2,067
	21.0 以下	1,879
	25.0 以下	1,676
	29.0 以下	1,512
	33.0 以下	1,348
	35.0 以下	1,216

(注) 1. ダンプトラックの運転日当り運転時間は、5.9h とする。
2. パッカー車の運転日当り運転時間は、6.2h とする。

改　　定

工　種　名	設　　定　　内　　容
道路除草工	① 除草

作業形態	飛び石防護の有無	作業日当り標準作業量
肩掛け式	有り	2,250 ㎡/日
	無し	2,250 ㎡/日
ハンドガイド式	－	6,120 ㎡/日
人力除草	－	1,000 ㎡/日

② 集草

作業日当り標準作業量	2,760 ㎡/日

③ 積込運搬

(1) 積込

作業日当り標準作業量	2,050 ㎡/日

(2) 運搬

運搬機種・規格	運搬距離 (km)	作業日当り標準作業量 (㎡/日)
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］通称2t積級	6.5 以下	4,917
	11.5 以下	4,214
	14.5 以下	3,688
	17.5 以下	3,278
	19.5 以下	2,950
	21.5 以下	2,682
	23.5 以下	2,458
	26.0 以下	2,185
	28.0 以下	1,967
	30.0 以下	1,788
	32.0 以下	1,639
	34.5 以下	1,475
	35.0 以下	1,341
パッカー車［回転式］積載容量4m³	4.0 以下	3,100
	7.0 以下	2,818
	10.0 以下	2,583
	14.0 以下	2,296
	17.5 以下	2,067
	21.0 以下	1,879
	25.0 以下	1,676
	29.0 以下	1,512
	33.0 以下	1,348
	35.0 以下	1,216

(注) 1. ダンプトラックの運転日当り運転時間は、5.9h とする。
2. パッカー車の運転日当り運転時間は、6.2h とする。

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.221			

現　　行

工　種　名	設　　定　　内　　容
道路除草工	④ 機械除草（肩掛式）・集草・積込運搬

運搬機種・規格	運搬距離（km）	作業日当り標準作業量（㎡/日）
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］2t積級	6.5 以下	990
	11.5 以下	958
	14.5 以下	928
	17.5 以下	899
	19.5 以下	873
	21.5 以下	848
	23.5 以下	824
	26.0 以下	791
	28.0 以下	760
	30.0 以下	732
	32.0 以下	706
	34.5 以下	674
	35.0 以下	644
パッカー車［回転式］積載容量4m³	4.0 以下	885
	7.0 以下	861
	10.0 以下	838
	14.0 以下	805
	17.5 以下	775
	21.0 以下	747
	25.0 以下	712
	29.0 以下	681
	33.0 以下	646
	35.0 以下	614

（注）1. ダンプトラックの運転日当り運転時間は、5.9h とする。
2. パッカー車の運転日当り運転時間は、6.2h とする。

⑤ 機械除草（肩掛式）・集草

作業日当り標準作業量	1,240 ㎡/日

改　　定

工　種　名	設　　定　　内　　容
道路除草工	④ 機械除草（肩掛式）・集草・積込運搬

運搬機種・規格	運搬距離（km）	作業日当り標準作業量（㎡/日）
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］通称2t積級	6.5 以下	990
	11.5 以下	958
	14.5 以下	928
	17.5 以下	899
	19.5 以下	873
	21.5 以下	848
	23.5 以下	824
	26.0 以下	791
	28.0 以下	760
	30.0 以下	732
	32.0 以下	706
	34.5 以下	674
	35.0 以下	644
パッカー車［回転式］積載容量4m³	4.0 以下	885
	7.0 以下	861
	10.0 以下	838
	14.0 以下	805
	17.5 以下	775
	21.0 以下	747
	25.0 以下	712
	29.0 以下	681
	33.0 以下	646
	35.0 以下	614

（注）1. ダンプトラックの運転日当り運転時間は、5.9h とする。
2. パッカー車の運転日当り運転時間は、6.2h とする。

⑤ 機械除草（肩掛式）・集草

作業日当り標準作業量	1,240 ㎡/日

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.222			

現　　行

工　種　名	設　　定　　内　　容
道路除草工	⑥ 機械除草（ハンドガイド式）・集草・積込運搬

運搬機種・規格	運搬距離（km）	作業日当り標準作業量（m²/日）
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］2t積級	6.5 以下	1,372
	11.5 以下	1,311
	14.5 以下	1,255
	17.5 以下	1,204
	19.5 以下	1,156
	21.5 以下	1,113
	23.5 以下	1,072
	26.0 以下	1,017
	28.0 以下	967
	30.0 以下	922
	32.0 以下	880
	34.5 以下	831
	35.0 以下	786
パッカー車［回転式］積載容量4m³	4.0 以下	1,179
	7.0 以下	1,136
	10.0 以下	1,096
	14.0 以下	1,040
	17.5 以下	991
	21.0 以下	945
	25.0 以下	891
	29.0 以下	842
	33.0 以下	789
	35.0 以下	742

（注）1. ダンプトラックの運転日当り運転時間は、5.9h とする。
2. パッカー車の運転日当り運転時間は、6.2h とする。

⑦ 機械除草（ハンドガイド式）・集草

作業日当り標準作業量	1,902 m²/日

改　　定

工　種　名	設　　定　　内　　容
道路除草工	⑥ 機械除草（ハンドガイド式）・集草・積込運搬

運搬機種・規格	運搬距離（km）	作業日当り標準作業量（m²/日）
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］通称2t積級	6.5 以下	1,372
	11.5 以下	1,311
	14.5 以下	1,255
	17.5 以下	1,204
	19.5 以下	1,156
	21.5 以下	1,113
	23.5 以下	1,072
	26.0 以下	1,017
	28.0 以下	967
	30.0 以下	922
	32.0 以下	880
	34.5 以下	831
	35.0 以下	786
パッカー車［回転式］積載容量4m³	4.0 以下	1,179
	7.0 以下	1,136
	10.0 以下	1,096
	14.0 以下	1,040
	17.5 以下	991
	21.0 以下	945
	25.0 以下	891
	29.0 以下	842
	33.0 以下	789
	35.0 以下	742

（注）1. ダンプトラックの運転日当り運転時間は、5.9h とする。
2. パッカー車の運転日当り運転時間は、6.2h とする。

⑦ 機械除草（ハンドガイド式）・集草

作業日当り標準作業量	1,902 m²/日

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

P.225

現行

トンネル漏水対策工	① 面導水	
	作業日当り標準作業量	34 m²/日
	② 線導水	
	作業日当り標準作業量	10 m/日

改定

トンネル漏水対策工	① 面導水	
	作業日当り標準作業量	31 m²/日
	② 線導水（溝切り工）	
	作業日当り標準作業量	8.6 m/日

（注）コンクリート殻の集積場所までの現場内小運搬 180m 程度を含む。

③ 線導水（導水樋工）

導水幅	作業日当り標準作業量
300mm 以下	14 m/日
300mm 超え 500mm 以下	13 m/日
500mm 超え 700mm 以下	12 m/日
700mm 超え 1,000mm 以下	11 m/日

P.226

追加

工　種　名	設　定　内　容
トンネル補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工法））	① トンネル補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工法））

数　量		作業日当り標準作業量
1 トンネル当り補修延べ延長	25m を超える場合	8.5 m/日
	20m を超え 25m 以下の場合	7.3 m/日
	15m を超え 20m 以下の場合	5.7 m/日
	11m を超え 15m 以下の場合	4.2 m/日
	8m を超え 11m 以下の場合	3.0 m/日
	6m を超え 8m 以下の場合	2.1 m/日
	4m を超え 6m 以下の場合	1.5 m/日
	2m を超え 4m 以下の場合	1.0 m/日
	1m を超え 2m 以下の場合	0.67 m/日
	1m 以下の場合	0.33 m/日

工　種　名	設　定　内　容
トンネル補修工（断面修復工（左官工法））	① トンネル補修工（断面修復工（左官工法））

数　量		作業日当り標準作業量	
		鉄筋ケレン・防錆処理を含む	鉄筋ケレン・防錆処理を含まない
1 トンネル当り修復延べ体積	0.1m³を超える場合	0.036 m³/日	0.038 m³/日
	0.07m³を超え 0.1m³以下の場合	0.025 m³/日	0.027 m³/日
	0.05m³を超え 0.07m³以下の場合	0.017 m³/日	0.018 m³/日
	0.03m³を超え 0.05m³以下の場合	0.011 m³/日	0.012 m³/日
	0.01m³を超え 0.03m³以下の場合	0.006 m³/日	0.007 m³/日
	0.01m³を超える場合	0.003 m³/日	0.003 m³/日

工　種　名	設　定　内　容
トンネル補修工（剥落防止対策工（可視繊維シート接着工））	① トンネル補修工（剥落防止対策工（可視繊維シート接着工））

工　程	作業日当り標準作業量
下地処理	52 m²/日
プライマー塗布	56 m²/日
不陸修正	41 m²/日
シート接着（含浸接着剤下塗り・上塗り含む）	17 m²/日
仕上げ塗装	56 m²/日

備　考

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
(P.226) 昨年度		削除	

工　種　名	設　　定　　内　　容
共同溝工(1) (構造物単位)	

① 共同溝工(1層1連　土被り：1.5＜DH≦3.0)適用歩掛

歩掛区分	作業日当り標準作業量
①	3.6 m^3/日
②	3.8 m^3/日
③	3.2 m^3/日
④	3.3 m^3/日

② 共同溝工(1層2連　土被り：1.5＜DH≦3.0)適用歩掛

歩掛区分	作業日当り標準作業量
③	3.9 m^3/日
④	4.0 m^3/日

③ 共同溝工(1層2連　土被り：3.0＜DH≦5.0)適用歩掛

歩掛区分	作業日当り標準作業量
⑤	4.7 m^3/日
⑥	4.8 m^3/日
⑦	4.5 m^3/日
⑧	4.5 m^3/日

(注) 1. 上表の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。
なお、鉄筋工及び防水工・防水層保護工については、別途計上する。
・基礎砕石工　敷均し・転圧
・型枠工（均しコンクリート）　製作・設置・撤去
・コンクリート工（均しコンクリート）　打設・養生
・型枠工（歩床部コンクリート）　製作・設置・撤去
・コンクリート工（歩床部コンクリート）　打設・養生
・型枠工（躯体部コンクリート）　製作・設置・撤去
・コンクリート工（躯体部コンクリート）　打設・養生
・足場・支保工　設置・撤去
・伸縮継手　目地・止水板設置

2. 上表の作業日当り標準作業量は、作業の重複を考慮した1スパンでの値であり、工程の算出にあたっては、施工場所、スパン数を考慮して決定するものとする。
3. 作業日当り標準作業量は、基礎砕石工（基礎砕石）、コンクリート工（均しコンクリート・歩床部コンクリート）、伸縮継手（目地・止水板）、足場の施工の有無にかかわらず適用できる。
4. コンクリートの養生は、散水、給熱を問わず適用する。
5. 上表の作業日当り標準作業量は、本体コンクリート（躯体部）換算値である。
6. 上表の歩掛区分は、該当工種に記載。

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
(P.227) 昨年度		削除	

工　種　名	設　　定　　内　　容
共同溝工(2)	

① 躯体部コンクリートポンプ車打設

作業日当り標準作業量	87 ㎥/日

② 掘削工

土 留 方 式	作業日当り標準作業量
土 留 覆 工	124 ㎥/日
土 留 開 放	171 ㎥/日

③ ダンプトラック運搬

DID 区間の有無	運搬距離 (km)	作業日当り標準作業量 (㎥/日)
無し	1.5 以下	67
	2.5 以下	59
	4.5 以下	48
	5.5 以下	42
	7.0 以下	38
	9.0 以下	31
	12.5 以下	26
	18.5 以下	21
	34.0 以下	16
	60.0 以下	11
有り	1.5 以下	67
	2.5 以下	59
	4.0 以下	48
	5.0 以下	42
	6.5 以下	37
	8.5 以下	31
	11.5 以下	26
	16.5 以下	21
	26.5 以下	16
	60.0 以下	11

④ 伸縮継手

作業内容	作業日当り標準作業量
止水板設置	21 m/日
目地材設置	24 ㎡/日

(注) 作業日当り標準作業量は、型わく工1名の場合

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
(P.228) 昨年度		削除	

工　種　名	設　　定　　内　　容
共同溝工(2)	⑤ 防水工・防水層保護工

作　業　名				作業日当り 標準作 業日数
防水工	一般部及び換気部	底頂部	－	83 ㎡/日
		側　部	内防水	34 ㎡/日
			外防水	53 ㎡/日
	特殊部	底頂部	－	29 ㎡/日
		側　部	内防水	32 ㎡/日
			外防水	43 ㎡/日
防水層保護工	一般部及び換気部	底頂部	－	200 ㎡/日
		側　部	－	63 ㎡/日
	特殊部	底頂部	－	83 ㎡/日
		側　部	－	53 ㎡/日

⑥ 埋戻工

施　工　区　分	作業日当り標準作業量
施工区分①（人力・水締め）	4.8 ㎥/日
施工区分②（ブルドーザ・振動ローラ＋タンパ）	30 ㎥/日
施工区分③（ブルドーザ・タイヤローラ）	50 ㎥/日

⑦ 基礎砕石工

作業日当り標準作業量	167 ㎡/日

⑧ 足場・支保工

作　業　種　別	支保耐力（f）	作業日当り標準作業量
足場工	－	67 掛㎡/日
パイプサポート支保設置撤去	f ≦40kN/㎡	38 空㎥/日
	40kN/㎡＜ f ≦60kN/㎡	24 空㎥/日
くさび結合支保設置撤去	f ≦40kN/㎡	71 空㎥/日
	40kN/㎡＜ f ≦80kN/㎡	48 空㎥/日

⑨ 型枠工

作　業　内　容	作業日当り標準作業量
一般型枠　製作・設置・撤去	26 ㎡/日
均し基礎コンクリート型枠　製作・設置・撤去	43 ㎡/日
撤去しない埋設型枠　製作・設置	42 ㎡/日
歩床部型枠　製作・設置・撤去	63 ㎡/日

⑩ 人力打設（歩床部）

作業日当り標準作業量	7.1 ㎥/日

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

(P.229) 昨年度

現行

工　種　名	設　　定　　内　　容
共同溝工(2)	⑪ 養生工 打設条件 / 作業日当り標準作業量 躯体部 / 77 m³/日 均しコンクリート部 / 32 m³/日 歩床部 / 16 m³/日 (注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合 ⑫ 覆工板開閉作業 作業日当り標準作業量 / 36 m²/日
防水工・防水層保護工	共同溝工(2) ⑤ 防水工・防水層保護工による。

改定

削除

備考

P.230

現行

工　種　名	設　　定　　内　　容
トンネル工(ＮＡＴＭ) [発破工法] トンネル工(ＮＡＴＭ) [機械掘削工法]	① 掘削工等・・・該当工種の基準内に記載。(時間当り掘削量) ② 覆工コンクリート等・・・該当工種の基準内に記載。 ③ インバート工 作業種別 / 作業日当り標準作業量 インバート工 掘削工～コンクリート工まで / 2.4 m/日 (注) 上表は、インバート厚が50cmの場合で、鉄筋は無筋の場合の標準作業量である。 ④ インバート敷均し・締固め工(路床) 作業日当り標準作業量 / 177 m³/日 ⑤ 埋戻し材の積込み 作業日当り標準作業量 / 131 m³/日
トンネル濁水処理工	① 濁水処理設備設置・撤去 作業内容 / 1箇所当り標準作業量 設　置 / 4 日/箇所 撤　去 / 3 日/箇所
トンネル工(ＮＡＴＭ) 仮設備工 (防音扉工)	① 防音扉設置・撤去 作業内容 / 作業日当り標準作業量 設　置 / 35 m²/日 撤　去 / 49 m²/日

改定

工　種　名	設　　定　　内　　容
トンネル工(ＮＡＴＭ) [発破工法] トンネル工(ＮＡＴＭ) [機械掘削工法]	① 掘削工等・・・該当工種の基準内に記載。(時間当り掘削量) ② 覆工コンクリート等・・・該当工種の基準内に記載。 ③ インバート工 作業種別 / 作業日当り標準作業量 インバート工 掘削工～コンクリート工まで / 2.2 m/日 (注) 上表は、インバート厚が50cmの場合で、鉄筋は無筋の場合の標準作業量である。 ④ インバート敷均し・締固め工(路床) 作業日当り標準作業量 / 167 m³/日 ⑤ 埋戻し材の積込み 作業日当り標準作業量 / 123 m³/日
トンネル濁水処理工	① 濁水処理設備設置・撤去 作業内容 / 1箇所当り標準作業量 設　置 / 4.3 日/箇所 撤　去 / 3.4 日/箇所
トンネル工(ＮＡＴＭ) 仮設備工 (防音扉工)	① 防音扉設置・撤去 作業内容 / 作業日当り標準作業量 設　置 / 33 m²/日 撤　去 / 47 m²/日

備考

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.233			

現　　行

工　種　名	設　　定　　内　　容
ＰＣ橋架設工	① トラッククレーンによる架設　･･･　該当工種の基準内に記載。 ② 架設桁による架設 (1) 桁架設、架設機械設備据付･解体、 架設機械移動、軌道設置･撤去　･･･　該当工種の基準内に記載。 (2) アンカー工

作業日当り標準作業量	3.3 箇所/日

③ ＰＣ橋架設工（横組工、ＰＣコンポ橋）

作　業　種　別		作業日当り標準作業量	摘　　要
コンクリート工		40 m^3/日	横組工
鉄筋工		1.1 t/日	横組工
ＰＣ工	プレテンション桁	155 m/日	横組工
	ポストテンション桁	157 m/日	横組工
緊張工		27 ケーブル/日	横組工
ＰＣ板支承工		250 m/日	ＰＣコンポ橋用
ＰＣ板仮置工		120 枚/日	ＰＣコンポ橋用
ＰＣ板敷設工		50 枚/日	ＰＣコンポ橋用
継目工		1,000 m/日	ＰＣコンポ橋用
型枠工		8 m^2/日	ＰＣコンポ橋用

（注）上表の作業日当り標準作業量は、ＰＣ橋架設工の一連作業における各作業に適用する。

④ ＰＣ橋架設工（足場工及び防護工）

作　業　名				作業日当り標準作業量	編成人員（橋梁特殊工）
桁下足場	ポストテンション桁	両側朝顔	桁高 1.1≦H<1.5	42 m^2/日	5 人
			桁高 1.5≦H	36 m^2/日	5 人
		片側朝顔	桁高 1.1≦H<1.5	67 m^2/日	6 人
			桁高 1.5≦H	55 m^2/日	6 人
	プレテンション桁	両側朝顔	－	60 m^2/日	6 人
		片側朝顔	－	64 m^2/日	6 人
側部足場（スラブ桁橋）				17 m/日	4 人
橋台･橋脚回り足場ブラケット工				11 m/日	4 人
板張防護工		両側朝顔		120 m^2/日	6 人
		片側朝顔		150 m^2/日	6 人
ネット防護工				200 m^2/日	4 人

⑤ 支承工、落橋防止工　･･･　該当工種の基準内に記載。

改　　定

工　種　名	設　　定　　内　　容
ＰＣ橋架設工	① トラッククレーンによる架設　･･･　該当工種の基準内に記載。 ② 架設桁による架設 (1) 桁架設、架設機械設備据付･解体、 架設機械移動、軌道設置･撤去　･･･　該当工種の基準内に記載。 (2) アンカー工

作業名	作業日当り標準作業量
土中アンカー	3.3 箇所/日
既存構造物アンカー	6.1 箇所/日

③ ＰＣ橋架設工（横組工、ＰＣコンポ橋）

作　業　種　別		作業日当り標準作業量	摘　　要
コンクリート工		40 m^3/日	横組工
鉄筋工		1.1 t/日	横組工
ＰＣ工	プレテンション桁	155 m/日	横組工
	ポストテンション桁	157 m/日	横組工
緊張工		27 ケーブル/日	横組工
ＰＣ板支承工		250 m/日	ＰＣコンポ橋用
ＰＣ板仮置工		110 枚/日	ＰＣコンポ橋用
ＰＣ板敷設工		46 枚/日	ＰＣコンポ橋用
継目工		1,000 m/日	ＰＣコンポ橋用
型枠工		8 m^2/日	ＰＣコンポ橋用

（注）上表の作業日当り標準作業量は、ＰＣ橋架設工の一連作業における各作業に適用する。

④ ＰＣ橋架設工（足場工及び防護工）

作　業　名				作業日当り標準作業量	編成人員（橋梁特殊工）
桁下足場	ポストテンション桁	両側朝顔	桁高 1.1≦H<1.5	42 m^2/日	5 人
			桁高 1.5≦H	36 m^2/日	5 人
		片側朝顔	桁高 1.1≦H<1.5	67 m^2/日	6 人
			桁高 1.5≦H	55 m^2/日	6 人
	プレテンション桁	両側朝顔	－	60 m^2/日	6 人
		片側朝顔	－	64 m^2/日	6 人
側部足場（スラブ桁橋）				17 m/日	4 人
橋台･橋脚回り足場ブラケット工				11 m/日	4 人
板張防護工		両側朝顔		120 m^2/日	6 人
		片側朝顔		150 m^2/日	6 人
ネット防護工				200 m^2/日	4 人

⑤ 支承工、落橋防止工　･･･　該当工種の基準内に記載。

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考

現　行

P.234

架設支保工

① 架設支保工 設置・撤去

作　業　名	作業日当り標準作業量	摘　　要
くさび結合支保設置・撤去	337 空m^3/日	設置 55%、撤去 45%
基礎用鋼材設置・撤去	119 m^2/日	設置 63%、撤去 37%
支柱支保設置・撤去	286 空m^3/日	設置 54%、撤去 46%
支柱受台設置・撤去	76 m/日	設置 56%、撤去 44%

伸縮装置工（鋼製）

① 伸縮装置工（鋼製）新設　・・・該当工種の基準内に記載。
② 伸縮装置工（鋼製）取替工

作　業　名	作業日当り標準作業量	摘要
伸縮装置工(鋼製)取替工 鋼フィンガージョイント等の設置	2.8 m/日	
伸縮装置工(鋼製)取替工 既製品ジョイントの設置	3.6 m/日	

(注) 上表の作業日当り標準作業量には、次の作業を含む。
・鋼フィンガージョイント等の設置
舗装面切断、コンクリートのはつり、旧ジョイント撤去、新ジョイント据付、型枠設置・撤去、CO 打設、はつりから据付に渡って発生する附帯作業
・既製品ジョイントの設置
舗装面切断、コンクリートのはつり、旧ジョイント撤去、新ジョイント据付、CO 打設

改　定

架設支保工

① 架設支保工 設置・撤去

作　業　名	作業日当り標準作業量	摘　　要
くさび結合支保設置・撤去	337 空m^3/日	設置 55%、撤去 45%
基礎用鋼材設置・撤去	119 m^2/日	設置 63%、撤去 37%
支柱支保設置・撤去	185 空m^3/日	設置 60%、撤去 40%
支柱受台設置・撤去	28 m/日	設置 63%、撤去 37%

伸縮装置工（鋼製）

① 伸縮装置工（鋼製）取替工

作　業　名	作業日当り標準作業量	摘要
伸縮装置工(鋼製)取替工 既製品ジョイントの設置	2.3 m/日	

(注) 上表の作業日当り標準作業量には、次の作業を含む。
・鋼フィンガージョイント等から既製品ジョイントの設置
舗装面切断、コンクリートのはつり（コンクリート塊の人力集積・積込作業を含む）、旧ジョイント撤去、遊間部養生、新ジョイント据付（遊間部型枠設置を含む）、コンクリート打設

備　考

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
(P.244) 昨年度	1. 鉄筋工 表 1.1 （下表）	削除	R8.4.1 改定

	規格・仕様	単位	施工数量
1	一般構造物	t	3.5
2	切梁のある構造物	t	3.0
3	地下構造物	t	
4	橋梁用床版	t	4.0
5	場所打杭用かご筋	t	6.5
6	ＲＣ場所打ホロースラブ	t	2.5
7	差筋及び杭頭処理	t	3.5
8	一般構造物 （太径鉄筋混合）	t	5.0
9	切梁のある構造物 （太径鉄筋混合）	t	4.0
10	地下構造物 （太径鉄筋混合）	t	4.0
11	場所打杭用かご筋 （太径鉄筋混合）	t	9.0

2. 鉄筋工（ガス圧接工）

表 2.1

規格・仕様		単位	施工数量
ガス圧接工 〔手動（半自動） 自動〕	D19＋D19	箇所	350
	D22＋D22	箇所	
	D25＋D25	箇所	
	D29＋D29	箇所	310
	D32＋D32	箇所	280
	D35＋D35	箇所	240
	D38＋D38	箇所	160
	D41＋D41	箇所	150
	D51＋D51	箇所	130

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.242			以降、 頁番号・表番号 修正

現　　行

3. インターロッキングブロック工

表 3.1

規　格　・　仕　様			単位	施工数量
設置	直線配置	ブロック厚6cm	m^2	100
		ブロック厚8cm	m^2	
	曲線配置	ブロック厚6cm	m^2	80
		ブロック厚8cm	m^2	
	直線配置 3 色以上による色合わせ	ブロック厚6cm	m^2	
		ブロック厚8cm	m^2	
	曲線配置 3 色以上による色合わせ	ブロック厚6cm	m^2	
		ブロック厚8cm	m^2	
撤去	再使用目的の撤去	ブロック厚6cm、8cm	m^2	200
	とりこわし	ブロック厚6cm、8cm	m^2	300

4. ガードレール設置工

表 4.1　設　置

区　　分	規　格　・　仕　様		単位	施工数量
土中建込	塗装品・メッキ品	Gr-A-4E	m	130
		Gr-B-4E	m	
		Gr-C-4E	m	
		Gr-Am-4E	m	60
		Gr-Bm-4E	m	
コンクリート建込		Gr-A-2B	m	40
		Gr-B-2B	m	
		Gr-C-2B	m	
		Gr-Am-2B	m	40
		Gr-Bm-2B	m	

改　　定

1. インターロッキングブロック工

表 1.1

規　格　・　仕　様			単位	施工数量
設置	直線配置	ブロック厚6cm	m^2	100
		ブロック厚8cm	m^2	
	曲線配置	ブロック厚6cm	m^2	80
		ブロック厚8cm	m^2	
	直線配置 3 色以上による色合わせ	ブロック厚6cm	m^2	
		ブロック厚8cm	m^2	
	曲線配置 3 色以上による色合わせ	ブロック厚6cm	m^2	
		ブロック厚8cm	m^2	
撤去	再使用目的の撤去	ブロック厚6cm、8cm	m^2	200
	とりこわし	ブロック厚6cm、8cm	m^2	300

2. ガードレール設置工

表 2.1　設　置

区　　分	規　格　・　仕　様		単位	施工数量
土中建込	塗装品・メッキ品	Gr-A-4E	m	130
		Gr-B-4E	m	
		Gr-C-4E	m	
		Gr-Am-4E	m	60
		Gr-Bm-4E	m	
コンクリート建込		Gr-A-2B	m	40
		Gr-B-2B	m	
		Gr-C-2B	m	
		Gr-Am-2B	m	40
		Gr-Bm-2B	m	

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

<table>
<tr><th>ページ番号</th><th>現　　行</th><th>改　　定</th><th>備　　考</th></tr>
<tr><td>(P.261)
昨年度</td><td>18. 軟弱地盤処理工

表 18.1
<table><tr><th>区　　分</th><th>規　格　・　数　量</th><th>単位</th><th>施工数量</th></tr><tr><td rowspan="3">サンドドレーン工</td><td>打設長　10m未満</td><td>m</td><td>440</td></tr><tr><td>打設長　10m以上20m未満</td><td>m</td><td>390</td></tr><tr><td>打設長　20m以上35m未満</td><td>m</td><td>390</td></tr><tr><td rowspan="3">サンドコンパクションパイル工</td><td>打設長　10m未満</td><td>m</td><td>180</td></tr><tr><td>打設長　10m以上20m未満</td><td>m</td><td>170</td></tr><tr><td>打設長　20m以上35m未満</td><td>m</td><td>170</td></tr></table></td><td>削除</td><td></td></tr>
</table>

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考
P.261	追加	**材工ともの１日当り施工量（県）** 県で調査した材工ともの工種の1日当り施工量を定めたものである。 1. 溶融噴射式路面カラー塗装工 表 1.1 規格・仕様 / 単位 / 施工量 全面施工 / 全規格 / m^2 / 300 ゼブラ施工 / 全規格 / m^2 / 150 矢羽根型路面標示（標準タイプ） / 全規格・20mピッチ以下 / 個 / 50 矢羽根型路面標示（標準タイプ） / 全規格・100mピッチ以下 / 個 / 25 矢羽根型路面標示（夜間視認性向上タイプ） / 全規格・20mピッチ以下 / 個 / 40 矢羽根型路面標示（夜間視認性向上タイプ） / 全規格・100mピッチ以下 / 個 / 20 矢羽根型路面標示（縮小タイプ） / 全規格・20mピッチ以下 / 個 / 50 矢羽根型路面標示（縮小タイプ） / 全規格・100mピッチ以下 / 個 / 25 備考）施工量は、昼間施工・夜間施工ともに適用する。 2. 溶融噴射式高視認性区画線（非リブ式）工 表 2.1 規格・仕様 / 単位 / 施工量 初期反射輝度250（175）mcd/ＬＸ・m^2以上（湿潤時） / 実線　W=15cm / m / 1000 実線　W=20cm / m / 930 実線　W=30cm / m / 700 破線　W=15cm / m / 830 破線　W=20cm / m / 780 破線　W=30cm / m / 560 横断線・ゼブラ　W=45cm / m / 330 矢印・記号　W=15cm換算 / m / 230 エスコート　W=30cm / m / 190 自転車ピクト　2000×750 / 個 / 10 備考）施工量は、昼間施工・夜間施工ともに適用する。	R8.4.1 改定

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考

P.349

◎給排水構造物工（建都―Ｋ）

1．側溝工（建都－Ｋ）

1－1　プレキャストＬ型側溝及びＶ型側溝

(1)　施工歩掛

プレキャストＬ型側溝及びＶ型側溝の据付歩掛は次表を標準とする。

表 1.1　プレキャストＬ型側溝及びＶ型側溝据付歩掛表　（10m 当り）

1 個当り長さ（m）		0.6m/個		備　　考
名　　称	規　　格	単位	数　量	
土木一般世話役		人	0.3	
特殊作業員		〃	0.1	
普通作業員		〃	0.9	
バックホウ（クレーン機能付）運転	排出ガス対策型・クローラ型 山積 0.45m³（平積 0.35m³） 2.9t 吊	h	1.2	
基礎砕石費		%	22	（注）3
諸雑費		%	12	〃

（注）1．歩掛は、運搬距離 30m 程度までの小運搬を含むものであり、床掘、埋戻し、残土処理は含まない。
2．バックホウ（クレーン機能付）の規格は、排出ガス対策型（第 1 次基準値）・クローラ型山積 0.45m³（平積 0.35m³）2.9t 吊りとする。
3．基礎砕石費及び諸雑費は、労務費及びバックホウ（クレーン機能付）運転経費の合計額に、上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、基礎砕石費及び諸雑費に含まれる内容は次のとおりである。
［基礎砕石費］
敷設・転圧労務、材料投入・締固め機械運転経費、砕石等材料費
［諸雑費］
コンクリートカッタ運転、目地モルタル、敷モルタル、プレキャストＬ型及びＶ型側溝損失分の費用、カッタブレードの損耗費等
4．基礎砕石の敷均し厚は、20cm 以下を標準としており、これにより難い場合は別途計上する。
5．基礎砕石費は、材料の種別・規格にかかわらず適用できる。
6．再使用する場合の撤去歩掛は、布設歩掛（基礎砕石費率は除く）の 50%とする。
7．コンクリートが必要な場合は、「第Ⅱ編第 4 章①コンクリート工」による。

(2)　単価表

表 1.2　プレキャストＬ型側溝及びＶ型側溝据付 10m 当り単価表　SWC69850(

名　　称	規　　格	単位	数 量	備　　考
○型ブロック		個	16.5	
土木一般世話役		人		表 1.1
特殊作業員		〃		〃
普通作業員		〃		〃
バックホウ（クレーン機能付）運転	排出ガス対策型・クローラ型 山積 0.45m³（平積 0.35m³） 2.9t 吊	h		〃
基礎砕石費		式	1	〃 必要に応じて計上
諸雑費		〃	〃	〃
計				

◎給排水構造物工（建都―Ｋ）

1．側溝工（建都－Ｋ）

1－1　プレキャストＬ型側溝及びＶ型側溝

(1)　施工歩掛

プレキャストＬ型側溝及びＶ型側溝の据付歩掛は次表を標準とする。

表 1.1　プレキャストＬ型側溝及びＶ型側溝据付歩掛表　（10m 当り）

1 個当り長さ（m）		0.6m/個		備　　考
名　　称	規　　格	単位	数　量	
土木一般世話役		人	0.3	
特殊作業員		〃	0.1	
普通作業員		〃	0.9	
バックホウ（クレーン機能付）運転	排出ガス対策型・クローラ型 山積 0.45m³ 2.9t 吊	h	1.2	
基礎砕石費		%	22	（注）3
諸雑費		%	12	〃

（注）1．歩掛は、運搬距離 30m 程度までの小運搬を含むものであり、床掘、埋戻し、残土処理は含まない。
2．バックホウ（クレーン機能付）の規格は、排出ガス対策型（第 2 次基準値）・クローラ型山積 0.45m³ 2.9t 吊りとする。
3．基礎砕石費及び諸雑費は、労務費及びバックホウ（クレーン機能付）運転経費の合計額に、上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、基礎砕石費及び諸雑費に含まれる内容は次のとおりである。
［基礎砕石費］
敷設・転圧労務、材料投入・締固め機械運転経費、砕石等材料費
［諸雑費］
コンクリートカッタ運転、目地モルタル、敷モルタル、プレキャストＬ型及びＶ型側溝損失分の費用、カッタブレードの損耗費等
4．基礎砕石の敷均し厚は、20cm 以下を標準としており、これにより難い場合は別途計上する。
5．基礎砕石費は、材料の種別・規格にかかわらず適用できる。
6．再使用する場合の撤去歩掛は、布設歩掛（基礎砕石費率は除く）の 50%とする。
7．コンクリートが必要な場合は、「第Ⅱ編第 4 章①コンクリート工」による。

(2)　単価表

表 1.2　プレキャストＬ型側溝及びＶ型側溝据付 10m 当り単価表　SWC69850(

名　　称	規　　格	単位	数 量	備　　考
○型ブロック		個	16.5	
土木一般世話役		人		表 1.1
特殊作業員		〃		〃
普通作業員		〃		〃
バックホウ（クレーン機能付）運転	排出ガス対策型・クローラ型 山積 0.45m³ 2.9t 吊	h		〃
基礎砕石費		式	1	〃 必要に応じて計上
諸雑費		〃	〃	〃
計				

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考

P.358

(2)　施工歩掛

人力及び機械施工による石組工の施工歩掛は次表を標準とする。

① 景石規格と実質量

石組工の積算に用いる景石の規格と実質量は次表を標準とする。

表 2.1　景石規格と実質量

景石規格（t/個）	景 石 質 量	景石規格（t/個）	景 石 質 量
0.5	～0.75t 以下	2.0	1.75t 超え～2.5 t 以下
1.0	0.75t 超え～1.25t 以下	3.0	2.5t 超え～3.5t 以下
1.5	1.25t 超え～1.75t 以下	4.0	3.5t 超え～4.5t 以下

② 機種の選定

機械施工による場合の機種は次表を標準とする。

表 2.2　機種の選定

機　械　名	規　　格	景石規格（t/個）					
		0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	4.0
ト　ラ　ッ　ク	ｸﾚｰﾝ装置付 4t 積 2.9t 吊り	○				―――	
トラッククレーン	油圧式 4.9t 吊	――――――				○	

(注) 現場条件により、本表により難い場合は現場条件に適した機種規格を計上することができる。

③ 石組・景石据付（捨石工）施工歩掛

機械施工による場合の機種は次表を標準とする。

表 2.3　石組･景石据付(捨石工)施工歩掛　(1t 当り)

名　　称	単位	石　組　工		景　石（捨石工）	
		機械施工	人力施工	機械施工	人力施工
土木一般世話役	人	0.03	0.14	0.02	0.07
造　園　工	〃	0.8	1.3	0.6	1.0
普 通 作 業 員	〃	0.26	1.1	0.17	0.9

(注) 1. 土ぎめ据付とする。
2. 石組工については標準的な石組に適用し、滝石組等、特殊な石組については別途考慮する。

(2)　施工歩掛

人力及び機械施工による石組工の施工歩掛は次表を標準とする。

① 景石規格と実質量

石組工の積算に用いる景石の規格と実質量は次表を標準とする。

表 2.1　景石規格と実質量

景石規格（t/個）	景 石 質 量	景石規格（t/個）	景 石 質 量
0.5	～0.75t 以下	2.0	1.75t 超え～2.5 t 以下
1.0	0.75t 超え～1.25t 以下	3.0	2.5t 超え～3.5t 以下
1.5	1.25t 超え～1.75t 以下	4.0	3.5t 超え～4.5t 以下

② 機種の選定

機械施工による場合の機種は次表を標準とする。

表 2.2　機種の選定

機　械　名	規　　格	景石規格（t/個）					
		0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	4.0
ト　ラ　ッ　ク	ｸﾚｰﾝ装置付通称 4t 積級 2.9t 吊り	○				―――	
トラッククレーン	油圧式 4.9t 吊	――――――				○	

(注) 現場条件により、本表により難い場合は現場条件に適した機種規格を計上することができる。

③ 石組・景石据付（捨石工）施工歩掛

機械施工による場合の機種は次表を標準とする。

表 2.3　石組･景石据付(捨石工)施工歩掛　(1t 当り)

名　　称	単位	石　組　工		景　石（捨石工）	
		機械施工	人力施工	機械施工	人力施工
土木一般世話役	人	0.03	0.14	0.02	0.07
造　園　工	〃	0.8	1.3	0.6	1.0
普 通 作 業 員	〃	0.26	1.1	0.17	0.9

(注) 1. 土ぎめ据付とする。
2. 石組工については標準的な石組に適用し、滝石組等、特殊な石組については別途考慮する。

【県版　新旧対照表】

業　　種	土木工事編

ページ番号	現　　行	改　　定	備　　考

P.359

現　　行

④ 石組機械運転歩掛
石組に用いる機械の運転歩掛は次表を標準とする。

表 2.4　石組機械運転歩掛　(1t 当り)

機械名	規格	単位	景石規格 (t/個)					
			0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	4.0
トラック	ｸﾚｰﾝ装置付 4t 積 2.9t 吊り	h	0.38	0.23	0.17	0.16	—	—
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ運転	油圧式 4.9t 吊り	日	—	—	—	—	0.028	0.028
標準日当り据付個数		個/日	29.4	24.0	20.0	16.7	11.7	8.8

(注) トラッククレーンは、賃料とする。

⑤ 景石据付（捨石工）機械運転歩掛
景石据付（捨石工）に用いる機械の運転歩掛は次表を標準とする。

表 2.5　景石据付(捨石工)機械運転歩掛　(1t 当り)

機械名	規格	単位	景石規格 (t/個)					
			0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	4.0
トラック	ｸﾚｰﾝ装置付 4t 積 2.9t 吊り	h	0.38	0.23	0.17	0.16	—	—
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ運転	油圧式 4.9t 吊り	日	—	—	—	—	0.028	0.028
標準日当り据付個数		個/日	29.0	24.0	20.0	16.7	11.7	8.8

(注) トラッククレーンは、賃料とする。

(3)　単価表

① 石組 1t 当り単価表　SWC694800

名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人		表 2.3
造園工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
トラッククレーン運転・賃料		h･日		表 2.4
景石	○○石	t		
諸雑費		式	1	
計				

② 景石（捨石工）1t 当り単価表　SWC694900

名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人		表 2.3
造園工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
トラッククレーン運転・賃料		h･日		表 2.5
景石	○○石	t		
諸雑費		式	1	
計				

改　　定

④ 石組機械運転歩掛
石組に用いる機械の運転歩掛は次表を標準とする。

表 2.4　石組機械運転歩掛　(1t 当り)

機械名	規格	単位	景石規格 (t/個)					
			0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	4.0
トラック	ｸﾚｰﾝ装置付通称 4t 積級 2.9t 吊り	h	0.38	0.23	0.17	0.16	—	—
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ運転	油圧式 4.9t 吊り	日	—	—	—	—	0.028	0.028
標準日当り据付個数		個/日	29.4	24.0	20.0	16.7	11.7	8.8

(注) トラッククレーンは、賃料とする。

⑤ 景石据付（捨石工）機械運転歩掛
景石据付（捨石工）に用いる機械の運転歩掛は次表を標準とする。

表 2.5　景石据付(捨石工)機械運転歩掛　(1t 当り)

機械名	規格	単位	景石規格 (t/個)					
			0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	4.0
トラック	ｸﾚｰﾝ装置付通称 4t 積級 2.9t 吊り	h	0.38	0.23	0.17	0.16	—	—
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ運転	油圧式 4.9t 吊り	日	—	—	—	—	0.028	0.028
標準日当り据付個数		個/日	29.0	24.0	20.0	16.7	11.7	8.8

(注) トラッククレーンは、賃料とする。

(3)　単価表

① 石組 1t 当り単価表　SWC694800

名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人		表 2.3
造園工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
トラッククレーン運転・賃料		h･日		表 2.4
景石	○○石	t		
諸雑費		式	1	
計				

② 景石（捨石工）1t 当り単価表　SWC694900

名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人		表 2.3
造園工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
トラッククレーン運転・賃料		h･日		表 2.5
景石	○○石	t		
諸雑費		式	1	
計				